

COREFIDO 2

MC363dnw

ユーザーズマニュアル

セットアップと使い方編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

MC363dnw

- このマニュアルには、製品を安全に使用していただくための注意事項が書かれています。ご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みになり、正しく安全にご使用ください。
- 本マニュアルは、いつでも見られるように大切にお手元に保管してください。

● はじめに

本書について

- 1 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- 2 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 3 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 4 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの著作権について

すべての権利は、株式会社沖データに属しています。無断で複製、転記、翻訳等を行なってはいけません。必ず、株式会社沖データの文書による承諾を得てください。

© 2016 Oki Data Corporation

商標について

OKI は沖電気工業株式会社の登録商標です。

Energy Star は米国環境保護庁の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Active Directory、Excel、Internet Explorer、および Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Apple、Mac、Macintosh、Mac OS、AppleTalk、Bonjour、ColorSync、EtherTalk、LaserWriter、Rosetta、Safari、および TrueType は、米国 Apple Inc.、の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Photoshop、PostScript および Reader は、米国およびその他の国々で登録された Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。

RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は、RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

その他記載されている製品名またはブランド名は、各社の登録商標または商標です。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本機に搭載のソフトウェアについて



本機は、RSA Security Inc. の RSA® BSAFE™ ソフトウェアを搭載しています。

紙幣、有価証券などの印刷について

- 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債券、郵便切手、印紙などを複製・印刷すること、または本物と紛らわしいものを作ることは、使用する意図がなくても犯罪となり罰せられます。
- 以下のものを、本物と偽って使用する目的で複製・印刷することは、犯罪として罰せられます。
 - 株券・手形・小切手などの有価証券
 - 公務員又は役所が作成した証明書などの文書
 - 契約書等、権利義務や事実証明に関する文書
 - 役所または公務員の印影、署名、記号
 - 私人の印影または署名
- 著作権法により保護されている著作物（書籍、雑誌、絵画、地図、写真など）を著作者に無断で複製することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除き、違法となります。

関係法律

刑法、紙幣類似証券取締法、印紙等模造取締法、郵便切手等模造等取締法、
外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律、著作権法

電波障害防止について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

高調波規制について

この装置は、「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

VOC（揮発性有機化合物）の放散

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼン、TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ Version2」の物質エミッションに関する認定基準を満たしています。（トナーは沖データ純正トナーカートリッジを使用し、白黒印刷及びカラー印刷を行った場合について、試験方法 Blue Angel RAL UZ-122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

⚠危険

本装置には、CR2450 リチウム電池が使用されています。

装置寿命期間内に、本装置内部のリチウム電池をお客様が交換する必要はありません。

なお、何らかの理由でリチウム電池を廃棄する場合は、+極と-極をセロハンテープなどで絶縁してから、地方自治体の条例、または規則に従って廃棄してください。

他の金属や電池と混ざると発煙、破裂の原因となります。

ごみ廃棄場で処分されるごみの中に捨てないでください。

● 使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様が本機のパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

■ お客様へのお願い

本機のパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読みください。

お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。

もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却してください。

株式会社沖データ（以下「沖データ」といいます）は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます。）を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

1 使用範囲

お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データ MFP を所有する場合に限り、当該 MFP に直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピューターにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを 1 部複製することができます。

2 財産権および義務

- (1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
- (2) 第 1 条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
- (3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
- (4) お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
- (5) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3 期間

- (1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
- (2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
- (3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4 保証

(1) 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。

- 本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
- 本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
- 第三者の権利を侵害していないこと。
- 特定の目的に適合していること。

(2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5 責任の限定

沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為（過失を含むがこれに限定されない）に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6 準拠法

本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7 契約の有効性

本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8 輸出管理

本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている状態で使用されないものとします。お客様は、適切な米国及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9 完全な合意

お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

10 Notice to U.S. Government End Users（米国政府機関のエンドユーザーへの注意）

All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with "Restricted Rights" as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.

本条項中で使用される "Software" とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

● オープンソースライセンス公開

本機には、以下のオープンソースソフトウェアが含まれています。

オープンソースライセンスに関する記述は以下の通りです。

json-c

Copyright (c) 2009-2012 Eric Haszlakiewicz

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Copyright (c) 2004, 2005 Metaparadigm Pte Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

●安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ず本書をお読みください。

安全上の注意表示



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

警告		
	本機内部の安全スイッチに触れないでください。高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギアが回転するのでケガのおそれがあります。	
	本機の近くで強燃性スプレーを使用しないでください。装置内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。	
	水などの液体が装置内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。火災のおそれがあります。	
	クリップなどの異物を装置内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。感電、火災、ケガのおそれがあります。	
	装置を落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。感電、火災、ケガのおそれがあります。	
	電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。電源プラグを長期間コンセントにさしたままにしておくと、電源プラグの刃の根元にほこりが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。	
	通気口に物を差し込まないでください。感電、火災、ケガのおそれがあります。	
	水の入ったコップなどを装置の上に乗せないでください。感電、火災のおそれがあります。	
	装置のカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。やけどのおそれがあります。	
	トナーカートリッジ、イメージドラムユニットを火の中に投げないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。	
	電源コード、ケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。火災のおそれがあります。	
	UPS（無停電電源）およびインバーターを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源およびインバーターは使用しないでください。火災のおそれがあります。	

注意	
	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。
	壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。液晶ディスプレイから漏れた液体（液晶）が目や口に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

● マニュアルの構成

本製品には以下のマニュアルが付属しています。

- セットアップと使い方編・・・本書
本機の設置や初期セットアップの設定方法、および基本的な使用方法の簡単な説明などを記載しています。
- 困ったときにはと日々のメンテナンス編
トラブルの対処方法やメンテナンスの手引などを記載しています。
- 無線 LAN 接続ガイド（ソフトウェア DVD-ROM に格納）
無線 LAN の設定方法について説明しています。

より詳しい使い方については、沖データホームページ（<http://www.oki.com/jp/printing/>）に掲載している活用マニュアルをご覧ください。

● このマニュアルについて

本書のマーク

本書では、以下のマークを使用しています。



- 操作に関する重要な情報を示します。必ずお読みください。



- 操作に関する追加情報を示します。お読みになることをおすすめします。



- 参照ページを示します。詳しい情報や関連する情報を知りたいときにお読みください。

⚠ 警告

- この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠ 注意

- この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

本書の記号

本書では、以下の記号を使用しています。

記号	説明
[]	<ul style="list-style-type: none">● 表示画面のメニュー名を示します。● パソコンのメニュー、ウィンドウ、およびダイアログ名を示します。
「 」	<ul style="list-style-type: none">● 表示画面のメッセージおよび入力テキストを示します。● パソコン上でのファイル名を示します。● 参照先のタイトルを示します。
< > ボタンまたは < > キー	操作パネルのボタンまたはパソコンのキーボードのキーを示します。
>	本機またはパソコンのメニュー階層を示します。

本書の表記

本書では、以下の表記をしている場合があります。

- MC363dnw → MC363
- PostScript3 エミュレーション → PSE、POSTSCRIPT3 エミュレーション、POSTSCRIPT3 EMULATION
- Windows 10、Windows 8.1、Windows Sever 2012 R2、Windows 8、Windows Server 2012、Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008 の総称 → Windows

※特に記載がない場合は、Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008 には 64bit 版も含まれます。(Windows Server 2008 には、64bit 版、および Windows Server 2008 R2 も含まれます。)

本書では、特に記載のない限り、Windows の場合は Windows 7、Mac OS X の場合は Mac OS X 10.9 を例にしています。

お使いの OS、モデルやバージョンによって、本書の記載と異なることがあります。

目次

セットアップ編

はじめに	2
本書について	2
マニュアルの著作権について	2
商標について	2
エネルギースターについて	2
本機に搭載のソフトウェアについて	2
紙幣、有価証券などの印刷について	3
電波障害防止について	3
高調波規制について	3
本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意	3
VOC（揮発性有機化合物）の放散	3
使用許諾契約	4
オープンソースライセンス公開	6
安全にお使いいただくために	7
マニュアルの構成	8
このマニュアルについて	8
無線 LAN 接続ガイドの紹介	18
無線 LAN 環境	18
無線 LAN 環境を使用するときの注意	18
用語	18
1 本機を設置する	19
各部の名称	19
本機	19
操作パネル	21
デフォルトモード	22
操作パネルを使用して文字を入力する	22
文字を入力する	23
入力した文字の削除	24
製品の確認	25
設置のしかた	26
設置条件	26
設置環境	26
設置スペース	26
開梱と設置のしかた	27
オプションについて	29

セカンドトレイユニットを取り付ける	29
取り付け	29
プリンタードライバーの設定	30
電源を入れる / 切る	31
電源の条件	31
電源を入れる	32
電源を切る	33
用紙のセットのしかた	34
トレイ 1 とトレイ 2 に用紙をセットする	35
マルチパーパストレイに用紙をセットする	36
トレイ設定を行う	37
カスタムサイズを登録する	38
用紙の排出	38
本体排紙トレイを使用する	38
後方排紙トレイを使用する	39
原稿のセットのしかた	39
原稿を自動原稿送り装置 (ADF) にセットする	40
原稿を原稿ガラスにセットする	40
用紙・原稿について	41
用紙について	41
使用できる用紙	41
推奨紙	42
使用できない用紙	42
用紙の保管	42
原稿について	43
原稿の条件	43
コピー時の読み取り可能領域	43
2 機器単体で動作を確認する	44
テスト印刷する (メニューマップ)	44
印刷手順	44
コピー動作を確認する	45
コピー手順	45
3 パソコンに接続してドライバーなどをインストールする	46
ネットワーク接続	48
手順 1 本機のネットワーク設定を行う	48
LAN ケーブルを使って接続する	48
無線 LAN (インフラストラクチャーモード) で接続する	49
有効なデフォルトゲートウェイを選択する	51
IP アドレスを設定する	51
手順 2 ドライバーなどをインストールする	52

Windows の場合	52
Mac OS X の場合	53
無線 LAN(AP モード) で接続する	57
無線 LAN(AP モード) を利用するための準備	57
無線 LAN を有効にする	57
無線 LAN(AP モード) の設定方法を確認する	57
自動接続 (プッシュボタン)	57
手動接続	58
USB 接続	59
USB ケーブルを接続する	59
ドライバーをインストールする	60
Windows の場合	60
Mac OS X の場合	61
4 ファクスを設定する	63
ファクスの初期設定	64
手順 1 電話線に接続する	65
公衆回線に接続する (ファクス専用として使う場合)	65
公衆回線に接続する (本機に電話機を接続する場合)	65
ADSL 環境に接続する	66
ひかり電話 (IP 電話) に接続する	67
CS チューナーやデジタルテレビを接続する	67
構内交換機 (PBX)、ホームテレフォン、ビジネスフォンを接続する	67
内線電話として接続する	67
手順 2 基本設定を行う	68
手順 2-1 現在の日付・時刻を設定する	68
手順 2-2 送信者情報を設定する	69
手順 2-3 各ダイヤル種別の設定を行う	69
手順 2-4 PBX 接続	70
手順 2-5 スーパー G3 を設定する	70
手順 2-6 受信モードを指定する	70
手順 2-7 応答待ち時間を設定する	71
ファクス送信を確認する	72
ファクス送信の手順	72
送信履歴を確認する	73
ファクス受信を確認する	74
ファクスを受信する	74
パソコンからファクスを送信する (Windows の場合)	75
ファクスドライバーをインストールする	75
パソコンからファクス送信を確認する	76

5 スキャン機能を設定する	77
スキャン To メール	77
スキャン Toメールの初期設定	77
手順 1 本機のネットワーク設定を行う	77
手順 2 本機の E メール設定を行う	78
スキャン Toメールの手順	81
スキャン To 共有フォルダー	82
スキャン To 共有フォルダーの初期設定	82
手順 1 本機のネットワーク設定を行う	82
手順 2 パソコンと本機をスキャン To 共有フォルダー用に設定する	83
スキャン To 共有フォルダーの手順	88
プロファイルの管理	89
プロファイルの変更	89
プロファイルの削除	89
スキャン To パソコン	90
スキャン To パソコンの初期設定	91
Windows の場合	91
Mac OS X の場合	92
スキャン To パソコンの動作を確認する	93
スキャン To USB メモリー	97

使い方編

6 節電モード・自動で電源を切るまでの時間（オートパワーオフ）を設定する	98
節電機能の設定	98
オートパワーオフ	99
スリープモード時の制限事項	100
ネットワーク機能の制限事項	100
スリープモードに移行しない	100
ディープスリープモードに移行しない	100
印刷できない	100
クライアント機能を持つプロトコルが動作しない	100
7 コピー機として使うとき	101
基本操作	101
コピーを始める	101
コピーを中止する	101
コピー設定を変更する	102
読み取りサイズを変更する（読取サイズ）	102
用紙トレイを変更する（給紙トレイ）	102

原稿の向きを変更する（原稿の画像向き）.....	103
拡大 / 縮小コピーをする（拡大 / 縮小）.....	103
[自動] を使用する	103
固定倍率を選択する	103
テンキーで倍率を設定する.....	103
継続読取モードを有効にする（継続読取）.....	104
両面コピーをする（両面）.....	104
両面コピーを有効にする.....	105
コピー濃度を調整する（濃度）.....	105
原稿の種類を変更する（ドキュメントタイプ）.....	105
背景除去を調整する（背景除去）.....	106
読取解像度を変える（読取解像度）.....	106
設定をリセットする	106
自動リセット.....	106
<リセット / ログアウト> ボタンを使用する.....	106
8 ファクス・インターネットファクスとして使うとき	107
ファクス機能の基本操作	107
ファクスを送信する	107
宛先を指定する	108
直接入力する	108
短縮ダイヤルリストと宛先グループリストを使用する.....	109
送信 / 受信履歴を使用する	109
ワンタッチボタンを使用する	110
指定した宛先を削除する.....	110
応用設定を変更する	111
読み取りサイズを変更する（読取サイズ）.....	111
解像度を変更する（解像度）.....	111
濃度を調整する（濃度）.....	111
発信元名を印刷する	111
ファクス送信を確認 / 中止する	112
ファクス送信を中止する.....	112
送信予約を取り消す	112
送信 / 受信履歴を確認する.....	112
ファクス受信時の動作について	113
受信動作.....	113
電話とファクスを受信するとき（電話 / ファクス待機）.....	113
留守番電話を接続するとき（留守 / ファクス待機）.....	113
通常は電話として使用するとき（電話待機）.....	114
受信したファクスを印刷する	114
使用するトレイを選択する.....	114

用紙サイズの優先順位.....	114
受信したファクスを印刷できないとき.....	114
ファクスの宛先を登録・編集する（電話帳の使い方）.....	115
短縮ダイヤル.....	115
登録 / 編集する.....	115
履歴から登録する.....	115
削除する.....	116
グループダイヤル（グループ番号）.....	116
登録 / 編集する.....	116
削除する.....	117
電話帳を検索する.....	117
テンキーを使ってカナ検索する.....	117
ソフトキーボードを使ってカナ検索する.....	117
ワンタッチボタンを使用する.....	117
インターネットファクス機能の基本操作.....	118
インターネットファクスを送信する.....	118
宛先を指定する.....	118
アドレスブックまたはグループリストを使用する.....	119
送信履歴を使用する.....	119
直接入力する.....	119
LDAP 検索を使用する.....	119
宛先を確認、削除、変更する.....	120
宛先を確認する.....	120
宛先を削除する.....	121
宛先タイプを変更する.....	121
送信を中止する.....	121
インターネットファクスを受信する.....	121
9 スキャナーとして使うとき.....	122
スキャナードライバー（TWAIN/WIA/ICA ドライバー）をインストールする.....	122
スキャナードライバーをインストールする前に.....	122
Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008 でスキャナードライバーを使用する場合.....	122
WIA ドライバーを使用する場合.....	122
インストール手順.....	123
Windows の場合.....	123
Mac OS X の場合.....	125
ActKey を使う.....	126
ソフトウェアをインストールする.....	126
ソフトウェアを起動する.....	126
WSD スキャンをセットアップする.....	127
インストール手順.....	127

スキャンする	128
スキャン To メール	128
宛先を指定する	128
スキャン To USB メモリー	130
スキャン To 共有フォルダー	130
スキャン To パソコン	131
WSD スキャン接続	132
リモートスキャン	133
シンプルスキャンモード	133
マニュアルスキャンモード	134
セキュアスキャンモード (ネットワーク接続)	135
セキュアスキャンモード (USB 接続)	136
スキャンを中止する	136
E メールアドレスを登録・編集する (アドレスブックの使い方)	137
アドレスブック	137
登録 / 編集する	137
送信履歴から登録する	137
削除する	137
グループリスト	138
登録 / 編集する	138
削除する	138
ワンタッチボタンを使用する	138
アドレスブックを検索する	138
テンキーを使ってカナ検索する	138
ソフトキーボードを使ってカナ検索する	138
ネットワーク接続 PC を登録する	140
登録 / 編集する	140
削除する	140
10 プリンターとして使うとき	141
パソコンから印刷する	141
印刷する	141
Windows PCL プリンタードライバーの場合	141
Windows PS プリンタードライバーの場合	142
Mac OS X PS プリンタードライバーの場合	142
印刷を中止する	143
USB メモリーから印刷する	144
印刷する	144
印刷設定をする	145
用紙トレイを変更する (給紙トレイ)	145
印刷部数を変更する (コピー枚数)	145
両面印刷する (両面印刷)	145

とじ位置を設定する（とじ方）.....	145
ページサイズを用紙サイズに合わせる（フィッティング）.....	146
印刷を中止する.....	146
11 付録.....	147
外形寸法.....	147
索引.....	148

● 無線 LAN 接続ガイドの紹介

無線 LAN 接続ガイドは「ソフトウェア DVD-ROM」に格納されています。

無線 LAN 環境を使うための準備

本機の無線 LAN を有効にする。

[管理者メニュー] > [運用初期設定] > [無線モジュール] で [有効] に設定します。設定後はトップ画面に戻り、本機を再起動する必要があります。

無線 LAN を使うためのネットワーク環境を確認する

WPS で接続する

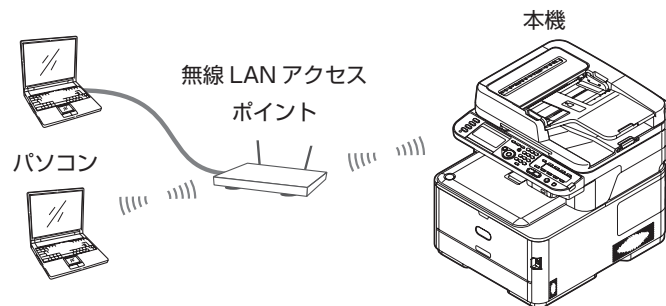
無線 LAN アクセスポイントを検索し接続する

手動で接続する

AP モードで接続する

無線 LAN 環境

本機を無線 LAN アクセスポイントに無線で接続すると、ネットワーク上で使えるようになります。



無線 LAN 環境を使用するときの注意

- SSID とセキュリティーを設定する前に、無線 LAN アクセスポイントの設定を確認してください。間違えて設定すると、本機をそのネットワークに接続できません。
- 本機は無線 LAN アクセスポイント近くの見通しの良い位置に設置してください。(距離は 30m 以内を推奨します)
- 本機と無線 LAN アクセスポイントの間に壁や金属類、電波を発生する機器があると通信障害を起こす場合があります。

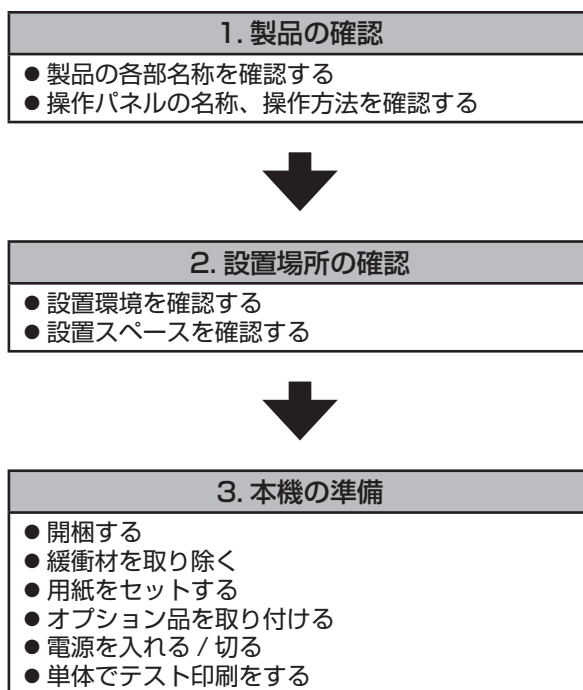
用語

- SSID
接続先のネットワークを識別するための ID。本機に接続先の無線 LAN アクセスポイントの SSID を設定することで無線通信が可能になります。
- セキュリティー設定
無線 LAN を使用するとき、送信した情報が傍受されたりネットワークに不正にアクセスされたりするのを防ぐためにセキュリティーを設定できます。セキュリティー設定は、無線 LAN アクセスポイントの設定と同じでなければなりません。
- WPS
無線 LAN の業界団体である Wi-Fi Alliance が規格した無線 LAN 設定方式。設定方式には、プッシュボタン方式と PIN コード方式の 2 通りがあります。
 - プッシュボタン方式：無線 LAN アクセスポイントの < WPS > ボタンを押すだけで簡単に無線 LAN を設定できます。
 - PIN コード方式：本機に割り当てられた 8 桁の番号を無線 LAN アクセスポイントに登録することで簡単に無線 LAN を設定できます。
- インフラストラクチャーモード
無線 LAN アクセスポイントを経由して通信するモード。
- AP モード
無線 LAN アクセスポイントを使用しないで、無線端末 (パソコン、タブレット、スマートフォンなど) を本機に直接接続するモード。

1 本機を設置する

この章では、本機の各部の名称、開梱と設置のしかた、電源の入れ方 / 切り方、トレイ 1 の用紙のセットのしかたなど、本機を使用する前に行う初期設定について説明しています。

■ 本機の設置・単体での動作確認の流れ

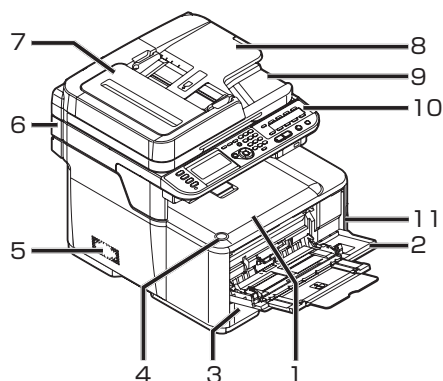


● 各部の名称

この節では、本機と操作パネルの各部の名称を示します。

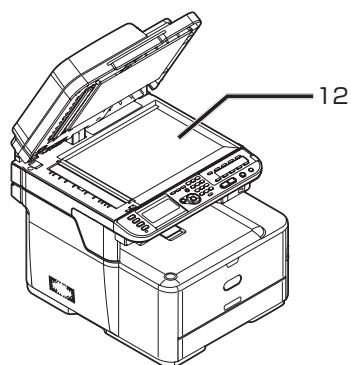
本機

本機の各部の名称について説明します。

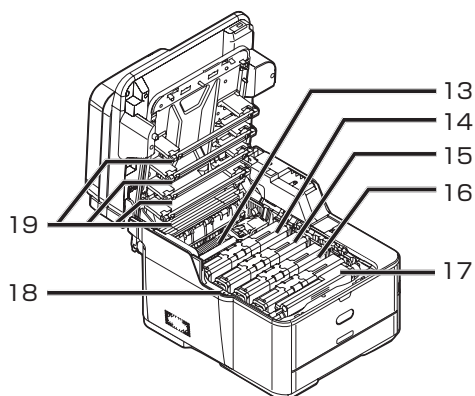


番号	名称
1	本体排紙トレイ
2	マルチパーパス (MP) トレイ
3	トレイ 1
4	本体排紙トレイオープンボタン
5	通気口

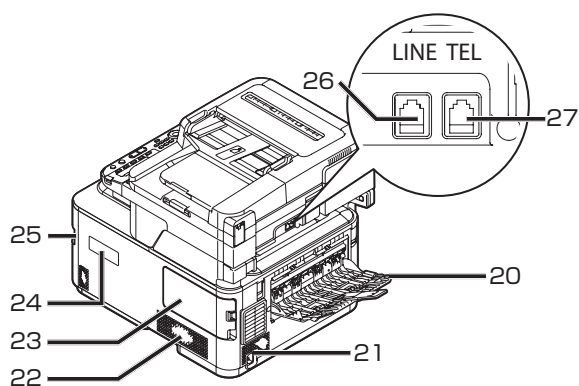
番号	名称
6	スキャナーユニット
7	自動原稿送り装置 (ADF) カバー
8	原稿トレイ
9	原稿ガラスカバー
10	操作パネル
11	USB ポート



番号	名称
12	原稿ガラス



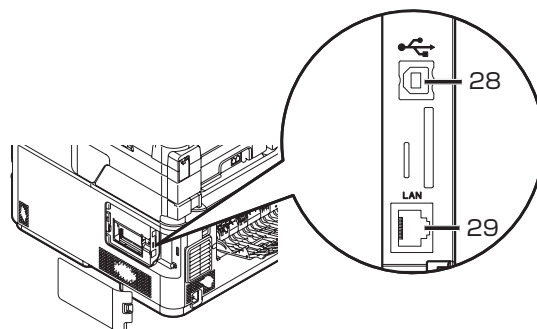
番号	名称
13	定着器ユニット
14	トナーカートリッジ (Y: イエロー (黄色))
15	トナーカートリッジ (M: マゼンタ (赤色))
16	トナーカートリッジ (C: シアン (青色))
17	トナーカートリッジ (K: ブラック (黒色))
18	イメージドラムユニット
19	LEDヘッド (4個)



番号	名称
20	後方排紙トレイ
21	電源コネクター
22	通気口

番号	名称
23	コネクターカバー
24	無線 LAN モジュールカバー
25	電源スイッチ
26	LINE コネクター
27	TEL コネクター

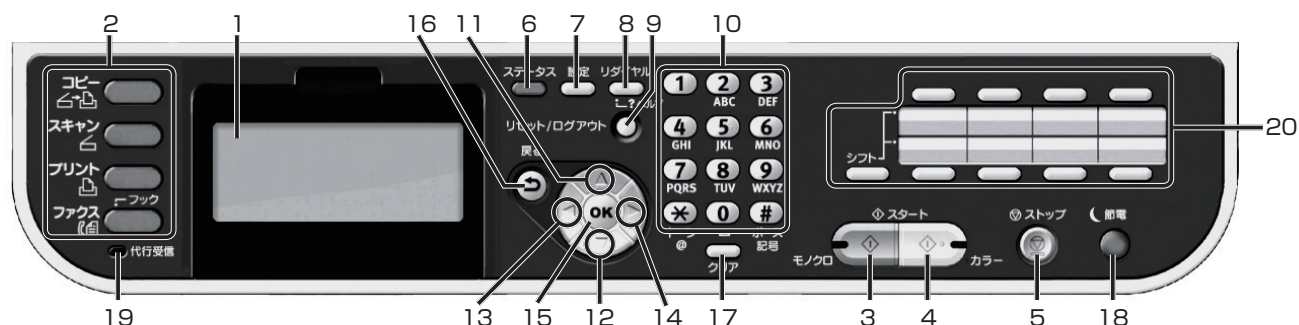
● コネクターカバー内部



番号	名称
28	USB インタフェースコネクター
29	ネットワークインタフェースコネクター

操作パネル

操作パネルの各部の名称について説明します。

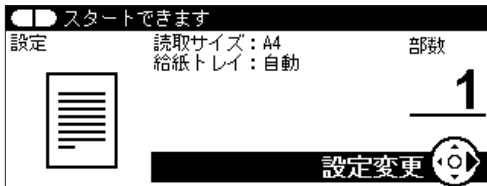


番号	名称	機能
1	表示画面	操作指示および本機の状態を表示します。
2	機能切り替えボタン	各機能のトップ画面を表示します。選択されたボタンが青色に点灯します。
	<コピー> ボタン	コピースタート画面を表示します。
	<スキャン> ボタン	スキャンメニューを表示します。
	<プリント> ボタン	プリントメニューを表示します。
	<ファクス> ボタン	ファクス/インターネットファクス機能選択画面を表示します。
3	<モノクロスタート> ボタン	モノクロのコピー、スキャン、ファクス、またはUSBメモリーからの印刷を開始します。
4	<カラースタート> ボタン	カラーのコピー、スキャン、またはUSBメモリーからの印刷を開始します。
5	<ストップ> ボタン	現在のジョブを直ちに打ち消します。
6	<ステータス> ボタン	ステータスメニューを表示します。 エラーステータスがある場合、点滅または点灯します。
7	<設定> ボタン	機器設定メニューを表示します。
8	<リダイヤル/?ヘルプ> ボタン	ヘルプ画面を表示します。閉じるときは、<リダイヤル/?ヘルプ> ボタンを再度押すか、<戻る> ボタンまたは<リセット/ログアウト> ボタンを押します。
9	<リセット/ログアウト> ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ●各機能のトップ画面では、ログアウトします。 ●各機能のスタート画面では、トップ画面に戻ります。 * コピー機能では、トップ画面とスタート画面が同じです。 ●設定項目画面では、設定値をリセットして、各機能のスタート画面に戻ります。
10	テンキー	<ul style="list-style-type: none"> ●数字を入力します。 ●英字や記号を入力します。
11	<スクロール> (▲) ボタン	項目選択 / 文字入力中、ハイライトを上を移動します。
12	<スクロール> (▼) ボタン	項目選択 / 文字入力中、ハイライトを下を移動します。
13	<スクロール> (◀) ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ●前の画面に戻ります。 ●項目選択 / 文字入力中、ハイライトを左に移動します。
14	<スクロール> (▶) ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ●次の画面に進みます。 ●項目選択 / 文字入力中、ハイライトを右に移動します。
15	<OK> ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ●ハイライトされた項目を確定します。 ●チェック項目を選択します。
16	<戻る> ボタン	前の画面に戻ります。
17	<クリア> ボタン	短く押す、または長押しすると、入力項目に応じて次の動作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> ●設定値を最小にします。 ●設定値に0を入力します。 ●入力された内容をクリアします。 ●選択された項目を取り消します。
18	<節電> ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ●パワーセーブモードに入るか、パワーセーブモードを解除します。 ●スリープモードを解除します。 パワーセーブモードのときは緑色に点灯し、スリープモードのときは緑色に低速点滅します。

番号	名称	機能
19	< 代行受信 > ランプ	メモリーにデータがあると点灯します。 * スリープモードのときは、メモリーにデータがあっても点灯しません。
20	ワンタッチボタン	登録された E メールアドレスまたはファクス番号を呼び出します。 E メールアドレスやファクス番号は 8 個のボタンそれぞれに 2 件、計 16 件登録でき、< シフト > ボタンとの同時押下で切り替えます。

デフォルトモード

電源を入れて、本機が使用可能な状態になると、デフォルトモードとしてコピースタート画面が表示されます。



機能切り替えボタンを使って、ほかの機能に切り替えることができます



参照

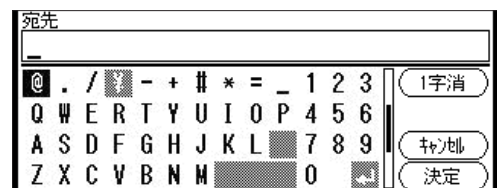
- < 設定 > ボタン > [管理者設定] > [機器管理] > [デフォルトモード] を選択すると、デフォルトモードを変更することができます。

操作パネルを使用して文字を入力する

項目の設定中に文字を入力する必要があるときは、以下の入力画面が表示されます。

■ 英数字・記号入力時

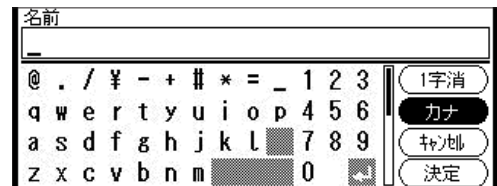
画面キーボードで、半角の英大文字、英小文字、数字、記号を入力できます。



■ 英数字・記号・カナ入力時

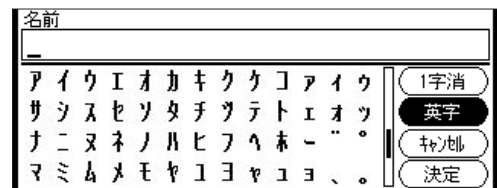
半角英数字と記号に加え、半角カナを使用できる項目の入力時には、以下の入力画面が表示されます。

● 英字入力用



【カナ】を選択すると、カナ入力用の画面キーボードに切り替えることができます。

● カナ入力用



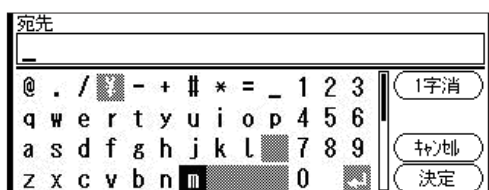
【英字】を選択すると、英字入力用の画面キーボードに戻ります。

メモ

- 網掛けされた文字は選択できません。
- 操作パネルから全角文字の入力はできません。
- 数字のみを入力するときは、画面キーボードが表示されないことがあります。この場合は、テンキーを使って数字を入力します。

文字を入力する

- ▶、◀、▼、▲を押して文字を選択し、OKを押します。



選択した文字がテキストフィールドに入力されます。



- 必要なすべての文字が入力されるまで、手順1を繰り返します。
- ▶および▼を押して [決定] を選択し、OKを押します。



■テンキーの使用

入力画面では、テンキーを使用して英数字および記号の入力を行うこともできます。



各キーに表示された数字のほかに、キーを繰り返し押し続けて英字や記号を入力できます。

- テキストフィールドに入力したい文字が表示されるまでテンキーを押します。
- 必要なすべての文字が入力されるまで、手順1を繰り返します。
続けて同じキーを使用する場合は、▶を押してカーソルを移動します。
- [決定] が選択されていることを確認し、OKを押します。

メモ

- 各キーで入力できる文字は以下のとおりです。

テンキー	テンキー文字
1	1
2	abc2ABC
3	def3DEF
4	ghi4GHI
5	jkl5JKL
6	mno6MNO
7	pqrs7PQRS
8	tuv8TUV
9	wxyz9WXYZ
0	(スペース) 0
*	@*
#	.- (スペース) +!\$%&'(),./:;<=>?[¥]^#

入力した文字の削除

テキストフィールド内の文字は、次の方法で削除できます。

■ <クリア> ボタンを押す

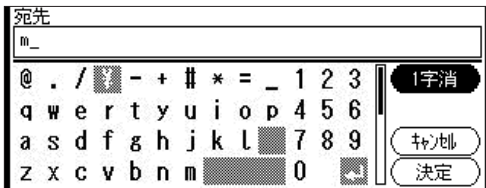
<クリア> ボタンを押して、最後に入力した文字を削除します。

<クリア> ボタンを長押しして、入力したすべての文字を削除します。



■ 画面キーボードの [1 字消] を選択する

▶と▼を押して [1 字消] を選択し、(OK)を押して、最後に入力した文字を削除します。



● 設置のしかた

この節では、本機の開梱と設置のしかたについて説明します。

設置条件

設置環境

本機は、以下の環境に設置してください。

周囲温度：	10℃～32℃
周囲湿度：	20%～80% RH (相対湿度)
最大湿球温度：	25℃

！注

- 結露しないように注意してください。故障の原因になります。
- 周囲湿度が30% RH以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットを使用してください。
- 粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼン、TVOCの放散については、エコマークNo.122「プリンタ Version2」の物質エミッションに関する認定基準を満たしています。(トナーは沖データ純正トナーカートリッジを使用し、白黒印刷およびカラー印刷を行なった場合について、試験方法 Blue Angel RAL UZ-122:2006 の付録2に基づき試験を実施しました。)

⚠警告

- 高温になる場所や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所(実験室など)には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さな子供の手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所(ぐらついた台や傾いた所など)には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。
- 本機の通気口をふさぐような場所には設置しないでください。

⚠注意

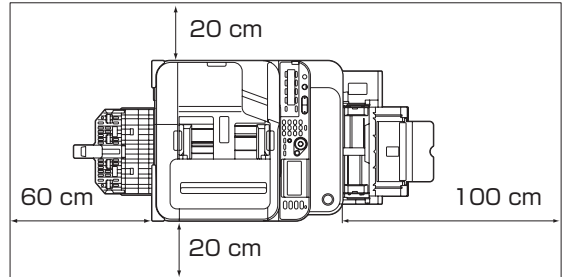
- 毛足の長いジュタンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニターやテレビから離して設置してください。
- 本機を移動するときは、本機の両側を持ち、本機を後ろ側に倒し気味にして運んでください。

設置スペース

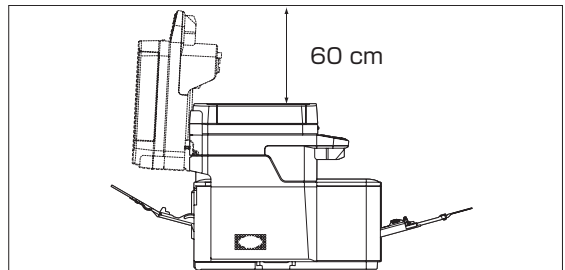
本機の足が乗る大きさの平らな机の上に設置してください。

以下の図に示すとおり、本機の周りに十分なスペースを取ってください。

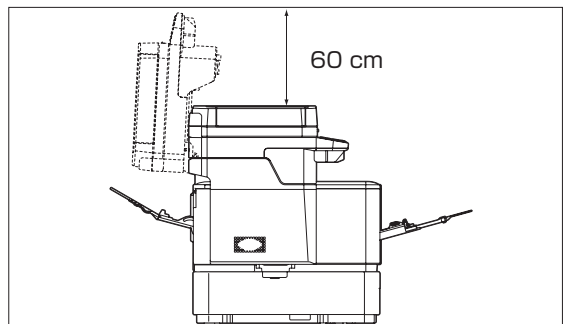
● 平面図



● 側面図



● 側面図 (セカンドトレイユニット取り付け時)



開梱と設置のしかた

本機の開梱と設置のしかたについて説明します。

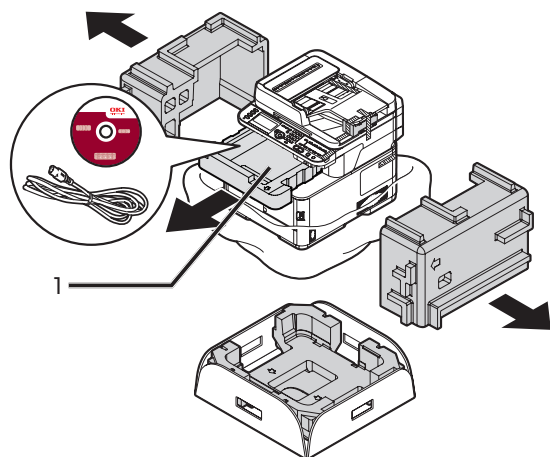
⚠注意	ケガをするおそれがあります。	⚠
● 本機は、重量が約 29 kg ありますので、2 人以上で持ち上げてください。		

！注

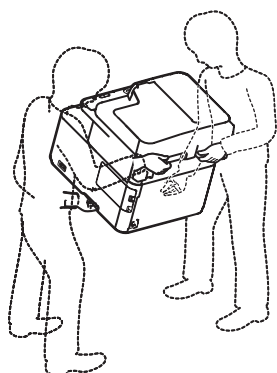
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムユニットは、直射日光や、約 1500 ルクスを超える強い室内光に当てないでください。通常の室内の照明の下でも、5 分を超えて放置しないでください。
- 梱包箱や緩衝材は本機を輸送するときに必要です。捨てずに保管しておいてください。

1 梱包箱を取り外し、本機から緩衝材とビニール袋を取り外します。

緩衝材（1）の中に付属品一式が梱包されています。



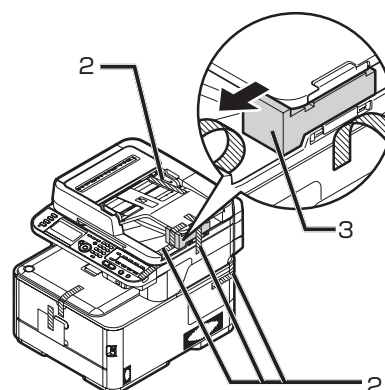
2 本機を持ち上げ、設置場所に置きます。



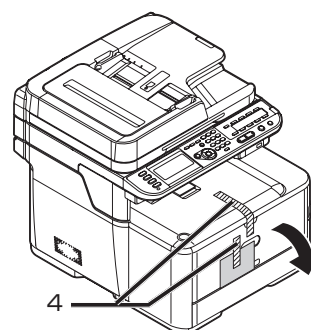
！注

- スキャナーユニットは、手順 10 まで開かないでください。

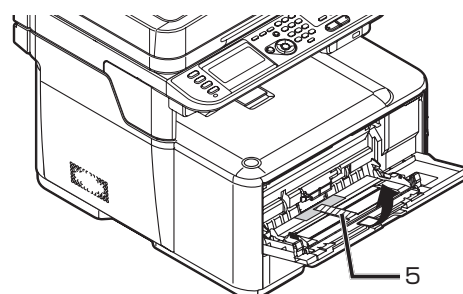
3 本機上部と側面の保護テープ（2）をはがし、緩衝材（3）を取り除きます。



4 保護テープ（4）をはがし、マルチパーパストレイを開きます。

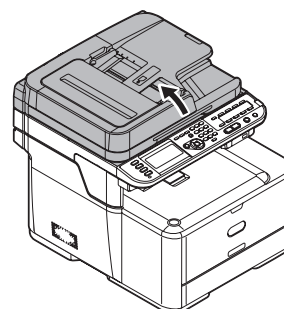


5 保護テープ（5）をはがし、紙を上引き抜きます。

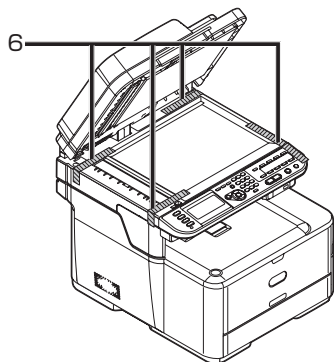


6 マルチパーパストレイを閉じます。

7 原稿ガラスカバーを開けます。

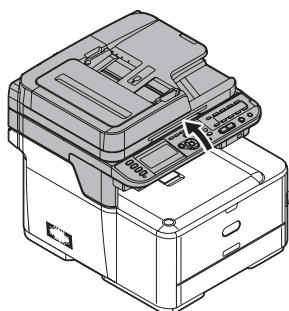


8 保護テープ (6) を取り除きます。

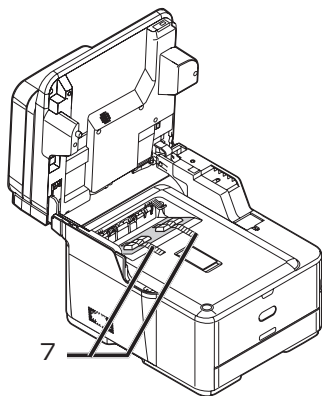


9 原稿ガラスカバーを閉じます。

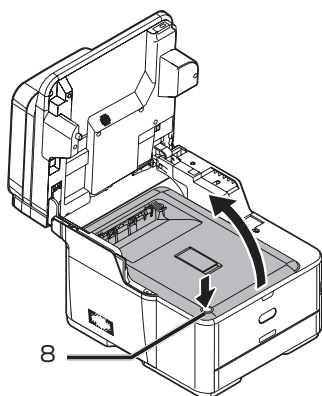
10 スキャナーユニットを開きます。



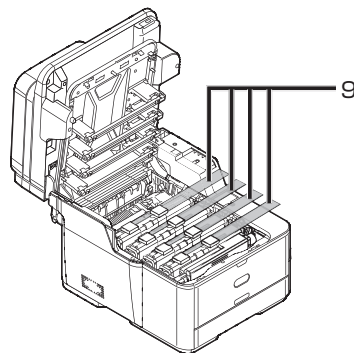
11 保護テープ (7) をはがし、乾燥剤とフィルムを取り除きます。



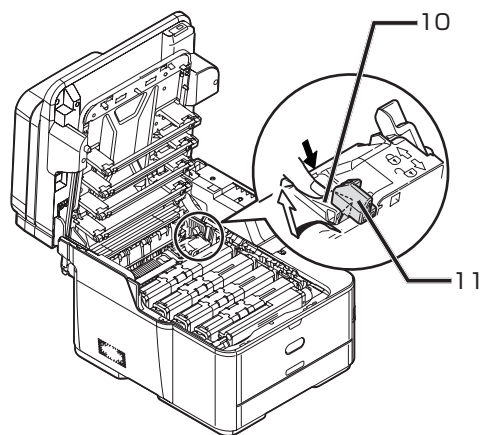
12 本体排紙トレイオープンボタン (8) を押し、本体排紙トレイを開けます。



13 保護シート (9) を取り除きます。



14 定着器ユニットの青いレバー (10) を矢印の方向に押しながら、オレンジ色のストップリリース (11) を取り外します。

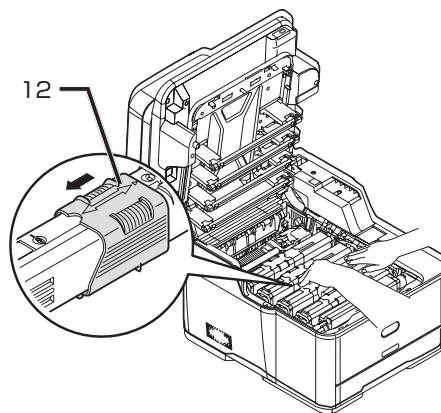


！注

● オレンジ色のストップリリースは、本機を輸送するときに使いますので、保管しておいてください。

15 トナーカートリッジの右側を押さえながら、青いロック (12) を左側にスライドさせ、ロックします。

4本のトナーカートリッジすべてのロックをスライドさせてください。



16 本体排紙トレイを閉じます。

17 スキャナーユニットを閉じます。

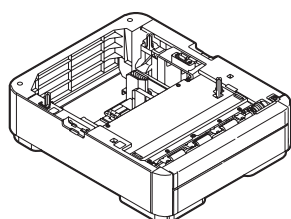
☞参照

- 本機への給紙については、「用紙のセットのしかた」P.34 を参照してください。

オプションについて

本機には、以下のオプションが提供されています。

- セカンドトレイユニット



型名：TRY-C4G1

セカンドトレイユニットを取り付ける

セカンドトレイユニット（トレイ 2）は、セットできる用紙を増やしたいときに取り付けます。取り付けたあと、プリンタードライバーを設定する必要があります。

！注

- 必ず電源を切り、電源コードとすべてのケーブルを抜いてから、オプションを取り付けてください。電源を入れた状態でオプションを取り付けると、本機とオプションが故障する場合があります。

☞参照

- セカンドトレイユニット（トレイ 2）の仕様については、「用紙のセットのしかた」P.34 を参照してください。

取り付け

！注意

ケガをするおそれがあります。

！

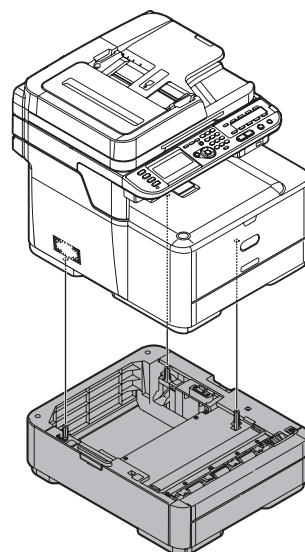
- 本機は、重量が約 29 kg ありますので、2 人以上で持ち上げてください。

- 1 本機の電源を切り、電源コードとすべてのケーブルを取り外します。

☞参照

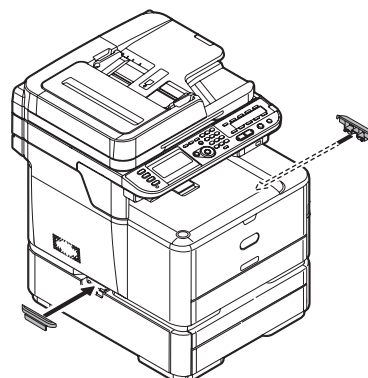
- 「電源を切る」P.33

- 2 本機を持ち上げ、セカンドトレイユニットの 3 本の突起を本機の底の穴に合わせます。



- 3 本機をセカンドトレイユニットの上に静かに載せます。

- 4 ロックピースを取り付けます。



！注

- ロックピースを取り付けないと、スキャナーユニットを開いた際に本機がセカンドトレイから外れるおそれがあります。

- 5 電源コードと取り外したケーブルを本機に差し込み、電源を入れます。

プリンタードライバーの設定

！注

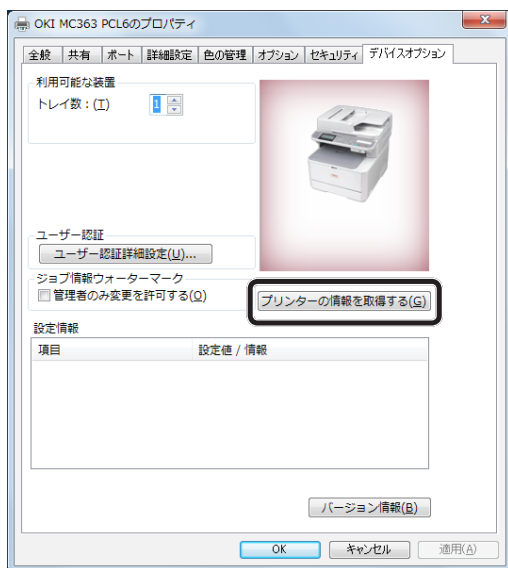
- この手順を実行する場合は、パソコンに、管理者の権限でログインする必要があります。

参照

- この手順を実行する前に、プリンタードライバーをパソコンにインストールしておく必要があります。プリンタードライバーのインストール方法については、「パソコンに接続してドライバーなどをインストールする」P.46 を参照してください。

■ Windows PCL ドライバーの場合

- 1 [スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。
- 2 OKI MC363 のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] (複数のドライバーをインストールしている場合は > [OKI MC363 PCL6]) を選択します。
- 3 [デバイスオプション] タブを選択します。
- 4 ネットワーク接続の場合は、[プリンターの情報を取得する] を選択します。
USB 接続の場合は、[トレイ数] に「2」(本機に取り付けたトレイの合計数) を入力します。

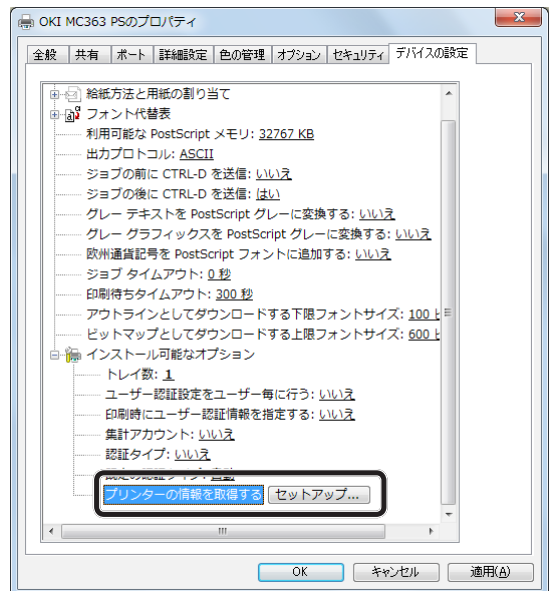


- 5 [OK] をクリックします。

■ Windows PS ドライバーの場合

- 1 [スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。
- 2 [OKI MC363 PS] のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] (複数のドライバーをインストールしている場合は > [OKI MC363 PS]) を選択します。
- 3 [デバイスの設定] タブを選択します。
- 4 ネットワーク接続の場合は、[インストール可能なオプション] で [プリンターの情報を取得する] を選択し、[セットアップ] をクリックします。

USB 接続の場合は、[インストール可能なオプション] の [トレイ数] で [2] を選択します。



- 5 [OK] をクリックします。

■ Mac OS X PS ドライバーの場合

- 1 アップルメニューから [システム環境設定] を選択します。
- 2 [プリンタとスキャナ] をクリックします。
- 3 本機を選択し、[オプションとサプライ] をクリックします。
- 4 [オプション] タブを選択します。
- 5 [トレイ数] で、[2] を選択し、[OK] をクリックします。



電源を入れる / 切る

電源の条件

電源は、次の条件を満たしている必要があります。

交流 (AC) : 100 V ± 10%
電源周波数 : 50/60 Hz ± 2%

！注

- 電源が不安定な場合は、電圧調整器を使用してください。
- 本機の最大消費電力は 1170 W です。電源容量に十分余裕があることを確認してください。
- 無停電電源 (UPS) やインバーターを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源やインバーターは使用しないでください。

警告

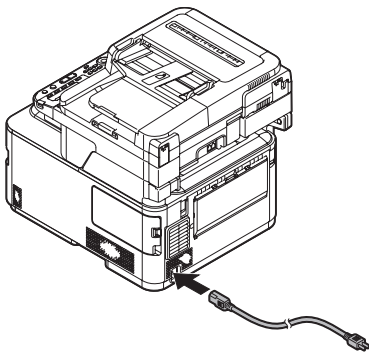
火災や感電のおそれがあります。



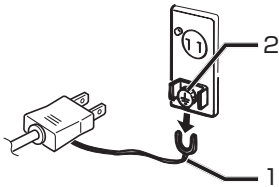
- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。アースが取れない場合はお買い求めの販売店にご相談ください。
- アース線は、水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- アース線の接続は、必ず、電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース線を外す場合は、必ず電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源コードは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本機とほかの電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレツダなど同時に接続すると、電気的ノイズによって本機が誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 本機に付属の電源コードを使用し、直接コンセントに差し込んでください。ほかの製品用の電源コードを本機に使用しないでください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格 15A 以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC 電圧降下により、本機が正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源コードを抜かないでください。
- 連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。
- 本機に付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。

電源を入れる

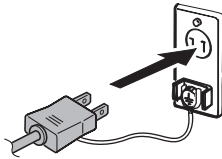
- 1 電源コードを本機の電源コネクタに差し込みます。



- 2 アース線 (1) をコンセントのアース端子 (2) に接続します。

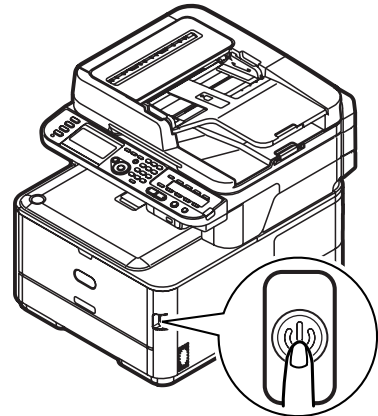


- 3 電源コードをコンセントに差し込みます。

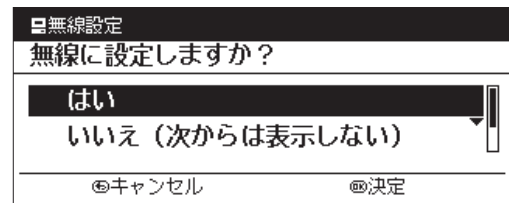


- 4 原稿ガラスまたは自動原稿送り装置 (ADF) 上に原稿がないこと、および自動原稿送り装置 (ADF) カバーが閉じられていることを確認します。

- 5 電源スイッチを約 1 秒間押し続けて電源を入れます。
電源が入ると電源スイッチの LED ランプが点灯します。



無線 LAN が有効になっている場合、無線設定画面が表示されます。



【はい】

無線 LAN のセットアップを実行します。

【いいえ (次からは表示しない)】

無線 LAN のセットアップを実行しません。

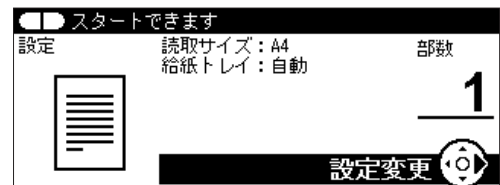
次回から無線設定画面は表示されなくなります。

【いいえ】

無線 LAN のセットアップを実行しません。

次回電源を入れた際、無線設定画面が表示されます。

- 6 お使いの機器が待機状態になったあと、スタート画面が表示されます。



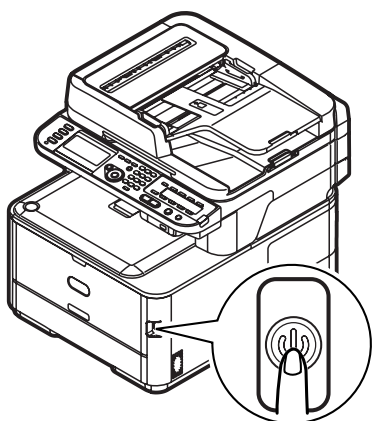
電源を切る

1 電源スイッチを約1秒間押します。

操作パネル上に、「シャットダウン中です しばらくお待ちください 電源は自動的に切れます」と表示され、電源スイッチのLEDランプが約1秒周期で点滅します。しばらくすると、本機の電源は自動的に切れ、電源スイッチのLEDランプが消灯します。

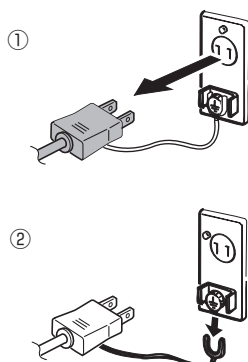
！注

- 本機がパソコンからのファクスデータなどを受信中でないことを確認して、シャットダウンしてください。
- 電源スイッチを5秒以上押し続けると、強制的に電源が切れます。トラブルが発生した時のみで使用ください。本機のトラブルについては、「ユーザーズマニュアル 困ったときはと日々のメンテナンス編」を参照してください。



■ 長期間使用しないとき

連休や旅行で本機を長期間使用しない場合は、コンセントから電源コードを抜いてください。また、定着器ユニットにストッパリリースを取り付けてください。



！注

- アース線を外す場合は、必ず電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。

メモ

- 本機は長時間（4週間以上）電源コードを抜いておいても、機能障害を生じません。

1 用紙のセットのしかた

本機には、2つの内蔵トレイ（トレイ1およびマルチパーパストレイ）とオプションのセカンドトレイユニット（トレイ2）があります。次のリストを参照して、使用できる用紙と各トレイの容量を確認してください。

■ 普通紙

OKI カラーページプリンター用紙 エクセレントペーパー A4（型名：PPR-DA4TDB）

エクセレント ホワイト A4（型名：PPR-CA4NA）

■ 再生紙

王子製紙製 再生 PPC 用紙 100

！注

●「*」がついた用紙には、両面印刷は行えません。

トレイ	使用できる用紙サイズ	セットできる枚数	用紙の厚さ
●トレイ1	<ul style="list-style-type: none"> ● A4 ● A5 ● B5 ● A6* ● B6 ● レター ● リーガル（13 インチ） ● リーガル（13.5 インチ） ● リーガル（14 インチ） ● エグゼクティブ ● ステートメント ● 8.5"SQ ● フォリオ ● 16K（184 x 260 mm） ● 16K（195 x 270 mm） ● 16K（197 x 273 mm） ● はがき* ● カスタム 	280 枚 (用紙の厚さが 64 g/m ² の場合)	<ul style="list-style-type: none"> ● 普通紙 (64 ~ 74 g/m²) ● やや厚い紙 (75 ~ 82 g/m²) ● 厚い紙 (83 ~ 104 g/m²) ● より厚い紙 (105 ~ 120 g/m²) ● ごく厚い紙 1 (121 ~ 176 g/m²) <p>*176g/m² を超える厚手の郵便はがきは MP トレイを使用してください。</p>
●トレイ2 (オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ● A4 ● A5 ● B5 ● レター ● リーガル（13 インチ） ● リーガル（13.5 インチ） ● リーガル（14 インチ） ● エグゼクティブ ● 8.5"SQ ● フォリオ ● 16K（184 x 260 mm） ● 16K（195 x 270 mm） ● 16K（197 x 273 mm） ● カスタム 	580 枚 (用紙の厚さが 64 g/m ² の場合)	<ul style="list-style-type: none"> ● 普通紙 (64 ~ 74 g/m²) ● やや厚い紙 (75 ~ 82 g/m²) ● 厚い紙 (83 ~ 104 g/m²) ● より厚い紙 (105 ~ 120 g/m²) ● ごく厚い紙 1 (121 ~ 176 g/m²)

！注

- 「*」 がついた用紙には、両面印刷は行えません。

トレイ	使用できる用紙サイズ	セットできる枚数	用紙の厚さ
● マルチパーパストレイ	<ul style="list-style-type: none"> ● A4 ● A5 ● B5 ● A6* ● B6 ● B6 ハーフ ● レター ● リーガル (13 インチ) ● リーガル (13.5 インチ) ● リーガル (14 インチ) ● エグゼクティブ ● ステートメント ● 8.5"SQ ● フォリオ ● 16K (184 x 260 mm) ● 16K (195 x 270 mm) ● 16K (197 x 273 mm) ● カスタム ● Com-9* ● Com-10* ● Monarch* ● DL* ● C5* ● はがき * ● 往復はがき * ● 封筒 1 (長形 3 号) * ● 封筒 2 (長形 4 号) * ● 封筒 3 (洋形 4 号) * ● インデックスカード * ● 4 x 6 インチ ● 5 x 7 インチ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 110 枚 (用紙の厚さが 64 g/m² の場合) ● 40 枚 (郵便はがき) ● 10 枚 (封筒) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 普通紙 (64 ~ 74 g/m²) ● やや厚い紙 (75 ~ 82 g/m²) ● 厚い紙 (83 ~ 104 g/m²) ● より厚い紙 (105 ~ 120 g/m²) ● ごく厚い紙 1 (121 ~ 176 g/m²) ● ごく厚い紙 2* (177 ~ 220 g/m²)

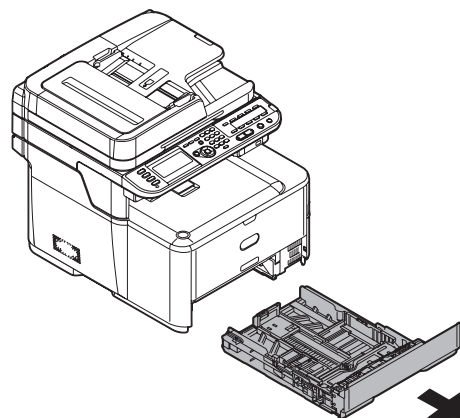
トレイ 1 とトレイ 2 に用紙をセットする

次の手順では、トレイ 1 またはトレイ 2 に用紙をセットする方法を説明します。

メモ

- 次の手順では例としてトレイ 1 を使用しますが、トレイ 2 にも同じ手順があてはまります。

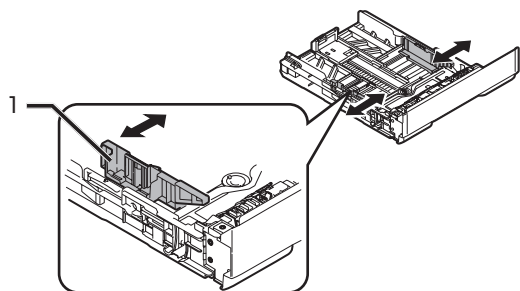
1 用紙トレイを引き出します。



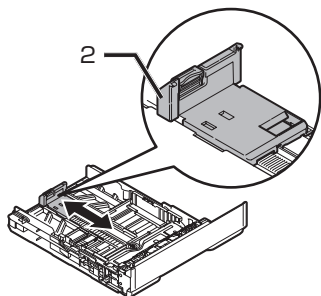
！注

- トレイを引き出したとき、用紙サイズ選択画面が自動的に表示されます。「[トレイ設定を行う](#)」P.37 の手順 4 以降の設定を行ってください。用紙の変更がない場合は設定する必要はありません。

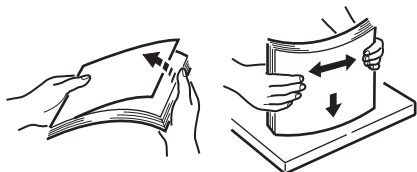
- 2 用紙ガイド (1) を、セットする用紙の幅に合わせてスライドさせます。



- 3 用紙ストッパー (2) を、セットする用紙の長さに合わせてスライドさせます。



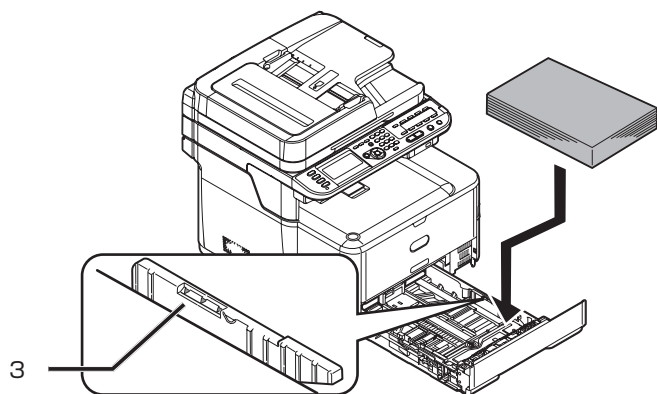
- 4 用紙をよくさばきます。用紙の端を水平にまっすぐにそろえます。



- 5 印刷面を下にして用紙をセットします。

【注】

- 用紙ガイドの「▽」マーク (3) を越えて用紙をセットしないでください。



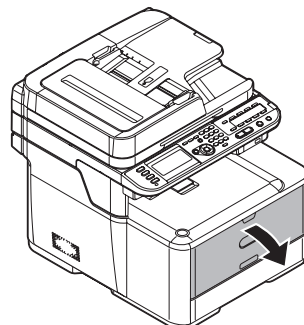
- 6 止まるまで用紙トレイを押します。

セットした用紙を本機に登録します。「[トレイ設定を行う](#)」P.37に進みます。

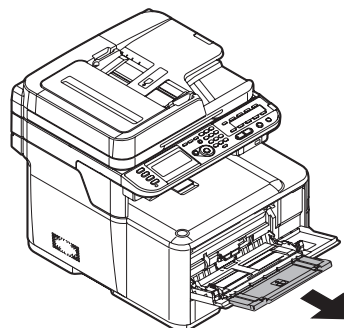
マルチパーパストレイに用紙をセットする

次の手順では、用紙をマルチパーパストレイにセットする方法を説明します。

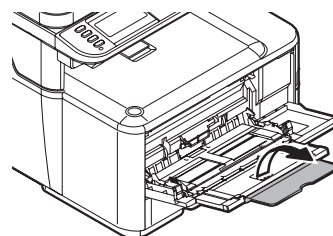
- 1 マルチパーパストレイを開きます。



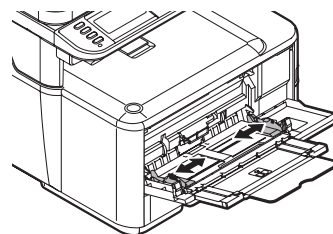
- 2 用紙サポータを引き出します。



- 3 補助サポータを開きます。



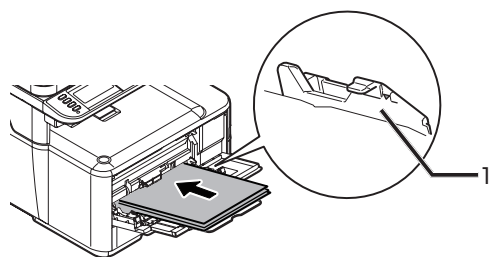
- 4 手差しガイドを、セットする用紙の幅に合わせて調節します。



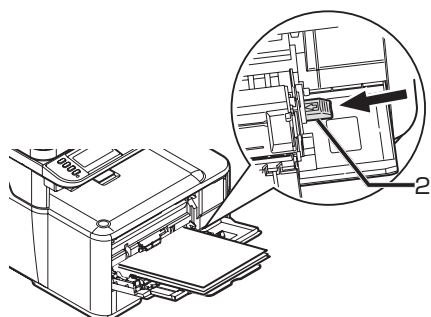
- 5 用紙の端が給紙口に接触するまで、印刷面を上にして用紙をセットします。

！注

- 「▽」マーク（1）を越えて用紙をセットしないでください。



- 6 セットボタン（2）を押します。



セットした用紙を本機に登録します。「トレイ設定を行う」P.37に進みます。

！注

- サイズ、種類、厚さが異なる用紙を同時にセットしないでください。
- 用紙を追加するときは、マルチパーパストレイに入っている用紙を取り出し、その用紙と追加する用紙の端をまっすぐにそろえてから、両方の用紙をセットします。
- マルチパーパストレイには、印刷用紙以外のものは入れないでください。
- マルチパーパストレイからの印刷中に用紙を上から押さえたり、用紙を持って引張ったりしないでください。故障の原因となります。もし、印刷を止めたい場合は、本体排紙トレイを開けてください。用紙の除去方法は、「ユーザーズマニュアル 困ったときには日々のメンテナンス編」を参照してください。

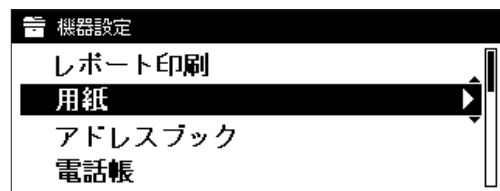
メモ

- はがき、往復はがきは印刷する面を上、封筒は宛名面を上にし、それぞれ次の向きにセットします。
 - はがきは、上端から給紙口に入っていきようにセットします。
 - 往復はがきは、右端から給紙口に入っていきようにセットします。
 - 長形封筒（長形3号、長形4号、A4）は、フラップ（ふたののりしろ部分）を開いた状態で、フラップが手前になるようにセットします。
 - 封筒3（洋形4号）は、フラップ（ふたののりしろ部分）を折った状態で、フラップ部分が給紙方向に対して右側になるようにセットします。
 - 洋形封筒（Monarch、Com-9、Com-10、DL、C5）は、フラップ（ふたののりしろ部分）を折った状態で、フラップ部分が給紙方向に対して左側になるようにセットします。

トレイ設定を行う

トレイ1、トレイ2、またはマルチパーパストレイに用紙をセットしたら、セットした用紙を本機に登録する必要があります。

- 1 操作パネルの<設定>ボタンを押します。
- 2 ▼を押して[用紙]を選択し、OKを押します。



- 3 ▼を押して用紙をセットした用紙トレイを選択し、OKを押します。
- 4 [用紙サイズ]が選択されていることを確認し、OKを押します。
- 5 ▼を押してセットした用紙のサイズを選択し、OKを押します。

参照

- [用紙サイズ]で[カスタムサイズ]を選択した場合は、カスタムサイズを登録する必要があります。カスタムサイズの登録方法については、「カスタムサイズを登録する」P.38を参照してください。

- 6 ▼を押して[用紙種類]を選択し、OKを押します。
- 7 ▼を押してセットした用紙の種類を選択し、OKを押します。
- 8 ▼を押して[用紙厚]を選択し、OKを押します。
- 9 ▼を押してセットした用紙の厚さを選択し、OKを押します。
- 10 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

カスタムサイズを登録する

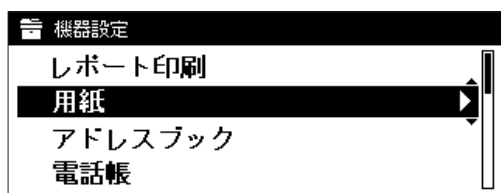
カスタムサイズ用の紙をセットするには、印刷前に用紙の幅と長さを登録する必要があります。設定できるサイズの範囲は、用紙トレイによって異なります。

トレイ	使用できる用紙サイズの範囲
トレイ 1	幅： 100 ~ 216 mm (3.9 ~ 8.5 インチ) 長さ： 148 ~ 356 mm (5.8 ~ 14.0 インチ)
トレイ 2 (オプション)	幅： 148 ~ 216 mm (5.8 ~ 8.5 インチ) 長さ： 210 ~ 356 mm (8.3 ~ 14.0 インチ)
マルチパーパス ストレイ	幅： 64 ~ 216 mm (2.5 ~ 8.5 インチ) 長さ： 127 ~ 1321 mm (5.0 ~ 52.0 インチ)

！注

- [用紙サイズ] が [カスタムサイズ] に設定されている場合のみ、[カスタムサイズ] が表示されます。
- 両面印刷に使用できる用紙サイズの範囲は、トレイ 2 に使用できる用紙サイズの範囲と同じです。

- 1 操作パネルの **< 設定 >** ボタンを押します。
- 2 ▼を押して [用紙] を選択し、**OK**を押します。



- 3 ▼を押して用紙をセットした用紙トレイを選択し、**OK**を押します。
- 4 ▼を押して [カスタムサイズ] を選択し、**OK**を押します。
- 5 テンキーを使用して目的の値を入力し、**OK**を押します。
次のボックスに移動するには、◀または▶を押します。



- 6 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

用紙の排出

本機は、本体排紙トレイまたは後方排紙トレイに用紙を排出します。それぞれの排紙トレイに排出できる用紙の種類は次のとおりです。

排出先	排出できる用紙種類	容量
本体排紙トレイ	● 普通紙 ● 再生紙	● 150 枚 (用紙の厚さが 64 g/m ² の場合)
後方排紙トレイ	● 普通紙 ● 再生紙 ● 封筒 ● はがき ● 往復はがき ● インデックスカード ● ラベル紙	● 110 枚 (用紙の厚さが 64 g/m ² の場合) ● 10 枚 (厚紙および封筒)

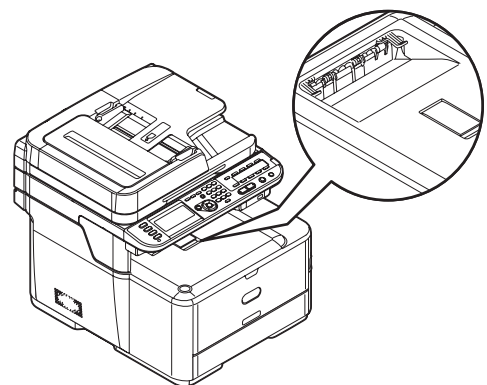
両面印刷するときには、本体排紙トレイに排出します。

！注

- 印刷中は、後方排紙トレイを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。

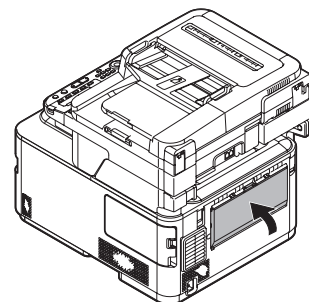
本体排紙トレイを使用する

印刷面を下にして排紙します。



！注

- 本機の後ろ側にある後方排紙トレイが閉じていることを確認してください。後方排紙トレイが開いた状態では、常に後方排紙トレイに排紙されます。



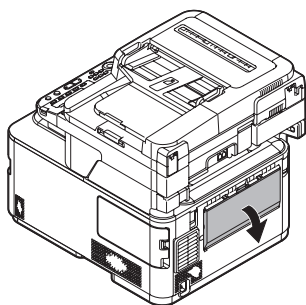
後方排紙トレイを使用する

印刷面を上にして排紙します。

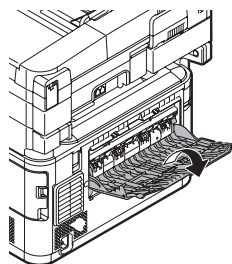
！注

- 両面印刷するときは、後方排紙トレイは使用できません。

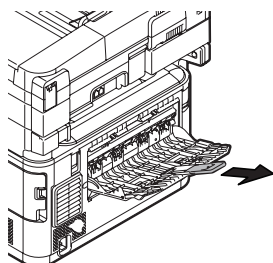
- 1 本機の後ろ側にある後方排紙トレイを手前に開きます。



- 2 用紙サポータを広げます。



- 3 補助サポータを引き出します。



原稿のセットのしかた

スキャナータイプ	読み取り可能サイズ	容量	用紙の厚さ
自動原稿送り装置 (ADF)	<ul style="list-style-type: none"> ● A4 ● A5 ● A6 ● B5 ● B6 ● レター ● リーガル 13 ● リーガル 13.5 ● リーガル 14 ● エグゼクティブ ● ステートメント ● 8.5"SQ ● フォリオ 	50 枚 (64 g/m ²)	60 ~ 105 g/m ²
原稿ガラス	<ul style="list-style-type: none"> ● A4 ● A5 ● A6 ● B5 ● B6 ● レター ● エグゼクティブ ● ステートメント ● 8.5"SQ 	-	20 mm

メモ

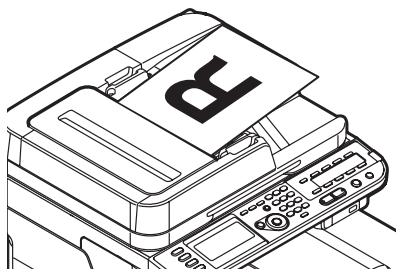
- A6 は両面読み取りできません。

！注

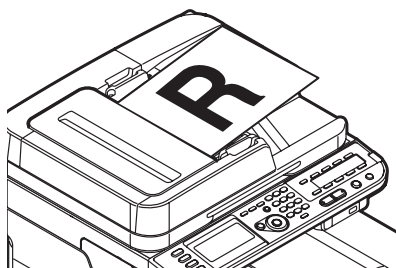
- 接着剤、インク、修正液を使用した原稿の場合は、完全に乾いていることを確認してからセットしてください。

原稿を自動原稿送り装置 (ADF) にセットする

- 1 原稿を表にして自動原稿送り装置 (ADF) にセットします。
縦向きの場合、原稿の上端から入っていくようにセットします。



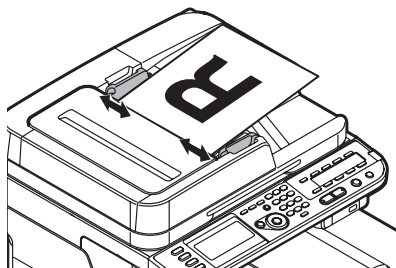
横向きの場合、原稿の左端から入っていくようにセットします。



- 2 原稿の幅に合わせて、原稿ガイドを調節します。

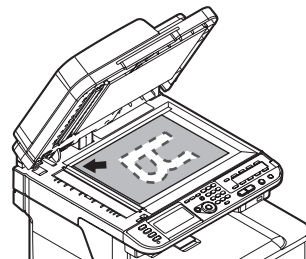
！注

- 自動原稿送り装置 (ADF) からの原稿の給紙ミスが多発する場合は、セットする原稿の枚数を減らしてください。

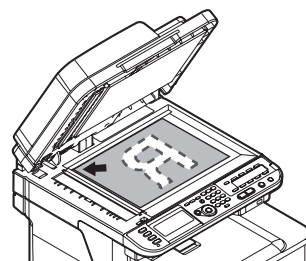


原稿を原稿ガラスにセットする

- 1 原稿ガラスカバーを開きます。
- 2 原稿を裏にして、原稿ガラスにセットします。
縦向きの場合、原稿の上端とガラスの左上の角を合わせます。

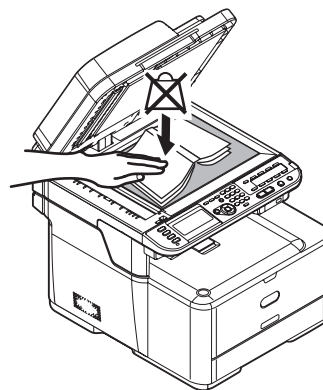


横向きの場合、原稿の右端とガラスの左上の角を合わせます。



！注

- 原稿ガラスを強く押さないでください。



- 3 原稿ガラスカバーを静かに閉じます。

参照

- 原稿の方向 (縦、横) に応じて、あらかじめ **「原稿の画像向き」** 設定を変更しておく必要があります。工場出荷時の設定は **「縦」** です。**「原稿の画像向き」** 設定については、**「原稿の向きを変更する (原稿の画像向き)」 P.103** を参照してください。

● 用紙・原稿について

この節では、用紙および原稿の仕様と、それらをセットする方法について説明します。



用紙について

使用できる用紙

高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。

電子写真プリンター用紙をご使用ください。

弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

種類	サイズ (mm) (カッコ内の単位はインチ)		厚さ
普通紙	A4	210 x 297	64 ~ 220 g/m ² 両面印刷の場合、64 ~ 176 g/m ²  ● 推奨紙：エクセレントペーパー 推奨再生紙：王子製紙製 再生 PPC 用紙 100  ● A6、A5 サイズおよび、用紙幅が 148 mm (A5 幅) 以下を設定すると、印刷速度が遅くなります。
	A5	148 x 210	
	A6	105 x 148	
	B5	182 x 257	
	B6	128 x 182	
	B6 ハーフ	64 x 182	
	レター	215.9 x 279.4 (8.5 x 11)	
	リーガル (13 インチ)	215.9 x 330.2 (8.5 x 13)	
	リーガル (13.5 インチ)	215.9 x 342.9 (8.5 x 13.5)	
	リーガル (14 インチ)	215.9 x 355.6 (8.5 x 14)	
	エグゼクティブ	184.2 x 266.7 (7.25 x 10.5)	
	ステートメント	139.7 x 215.9 (5.5 x 8.5)	
	8.5"SQ	215.9 x 215.9 (8.5 x 8.5)	
	フォリオ	210 x 330	
	16K (184 x 260 mm)	184 x 260	
	16K (195 x 270 mm)	195 x 270	
	16K (197 x 273 mm)	197 x 273	
	カスタム	幅：64 ~ 216 長さ：148 ~ 1321	64 ~ 220 g/m ²
はがき	はがき	100 x 148	郵便はがき
	往復はがき	148 x 200	
封筒	封筒 (長形 3 号)	120 x 235	85 g/m ² の紙を使用したもの
	封筒 (長形 4 号)	90 x 205	
	封筒 (洋形 4 号)	105 x 235	
	Monarch	98.4 x 190.5 (3.875 x 7.5)	24 lb の紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの
	Com-9	98.4 x 225.4 (3.875 x 8.875)	
	Com-10	104.8 x 241.3 (4.125 x 9.5)	
	DL	110 x 220 (4.33 x 8.66)	
C5	162 x 229 (6.4 x 9)		
その他	インデックスカード	76.2 x 127 (3 x 5)	
	4 x 6 インチ	101.6 x 152.4 (4 x 6)	
	5 x 7 インチ	127.0 x 177.8 (5 x 7)	
ラベル紙	A4	210 x 297	0.1 ~ 0.2 mm
	レター	215.9 x 279.4 (8.5 x 11)	
部分印刷用紙	普通紙に準じます。		64 ~ 220 g/m ²
カラー用紙	普通紙に準じます。		64 ~ 220 g/m ²

! 注

- はがき、封筒、ラベル紙を設定すると印刷速度が遅くなります。

推奨紙

■ 普通紙

OKI カラーページプリンター用紙 エクセレントペーパー A4 (型名: PPR-DA4TDB)

エクセレント ホワイト A4 (型名: PPR-CA4NA)

■ 再生紙

王子製紙製 再生 PPC 用紙 100

使用できない用紙

次の種類の用紙は使用しないでください。使用すると、紙づまりや不具合の原因になります。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工（コート紙）をしてある用紙
- のり・スターチ・薬品などで特殊加工してあるもの
- 耐熱性（230℃）のない特殊加工をしてあるもの
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがあるもの
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などが付いているもの
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンター用紙、インクジェット用の用紙やはがき、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など
- 切手の貼ってあるもの
- 写真加工してあるはがき
- 厚すぎる封筒、プラスチックでできた封筒、内袋のある二重封筒、撥水加工された封筒
- 留め金やボタンや窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤や両面テープのついた封筒

用紙の保管

用紙は、品質を維持するために次の条件の下で保管してください。

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度：20℃
- 湿度：50% RH（相対湿度）

次のような場所には保管しないでください。

- 床の直接上
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

！注

- 用紙は、使用するときまで開封しないでください。
- 開封した用紙を長期間放置しないでください。正常に印刷できないことがあります。

原稿について

自動原稿送り装置（ADF）または原稿ガラスを使って原稿をセットし、コピー、スキャン、またはファクス送信することができます。

原稿の条件

次の原稿は自動原稿送り装置（ADF）にセットすることはできません。代わりに原稿ガラスを使用してください。

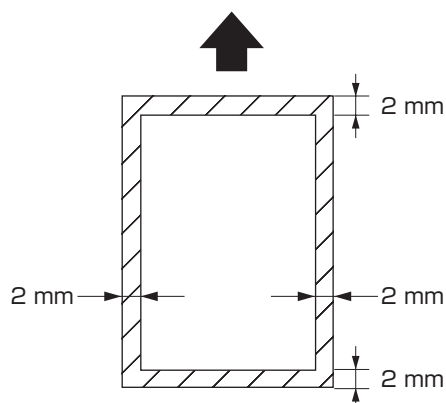
- 破れや穴のある原稿
- シワやカールの激しい原稿
- 湿った原稿
- 静電気で密着した原稿
- 裏がカーボンになっている原稿
- 布地、金属シート、OHP フィルム
- ホチキス、クリップ、セロハンテープなどがついた原稿
- 貼り合わせた原稿、のりがついた原稿
- 光沢のある原稿
- 特殊コーティングされた原稿

原稿ガラスを損傷しないように、次のことに注意してください。

- 厚手の原稿をコピーするときに、原稿をガラスに強く押し付けしないでください。
- 堅い原稿は、静かに置いてください。
- 鋭利な突起のある原稿をセットしないでください。

コピー時の読み取り可能領域

コピー機能では、定形紙の用紙端 2 mm の領域にある文字または画像は、読み取ることができません。



メモ

- 上図の矢印は、自動原稿送り装置（ADF）での送り方向、または原稿ガラスでの読み取り開始側を示します。

2 機器単体で動作を確認する

● テスト印刷する（メニューマップ）

この節では、本機の設定や状態の確認ができるメニューマップを印刷する方法を説明します。

印刷手順

- 1 操作パネルの < 設定 > ボタンを押します。
- 2 [レポート印刷] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 3 [メニューマップ] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 4 確認画面で < または > を押して [はい] を選択し、**OK**を押します。

参照

- 各機能のレポートやジョブリストを印刷することもできます。詳しくは、沖データホームページの活用マニュアルをご覧ください。

● コピー動作を確認する

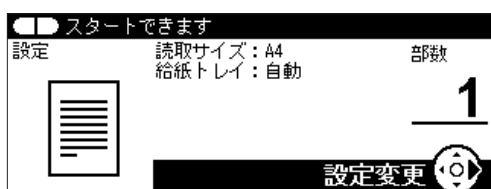
この節では、本機のコピー動作を確認します。

コピー手順

メモ

- 次の手順では、工場出荷時の設定を使用しています。

- 1 操作パネルの<コピー>ボタンを押して、スタート画面を開きます。



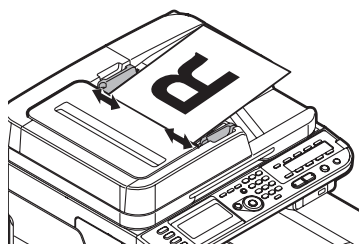
- 2 以下のように原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または原稿ガラスにセットします。

- 自動原稿送り装置 (ADF)

原稿を表にして、原稿の上端から入っていくようにセットします。

注

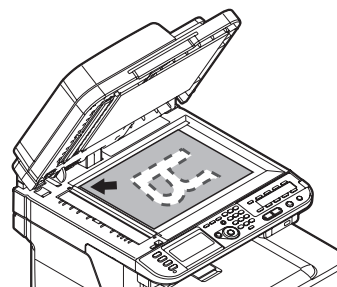
- 自動原稿送り装置 (ADF) からの原稿の給紙ミスが多発する場合は、セットする原稿の枚数を減らしてください。



原稿の幅に合わせて、原稿ガイドを調節します。

- 原稿ガラス

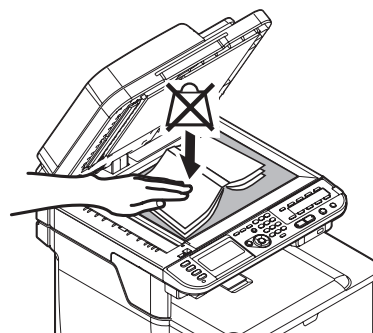
原稿を裏にして、原稿の上端とガラスの左上の角を合わせます。



原稿ガラスカバーを静かに閉じます。



注

- 原稿ガラスでコピーするときは、原稿ガラスに必要以上の重みをかけないでください。



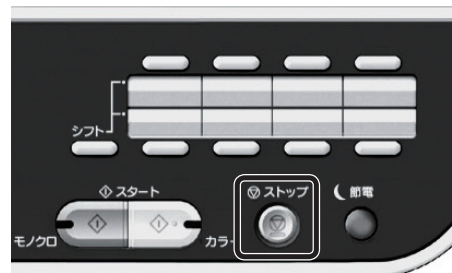
メモ

- 本機で原稿をコピーするときは、自動原稿送り装置 (ADF) の原稿が優先されます。原稿ガラスを使用するときは、自動原稿送り装置 (ADF) に原稿がないことを確認してください。

- 3 モノクロ () またはカラー () を押してコピーを始めます。

メモ

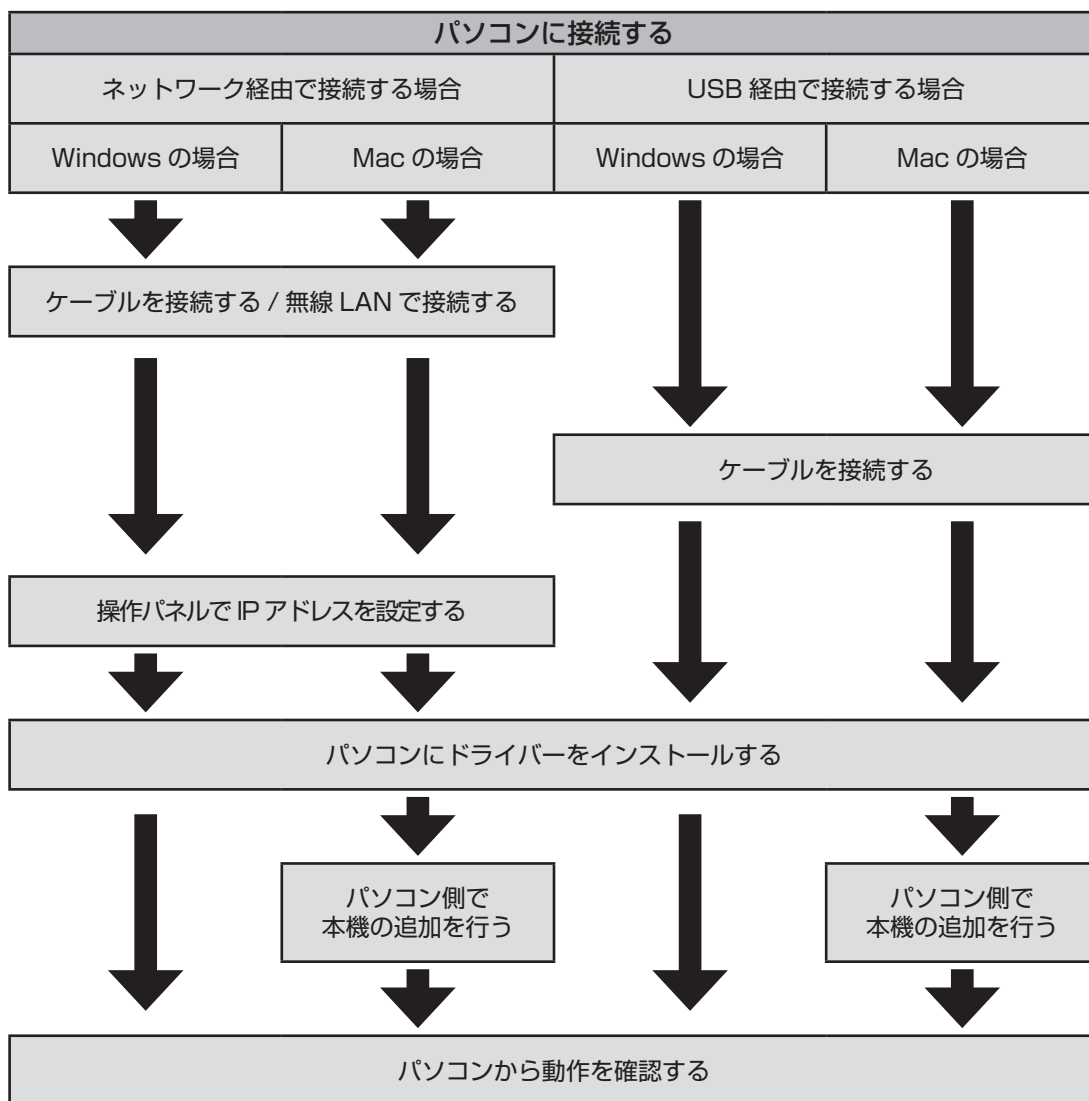
- コピー完了を示すメッセージが表示されるまでの間は、<ストップ>ボタンを押して、コピーを中止できます。



3 パソコンに接続してドライバーなどをインストールする

この章ではケーブルの接続または、無線 LAN の接続、お使いのパソコンにプリンタードライバー、Fax ドライバー、スキャナードライバー、各種ソフトウェアをインストールする方法、パソコンからの動作確認について説明します。

■ パソコンにドライバーをインストールする流れ



3

パソコンに接続してドライバーなどをインストールする

■ 概要

□ 接続方法

本機は、次のいずれかの接続方法を選択できます。

- 「ネットワーク接続」 P.48
- 「USB 接続」 P.59

□ 動作環境

本機は、次の Windows オペレーティングシステムに対応しています。

- Windows 10/Windows 10 (64bit 版) 日本語版
- Windows 8.1/Windows 8.1 (64bit 版) 日本語版
- Windows Sever 2012 R2 日本語版
- Windows 8/Windows 8 (64bit 版) 日本語版
- Windows Server 2012 日本語版
- Windows 7/Windows 7 (64bit 版) 日本語版
- Windows Vista/Windows Vista (64bit 版) 日本語版
- Windows Server 2008 R2 日本語版
- Windows Server 2008/Windows Server 2008 (64bit 版) 日本語版

● ネットワーク接続

ネットワーク接続を経由して、お使いのパソコンにドライバなどをインストールするには、下の2つの手順を行ってください。

- 「手順 1 本機のネットワーク設定を行う」 P.48
- 「手順 2 ドライバなどをインストールする」 P.52

メモ

- 本機のネットワーク設定が完了している場合は、手順 1 をスキップしてください。

手順 1 本機のネットワーク設定を行う

本機を LAN ケーブル、または無線 LAN でネットワークに接続し、操作パネルから本機の IP アドレスとその他のネットワーク情報を設定します。IP アドレスは、手動または自動で設定できます。

ネットワーク上に DHCP サーバーや BOOTP サーバーがない場合、手動でパソコンや本機に IP アドレスを設定する必要があります。

また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルーターメーカーより決められた固有の IP アドレスを設定するように指示された場合も、手動でパソコンや本機に IP アドレスを設定する必要があります。

ネットワーク上に DHCP サーバーや BOOTP サーバーがある場合、IP アドレスの取得方法を自動的に設定することで、自動的にパソコンや本機に IP アドレスが設定されます。

注

- 次の手順を行う前に、パソコンのネットワーク設定を完了させてください。
- パソコンの管理者の権限が必要です。
- IP アドレスを手動で設定する場合、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダに、使用する IP アドレスを問い合わせてください。IP アドレスを誤って設定すると、ネットワークが停止したりインターネットアクセスが不能になることがあります。

メモ

- 本機と 1 台のパソコンで小さなネットワークを構成する場合は、以下に示すとおり IP アドレスを設定します (RFC1918 に準拠)。

パソコン

IP アドレス:	192.168.0.1 ~ 254
サブネットマスク:	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ:	不使用
DNS サーバー:	不使用

本機

IP アドレス設定:	手動
IP アドレス:	192.168.0.1 ~ 254 (パソコンと異なる値を選択します)
サブネットマスク:	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ:	0.0.0.0
ネットワークの規模:	小規模

- 「ネットワークの規模」を設定するには、<設定> ボタン > 「管理者設定」 > 「ネットワーク管理」 > 「ネットワーク設定」 > 「ネットワーク基本設定」 > 「ネットワークの規模」 > 「小規模」を選択します。

LAN ケーブルを使って接続する

1 LAN ケーブルとハブを用意します。

LAN ケーブル (カテゴリ 5e 以上、ツイストペア、ストレート) とハブを別途用意してください。

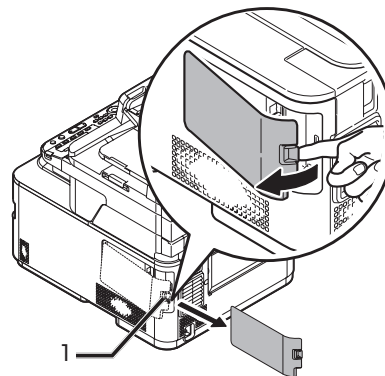


2 本機とパソコンの電源を切ります。

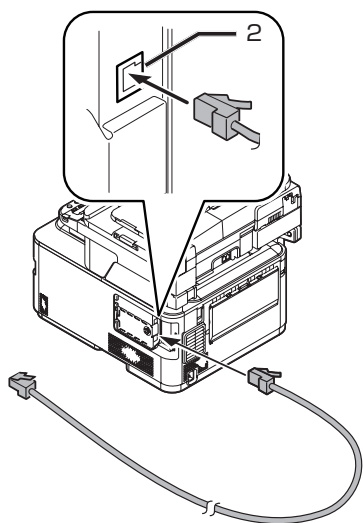
参照

- 「電源を切る」 P.33

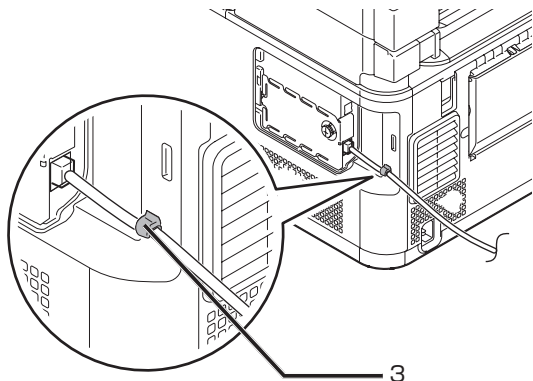
3 ロックボタン (1) を押しながら、本機の右側のコネクタカバーを取り外します。



- 4 LAN ケーブルの一端を、本機のネットワークインタフェースコネクタ (2) に差し込みます。

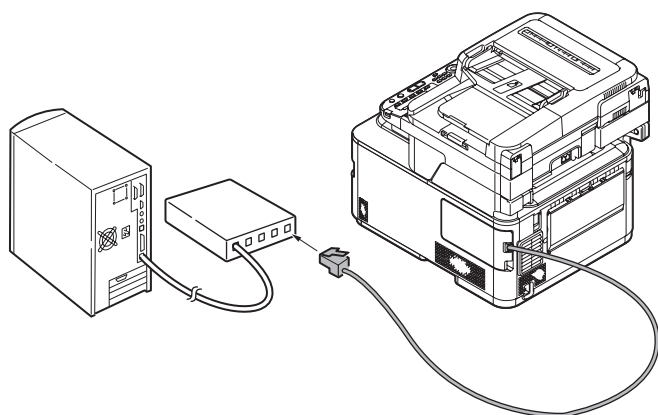


- 5 LAN ケーブルを本機のフック (3) に掛けます。



- 6 コネクターカバーを本機に取り付けます。

- 7 LAN ケーブルの他端をハブに差し込みます。



- 8 本機の電源を入れます。

無線 LAN (インフラストラクチャーモード) で接続する

! 注

- 無線 LAN (インフラストラクチャー) と無線 LAN (AP モード) を同時に有効にすることはできません。
- 無線 LAN (インフラストラクチャー) を有効にしている場合、本機はスリープモードに入りますがディープスリープモードに移行しません。
- 本機の近くに、微弱な電波を発する電気製品 (特に電子レンジやデジタルコードレス電話) を置かないでください。
- 本機と無線 LAN アクセスポイントの間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。
- 無線 LAN 接続は、環境によって有線 LAN 接続や USB 接続と比べて、通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、有線 LAN または USB 接続で印刷することをおすすめします。

■ 無線 LAN を有効にする

無線 LAN の機能は、工場出荷時は [無効] に設定されています。無線 LAN (インフラストラクチャーモード) を使用するには、次の手順に従って無線 LAN の機能を [有効] に設定してください。

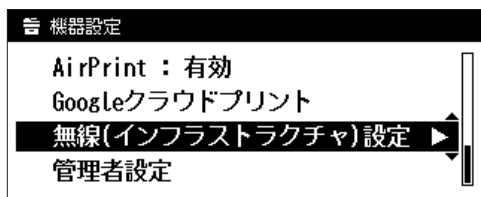
- 1 操作パネルの < 設定 > ボタンを押します。
- 2 ▼を押して [管理者設定] を選択し、OKを押します。
- 3 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「999999」です。
- 4 ▼を押して、[運用初期設定] を選択し、OKを押します。
- 5 ▼を押して、[無線モジュール] を選択し、OKを押します。
- 6 ▲を押して [有効] を選択し、OKを押します。
- 7 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。
- 8 本機の電源を切ります。

■ WPSで無線 LAN アクセスポイントに接続する

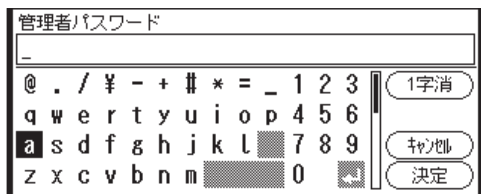
WPS（プッシュボタン）機能を使用して無線 LAN を設定します。

その他の設定方法については、「無線 LAN 接続ガイド」（ソフトウェア DVD-ROM に格納）を参照してください。

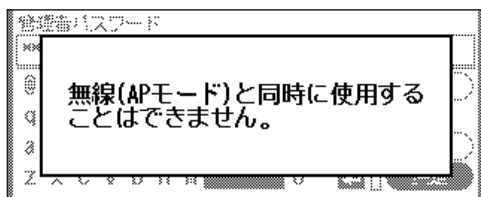
- 1 本機の電源を入れます。
[無線に設定しますか?] が表示されたら、[はい] を選択します。「WPSで無線 LAN アクセスポイントに接続する」の手順 4 へ進みます。
- 2 操作パネルの < 設定 > ボタンを押します。
- 3 ▼を押して [無線 (インフラストラクチャ) 設定] を選択し、▶を押します。



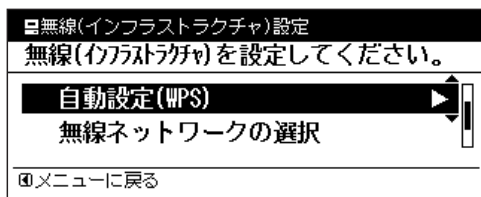
- 4 ログインするために、管理者パスワードを入力します。
▶、◀、▼、▲キーを使って文字を選択し、(OK) を押します。
工場出荷時のパスワードは「999999」です。



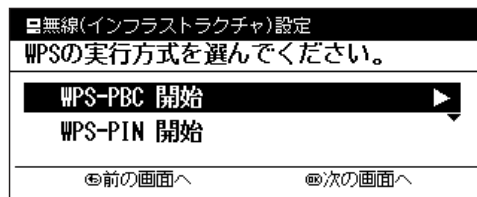
以下のメッセージが約 5 秒間表示されます。



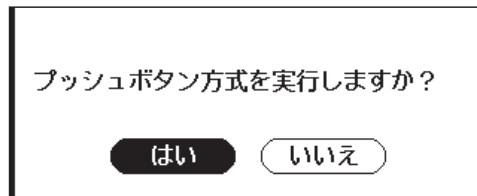
- 5 [有効] を選択し、(OK)を押します。
- 6 [自動設定 (WPS)] が選択されていることを確認し、▶を押します。



- 7 [WPS-PBC 開始] を選択し、(OK)を押します。



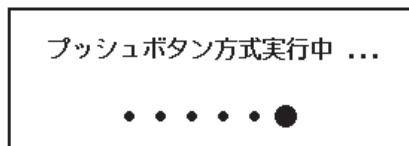
- 8 [はい] を選択し、(OK)を押します。



メモ

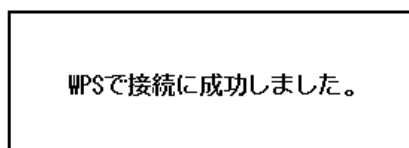
- 確認画面で [はい] をクリックしたあと、無線 LAN アクセスポイントの WPS プッシュボタンを開始します。または、無線 LAN アクセスポイントの WPS プッシュボタンが先に開始された後に、本機の WPS プッシュボタンを開始します。
- [いいえ] を選択した場合は、手順 6 の画面に戻ります。

- 9 手順 8 で [はい] が選択された場合、[プッシュボタン方式実行中 ...] が画面に表示されます。



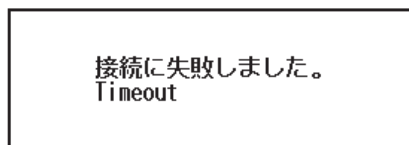
注

- WPS の実行中は、パネル操作を行うことができません。
- [WPS で接続に成功しました。] が表示されたら、無線 LAN アクセスポイントへの接続は完了です。



メモ

- [接続に失敗しました。] が表示された場合、接続先の無線 LAN アクセスポイントが制限時間内に検出できなかった可能性があります。無線 LAN アクセスポイントの WPS プッシュボタンの開始から 2 分以内に、手順 8 で [はい] を再度選択します。



- [Overlap] が表示された場合、WPS プッシュボタンが 2 つ以上の無線 LAN アクセスポイントで実行されています。しばらく待ってから、再度行ってください。

有効なデフォルトゲートウェイを選択する

セグメントを越えて通信するネットワーク接続を選択します。

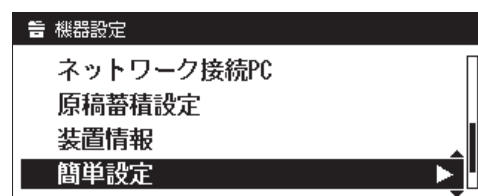
メモ

- 工場出荷時は、[有効なデフォルトゲートウェイ] は [有線] になっています。LAN ケーブルでネットワークに接続している場合は、この操作は必要ありません。

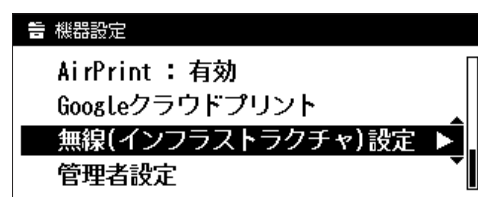
- 1 本機の電源を入れます。
- 2 操作パネルの<設定>ボタンを押します。
- 3 ▼を押して [管理者設定] を選択し、**OK**を押します。
- 4 管理者パスワードを入力し、**OK**を押します。
工場出荷時のパスワードは「999999」です。
- 5 ▼を押して、[ネットワーク管理] を選択し、**OK**を押します。
- 6 ▼を押して、[ネットワーク設定] を選択し、**OK**を押します。
- 7 ▼を押して、[ネットワーク基本設定] を選択し、**OK**を押します。
- 8 [有効なデフォルトゲートウェイ] で▼を押して [無線 (インフラストラクチャ)] を選択し、**OK**を押します。

IP アドレスを設定する

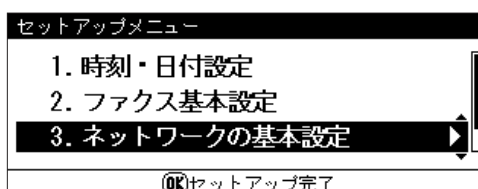
- 1 操作パネルの<設定>ボタンを押します。
- 2 有線接続の場合：▼を押して [簡単設定] を選択し、**OK**を押します。



無線接続の場合：▼を押して [無線 (インフラストラクチャ)設定] を選択し、▶を押します。

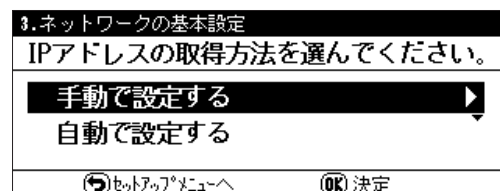


- 3 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「999999」です。
- 4 [決定] を選択し、**OK**を押します。
- 5 有線接続の場合：▼を押して [ネットワークの基本設定] を選択し、▶を押します。



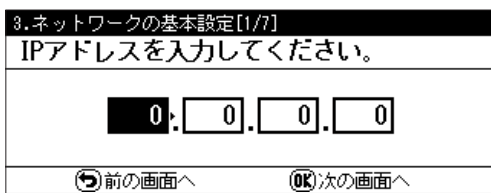
無線接続の場合：[有効] を選択し、**OK**を押します。▼を押して [ネットワークの基本設定] を選択し、**OK**を押します。

- 6 IP アドレスを手動で設定する場合は、[手動で設定する] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。



IP アドレスを自動で取得する場合は、▼を押して [自動で設定する] を選択し、**OK**を押します。手順 11 に進みます。

- 7 IPアドレスを入力し、**OK**を押します。
次のボックスに移動するには、**▶**を押します。



- 8 サブネットマスクを入力し、**OK**を押します。
次のボックスに移動するには、**▶**を押します。

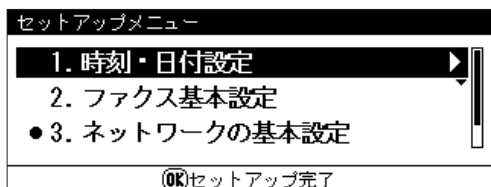
- 9 デフォルトゲートウェイアドレスを入力し、**OK**を押します。

次のボックスに移動するには、**▶**を押します。
無線接続の場合は、手順 10 に進みます。

- 10 必要に応じて、DNS サーバーおよび WINS サーバーを入力します。(スキャン To メール、インターネットファクス、スキャン To 共有フォルダーを使用する場合、必ず入力してください。)

DNS サーバーおよび WINS サーバーがネットワーク接続に必要な場合は、設定完了を示すポップアップメッセージが表示されるまで**OK**を押します。

- 11 有線接続の場合：セットアップメニュー画面が表示されたら、**OK**を押してセットアップを完了します。



無線接続の場合：「無線 (インフラストラクチャ) のネットワーク設定が完了しました」の画面が表示されたらセットアップ完了です。

手順 2 ドライバーなどをインストールする

Windows の場合

- 1 本機とパソコンが接続され、電源が入っていることを確認し、付属の「ソフトウェア DVD-ROM」をパソコンに挿入します。

- 2 [自動再生] が表示されたら、[Setup.exe の実行] をクリックします。



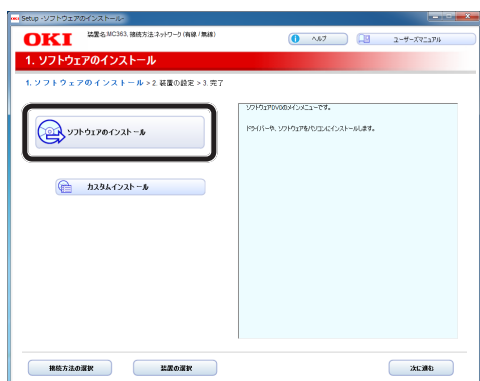
メモ

- [ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示された場合は、[はい] をクリックします。

- 3 プルダウンメニューから言語を選択します。
- 4 使用許諾契約を読み、[同意する] をクリックします。
- 5 環境についてのアドバイスを読み [次に進む] をクリックします。
- 6 パソコンと本機の接続方法に従って [ネットワーク] を選択し、[次に進む] をクリックします。
[Windows セキュリティの重要な警告] ダイアログが表示された場合は、[アクセスを許可する] をクリックします。
- 7 本機の機種名を選択し、[次に進む] をクリックします。



8 [ソフトウェアのインストール]をクリックします。



インストールが始まります。

メモ

- 次のソフトウェアがインストールされます。
 - PCL6 プリンタードライバー (NetworkExtension、色見本印刷ユーティリティ含む)
 - スキャナードライバー
 - ActKey
 - Cloud Support
 他のソフトウェアはカスタムインストールからインストールします。

9 ソフトウェアのインストールが完了したことを確認し、[印刷テスト]をクリックします。

10 テスト印刷を行うプリンターを選択して、[印刷テスト]をクリックします。

11 テスト印刷されたことを確認して [OK] をクリックします。

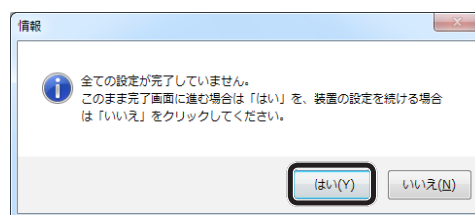
12 [完了]をクリックします。



13 [次に進む]をクリックします。



以下のダイアログが表示された場合は [はい] をクリックします。



14 [終了]をクリックします。

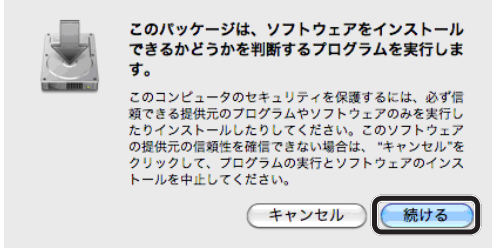


Mac OS X の場合

■ スキャナードライバーをインストールする

- 1 本機とパソコンが接続され、電源が入っていることを確認し、「ソフトウェア DVD-ROM」をパソコンに挿入します。
- 2 デスクトップの [OKI] アイコンをダブルクリックします。
- 3 [Drivers] > [Scanner] > [Installer for OSX] をダブルクリックします。

4 [続ける] をクリックします。



5 [続ける] をクリックします。



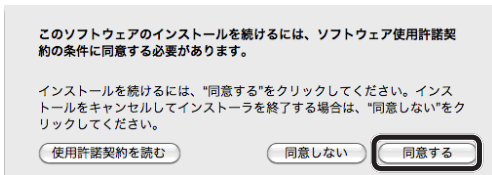
6 表示された内容を確認し、[続ける] をクリックします。



7 使用許諾契約を読み、[続ける] をクリックします。



8 [同意する] をクリックします。



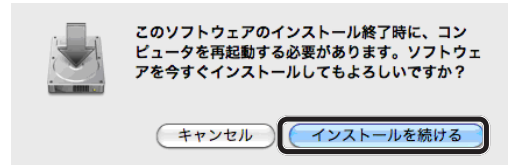
9 [インストール] をクリックします。

ドライバのインストール先を変更する場合は、[インストール先を変更] をクリックします。



10 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

11 [インストールを続ける] をクリックします。



12 [再起動] をクリックします。



■ プリンタードライバーをインストールする (Bonjour 接続)

- 1 本機とパソコンが接続され、電源が入っていることを確認します。
- 2 「ソフトウェア DVD-ROM」をパソコンに挿入します。
- 3 デスクトップの [OKI] アイコンをダブルクリックします。
- 4 [Drivers] > [PS] > [Installer for OSX] をダブルクリックします。

3 パソコンに接続してドライバーなどをインストールする

- 5 管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックします。
画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。

- 6 アップルメニューから [システム環境設定] を選択します。

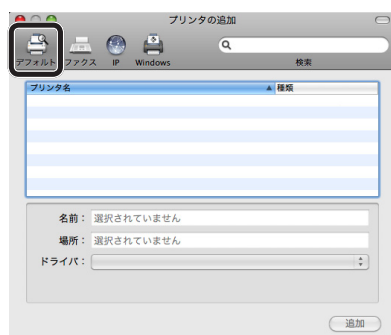
- 7 [プリンタとスキャナ] をクリックします。

- 8 [+] をクリックします。

メニューが表示されたら [プリンタまたはスキャナを追加] を選択します。

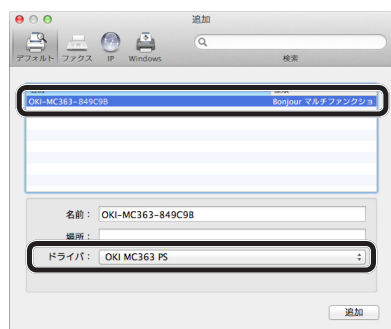


- 9 [デフォルト] をクリックします。



- 10 [種類] が [Bonjour] である本機を選択し、[OKI MC363 PS] が [ドライバ] に表示されていることを確認します。

本機の名前は、「OKI-MC363- (MAC アドレスの下6桁)」の形で表示されます。



- 11 [追加] をクリックします。

- 12 [インストール可能なオプション] ウィンドウが表示されたら、[続ける] をクリックします。

- 13 本機が [プリンタ] に追加され、[種類] に [OKI MC363 PS] が表示されていることを確認します。



! 注

- [種類] に [OKI MC363 PS] と正しく表示されない場合は、[-] をクリックして [プリンタ] から本機を削除し、手順 8 ~ 12 を再度行ってください。

- 14 [プリントキューを開く] をクリックします。

- 15 [プリンタ] メニューから [テストページをプリント] を選択します。

- 16 [プリンタとスキャナ] を閉じます。

- 17 「ソフトウェア DVD-ROM」をパソコンから取り出します。
これで、インストールは完了です。

■ プリンタードライバーをインストールする (TCP/IP 接続)

- 1 本機とパソコンが接続され、電源が入っていることを確認します。

- 2 「ソフトウェア DVD-ROM」をパソコンに挿入します。

- 3 デスクトップの [OKI] アイコンをダブルクリックします。

- 4 [Drivers] > [PS] > [Installer for OSX] をダブルクリックします。

- 5 管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。

- 6 アップルメニューから [システム環境設定] を選択します。

7 [プリンタとスキャナ] をクリックします。

8 [+] をクリックします。

メニューが表示されたら [プリンタまたはスキャナを追加] を選択します。



9 [IP] をクリックします。

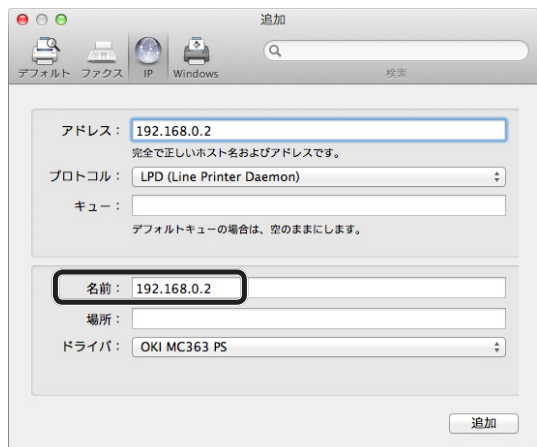
10 アドレスに本機に付与された IP アドレスを入力し、[ドライバ] に [OKI MC363 PS] が表示されることを確認します。

注

- [ドライバ] に [OKI MC363 PS] が表示されない場合は、本機と正しく通信できていません。本機に設定された IP アドレスが間違っていないか確認してください。

メモ

- 名前欄には IP アドレスが表示されますが、任意の名前を設定可能です。



11 [追加] をクリックします。

12 [インストール可能なオプション] が表示されたら、[続ける] をクリックします。

13 [プリンタ] のリストに本機が追加され、[種類] に [OKI MC363 PS] が表示されたことを確認します。



メモ

- [種類] に [OKI MC363 PS] と正しく表示されない場合は、[-] をクリックして [プリンタ] から本機を削除し、手順 8 ~ 12 を再度行ってください。

14 [プリントキューを開く] をクリックします。

15 [プリンタ] メニューから [テストページをプリント] を選択します。

16 [プリンタとスキャナ] を閉じます。

17 [ソフトウェア DVD-ROM] をパソコンから取り出します。

これで、インストールは完了です。

● 無線 LAN(AP モード) で接続する

無線 LAN(AP モード) は無線 LAN アクセスポイントを使用しないで無線端末 (パソコン、タブレット、スマートフォンなど) を本機に直接接続します。

! 注

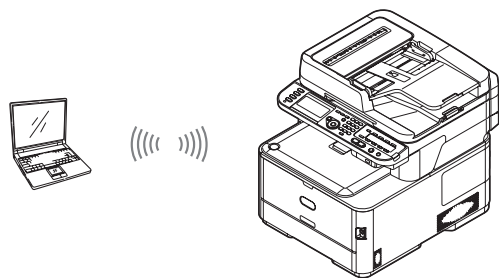
- 無線 LAN(インフラストラクチャ) と無線 LAN(AP モード) を同時に有効にすることはできません。
- 無線 LAN(AP モード) を有効にしている場合、本機はスリープモードに入りますがディープスリープモードに移行しません。
- 本機の近くに、微弱な電波を発する電気製品 (特に電子レンジやデジタルコードレス電話) を置かないでください。
- 本機と無線端末の間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。
- 無線 LAN 接続は、環境によって有線 LAN 接続や USB 接続と比べて、通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、有線 LAN または USB 接続で印刷することをおすすめします。

無線 LAN(AP モード) を利用するための準備

本機が簡易無線アクセスポイントとなり、無線端末を直接接続できます。

お使いの無線機器が以下の環境に対応しているか確認してお使いください。

項目	値
標準規格	IEEE 802.11 b/g/n
セキュリティ	WPA2-PSK(AES)



無線 LAN を有効にする

無線 LAN の機能は、工場出荷時は [無効] に設定されています。無線 LAN (AP モード) を使用するには、次の手順に従って無線 LAN の機能を [有効] に設定してください。

- 1 操作パネルの < 設定 > ボタンを押します。
- 2 ▼を押して [管理者設定] を選択し、Ⓚを押します。
- 3 管理者パスワードを入力し、Ⓚを押します。
工場出荷時のパスワードは「999999」です。

- 4 ▼を押して、[運用初期設定] を選択し、Ⓚを押します。
- 5 ▼を押して、[無線モジュール] を選択し、Ⓚを押します。
- 6 ▲を押して [有効] を選択し、Ⓚを押します。
- 7 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。
- 8 本機の電源を切ります。

無線 LAN(AP モード) の設定方法を確認する

お使いの無線端末が、WPS-PBC (プッシュボタン) に対応しているか確認し、設定方法を選択してください。

WPS-PBC に対応している場合は「自動接続 (プッシュボタン)」、WPS に対応しているか分からない場合は「手動接続」を参照してください。

- 自動接続 (プッシュボタン)
無線端末が WPS-PBC (プッシュボタン) をサポートしている場合、WPS ボタンを使って無線 LAN(AP モード) に接続できます。
- 手動接続
無線端末が WPS-PBC (プッシュボタン) をサポートしていない場合、本機の SSID とパスワードを無線端末に入力して接続できます。

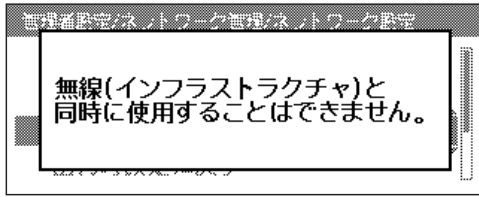
自動接続 (プッシュボタン)

無線端末が WPS-PBC (プッシュボタン) をサポートしている場合、WPS ボタンを使って無線 (AP モード) に接続できます。

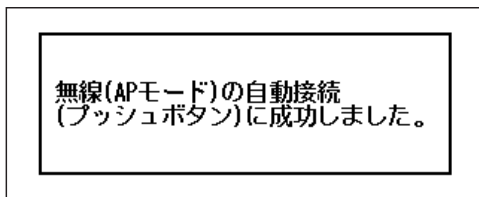
次の手順に従って接続してください。

- 1 無線端末付属の取扱説明書などで、WPS ボタンの位置を確認します。
- 2 本機の電源を入れます。
[無線に設定しますか?] が表示されたら、[いいえ (次からは表示しない)] を選択します。
- 3 操作パネルの < 設定 > ボタンを押します。
- 4 [管理者設定] を押します。
- 5 管理者パスワードを入力し、Ⓚを押します。
工場出荷時のパスワードは「999999」です。
- 6 ▼を押して [ネットワーク管理] を選択し、Ⓚを押します。

- 7 [ネットワーク設定] を選択し、**OK**を押します。
- 8 [無線 (AP モード) 設定] を選択し、**OK**を押します。
下のメッセージが、約 5 秒、表示されます。



- 9 [有効] を選択し、**OK**を押します。
- 10 [自動接続 (プッシュボタン)] を選択し、**OK**を押します。
- 11 [はい] を選択し、**OK**を押します。
- 12 無線端末で WPS-PBC (プッシュボタン) を開始します。
下の画面が表示されたら、無線 LAN のセットアップは終了です。



[接続に失敗しました。] が表示された場合、制限時間内に無線端末に接続できなかった可能性があります。その場合は手動接続をお試しください。

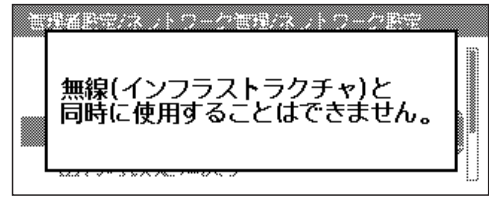
手動接続

無線端末が WPS-PBC (プッシュボタン) をサポートしていない場合、本機の SSID とパスワードを無線端末に入力して接続できます。

次の手順に従って接続してください。

- 1 本機の電源を入れます。
[無線に設定しますか?] が表示されたら、[いいえ (次からは表示しない)] を選択します。
- 2 操作パネルの < 設定 > を押します。
- 3 [管理者設定] を選択し、**OK**を押します。
- 4 管理者パスワードを入力し、**OK**を押します。
工場出荷時のパスワードは「999999」です。
- 5 [ネットワーク管理] を選択し、**OK**を押します。
- 6 [ネットワーク設定] を選択し、**OK**を押します。

- 7 [無線 (AP モード) 設定] を選択し、**OK**を押します。
下のメッセージが、約 5 秒、表示されます。



- 8 [有効] を選択し、**OK**を押します。
- 9 [手動接続設定表示] を選択し、**OK**を押します。
- 10 表示された本機の [SSID] と [パスワード] を確認します。
- 11 無線端末に手順 10 で確認した本機の [SSID] と [パスワード] を入力し接続を行います。

● USB 接続

次の手順に従って、USB ケーブルを接続し、パソコンにドライバーなどをインストールします。

メモ

- プリンタードライバーがお使いのパソコンにすでにインストールされている場合は、この手順をスキップしてください。

USB ケーブルを接続する

1 USB ケーブルを用意します。

USB ケーブルは本機に付属していません。USB 2.0 ケーブルを別途用意してください。



メモ

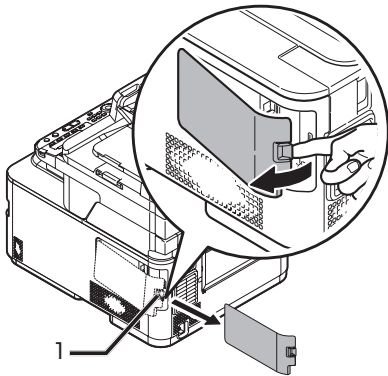
- USB 2.0 の Hi-Speed モードで接続を行う場合は、Hi-Speed USB 2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。

2 本機とパソコンの電源を切ります。

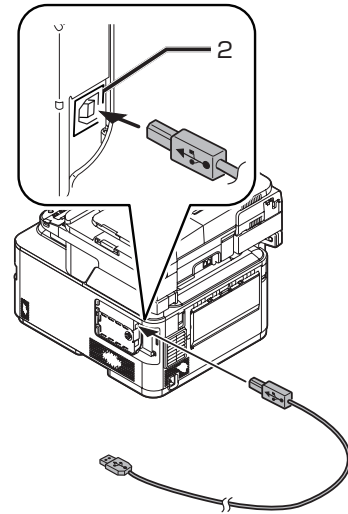
参照

- 「電源を切る」 P.33

3 ロックボタン (1) を押しながら、本機の右側のコネクターカバーを取り外します。

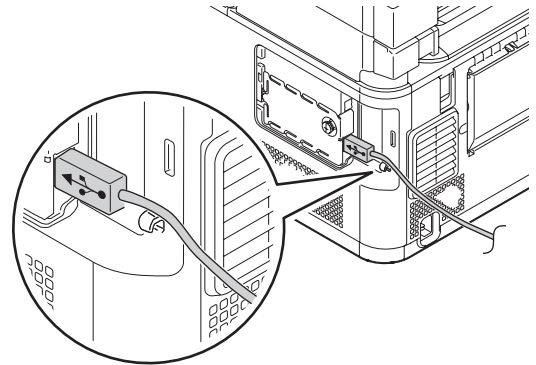


4 USB ケーブルの一端を、本機の USB インタフェースコネクター (2) に差し込みます。



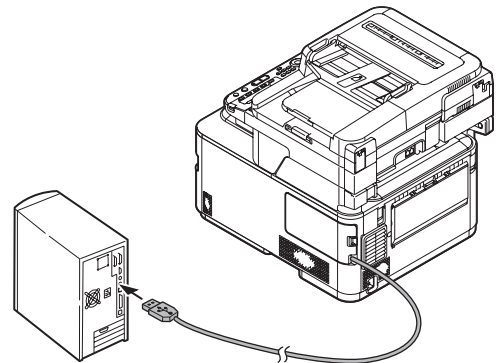
注

- USB ケーブルをネットワークインタフェースコネクターに差し込まないでください。故障の原因になります。



5 コネクターカバーを本機に取り付けます。

6 USB ケーブルの他端をパソコンの USB インタフェースコネクターに差し込みます。



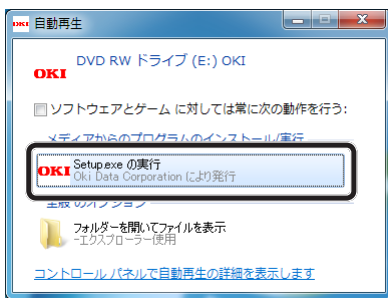
ドライバーをインストールする

Windows の場合

注

- パソコンの管理者の権限が必要です。

- 1 本機とパソコンが接続され、電源が入っていることを確認し、付属の「ソフトウェア DVD-ROM」をパソコンに挿入します。
- 2 [自動再生]が表示されたら、[Setup.exe の実行]をクリックします。

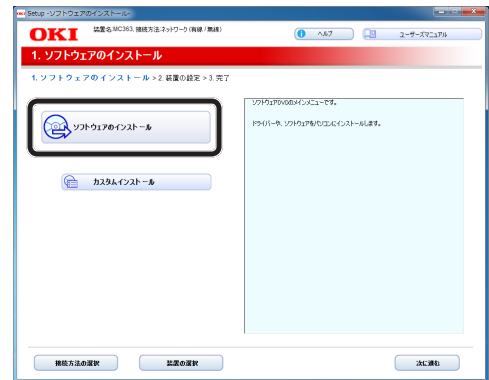


メモ

- [ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示された場合は、[はい]をクリックします。
- 3 プルダウンメニューから言語を選択します。
 - 4 使用許諾契約を読み、[同意する]をクリックします。
 - 5 環境についてのアドバイスを読み [次に進む]をクリックします。
 - 6 パソコンと本機の接続方法に従って [USB] を選択し、[次に進む]をクリックします。
[Windows セキュリティの重要な警告] ダイアログが表示された場合は、[アクセスを許可する]をクリックします。
 - 7 本機の機種名を選択し、[次に進む]をクリックします。



- 8 [ソフトウェアのインストール]をクリックします。



インストールが始まります。

メモ

- 次のソフトウェアがインストールされます。
 - PCL6 プリンタードライバー (色見本印刷ユーティリティ含む)
 - スキャナードライバー
 - ActKey
 - Cloud Support
 他のソフトウェアはカスタムインストールからインストールします。

- 9 ソフトウェアのインストールが完了したことを確認し、[印刷テスト]をクリックします。
- 10 テスト印刷を行うプリンターを選択して、[印刷テスト]をクリックします。
- 11 テスト印刷されたことを確認して [OK] をクリックします。
- 12 [完了]をクリックします。

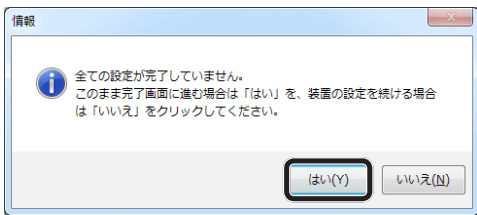


3 パソコンに接続してドライバーなどをインストールする

13 [次に進む] をクリックします。



以下のダイアログが表示された場合は [はい] をクリックします。



14 [終了] をクリックします。



Mac OS X の場合

■ スキャナードライバーをインストールする
インストール手順については、「[スキャナードライバーをインストールする](#)」P.53 を参照してください。

■ プリンタードライバーをインストールする

- 1 本機とパソコンが接続され、電源が入っていることを確認します。
- 2 「ソフトウェア DVD-ROM」をパソコンに挿入します。
- 3 デSKTOPの [OKI] アイコンをダブルクリックします。
- 4 [Drivers] > [PS] > [Installer for OSX] をダブルクリックします。

- 5 管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックします。
画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。

- 6 アップルメニューから [システム環境設定] を選択します。

- 7 [プリンタとスキャナ] をクリックします。

- 8 [+] をクリックします。

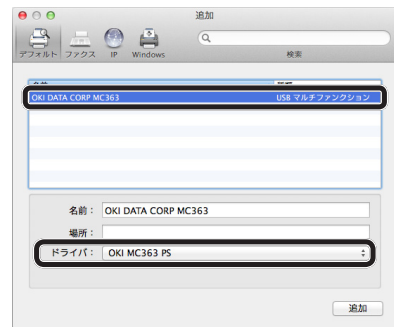


！注

- [プリンタ] に本機がすでに表示されている場合は、本機を選択し、[-] をクリックして削除します。その後、[+] をクリックします。

- 9 [デフォルト] をクリックします。

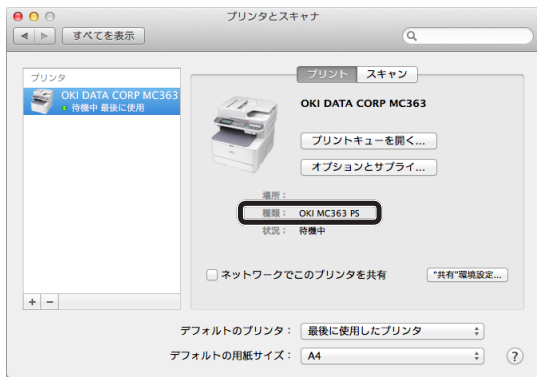
- 10 [種類] が [USB] である本機を選択し、[OKI MC363 PS] が [ドライバ] に表示されていることを確認します。



- 11 [追加] をクリックします。

- 12 [インストール可能なオプション] ウィンドウが表示されたら、[続ける] をクリックします。

- 13 本機が [プリンタ] に追加され、[種類] に [OKI MC363 PS] が表示されていることを確認します。



注

- [種類] に [OKI MC363 PS] と正しく表示されない場合は、[-] をクリックして [プリンタ] から本機を削除し、手順 8 ~ 12 を再度行ってください。

- 14 [プリントキューを開く] をクリックします。
- 15 [プリンタ] メニューから [テストページをプリント] を選択します。
- 16 [プリンタとスキャナ] を閉じます。
- 17 「ソフトウェア DVD-ROM」をパソコンから取り出します。
これで、インストールは完了です。

4 ファクスを設定する

この章では、ファクス送信およびパソコンからファクスを送信するための初期設定と送受信確認について説明します。本機は、次のファクスに関連する機能に対応しています。

機能	概要
「 ファクス送信を確認する 」	原稿をスキャンし、電話線を介して、ファクスとして送信したり、ファクスを受信したりします。この機能を使用する前に、ファクス送信の初期設定を完了させてください。
「 パソコンからファクスを送信する (Windows の場合) 」	USB またはネットワークを経由して接続されたパソコンからファクスを送信します。電話線を使用すると、本機を介してパソコンから宛先にファクスを直接送信できます。本機能を使用するには、ファクスドライバーをパソコンにインストールする必要があります。この機能を使用する前に、ファクス送信の初期設定も完了させてください。
インターネットファクスを送信する	原稿をスキャンし、ネットワークを介して、ファクスとして送信したり、Eメールでファクスを受信したりします。 機能の初期設定については、「 スキャン To メール の初期設定」の「 手順 2 本機の E メール設定を行う 」P.78 を参照してください。 機能の手順については、「 インターネットファクス機能の基本操作 」P.118 を参照してください。

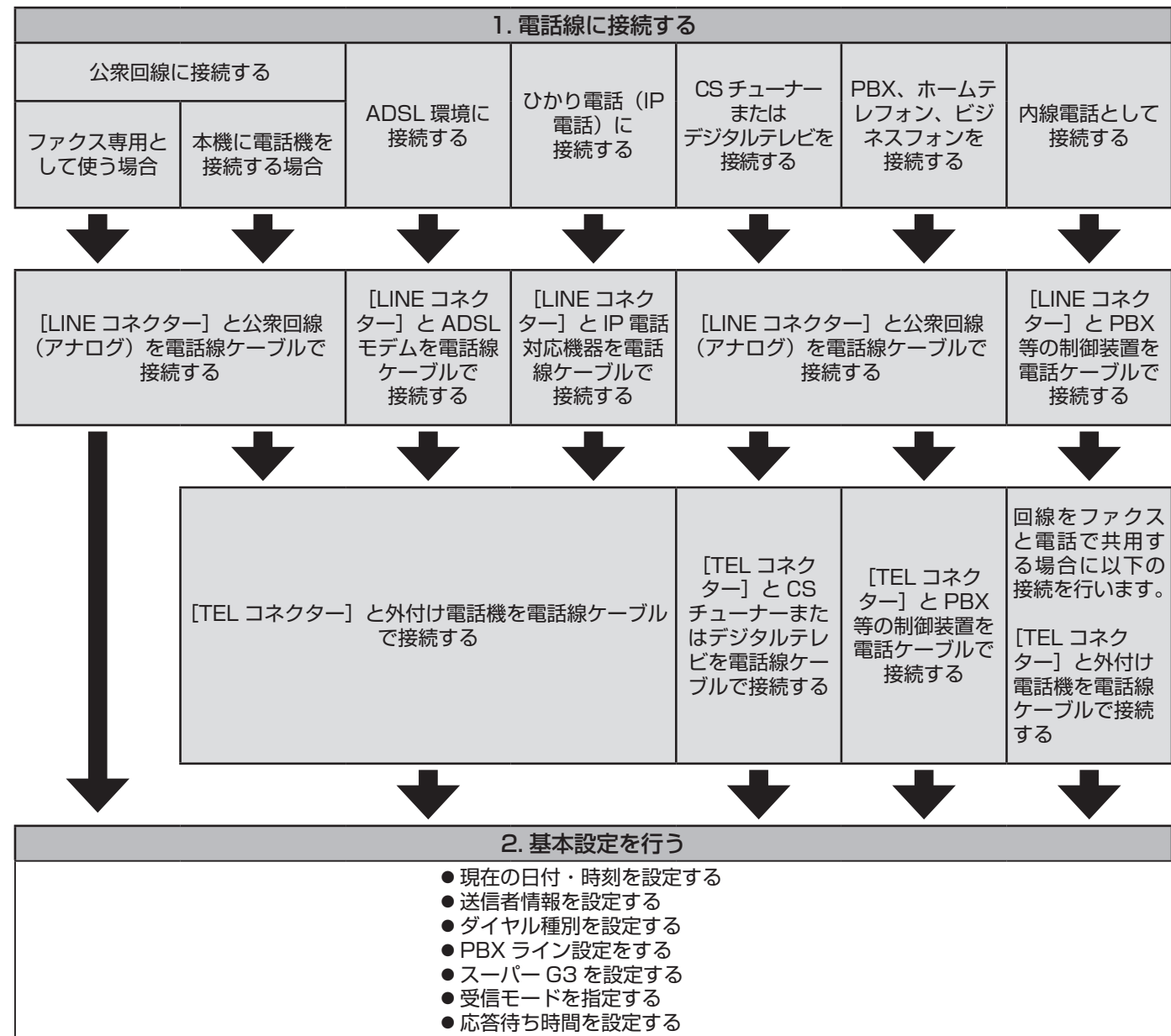
● ファクスの初期設定

この節では、ファクス送信とパソコンからファクスを送信する機能に必要な初期設定について説明します。

ファクス送信とパソコンからファクスを送信する機能のために本機を設定するには、下の2つの手順を行ってください。

- 「手順 1 電話線に接続する」 P.65
- 「手順 2 基本設定を行う」 P.68

■ ファクスの初期設定の流れ



4 ファクスを設定する

手順 1 電話線に接続する

この節では、ファクス送信用に電話線を接続する方法について説明します。

！注

- 必ず、本機に付属の電話線ケーブルを使用してください。付属品以外の電話線ケーブルを使用すると誤動作することがあります。
- ファクスの送受信ができない場合は、本機の「スーパー G3」の設定を [オフ] にしてください。
- ナンバーディスプレイ契約回線に接続する場合は、応答待ち時間を [10 秒] に設定してください。
- ISDN 回線には直接接続できません。接続するためには、ターミナルアダプター (TA) を使用し、本機の LINE コネクターに接続してください。

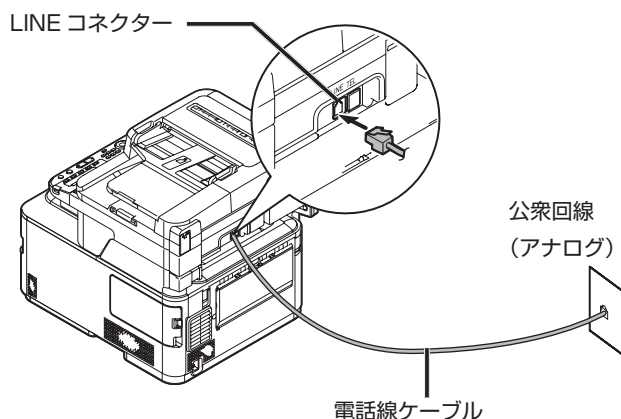
お使いの環境によって、電話ケーブルを接続する方法が異なります。次の図を参考に、お使いの環境に合わせて接続してください。

公衆回線に接続する (ファクス専用として使う場合)

- 1 付属の [電話線ケーブル] の一端を本機の [LINE コネクター] に差し込み、他端を [公衆回線 (アナログ)] に差し込みます。

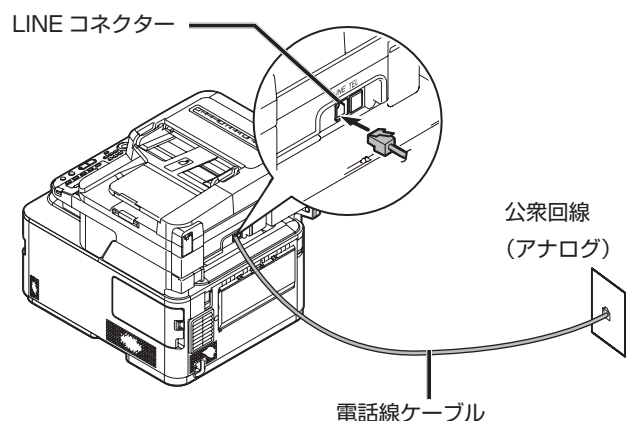
！注

- 誤って [TEL コネクター] に差し込まないようにしてください。

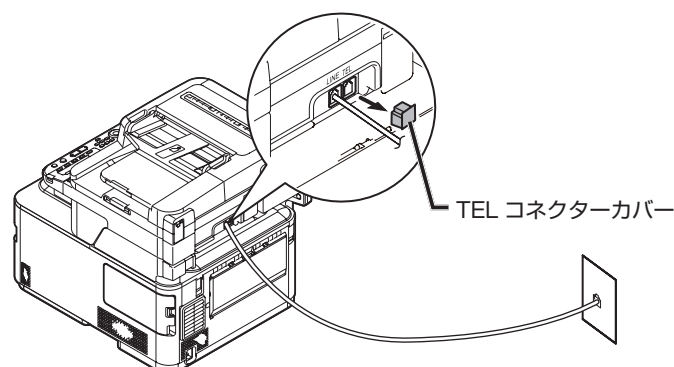


公衆回線に接続する (本機に電話機を接続する場合)

- 1 付属の [電話線ケーブル] の一端を本機の [LINE コネクター] に差し込み、他端を [公衆回線 (アナログ)] に差し込みます。

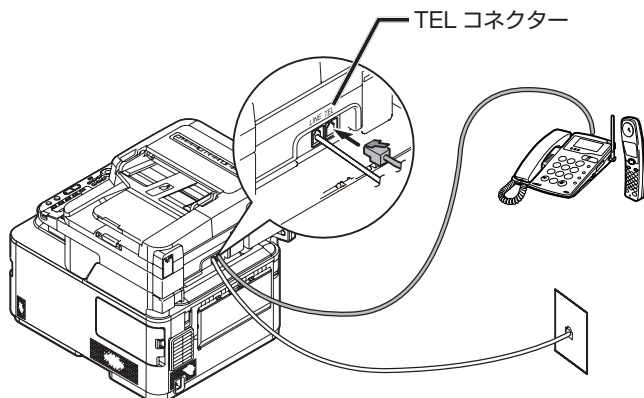


- 2 [TEL コネクターカバー] を外します。



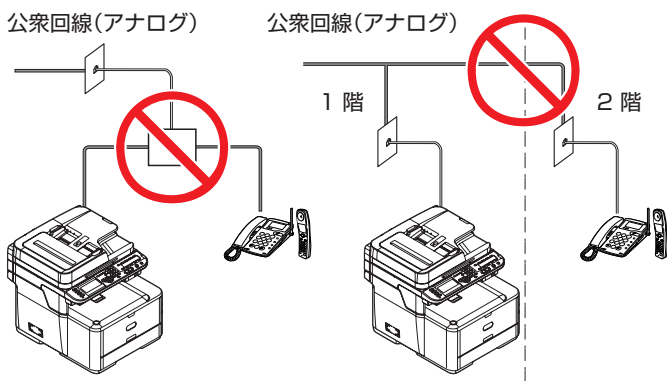
3 外付け電話機の電話線ケーブルを本機の [TEL コネクター] に差し込みます。

本機に接続した電話機を、外付け電話機と呼びます。



！注

- 本機の TEL コネクターに接続できる電話機は 1 台のみです。
- 本機と電話機は、ブランチ接続（並列接続）しないでください。ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。
 - ファクスを送ったり受けたりしているときに、ブランチ接続（並列接続）している電話機の受話器を上げると、ファクスの画像が乱れたり通信エラーが起きることがあります。
 - 電話がかかってきた場合は、ベルの鳴り遅れや途中で止まったり、ファクスが送信された場合は、ファクスを受信できないことがあります。



- ファクス機能を持つ電話機を接続する場合は、電話機のファクス機能を無効（ファクス受信を無効）に設定し、ご利用ください。

メモ

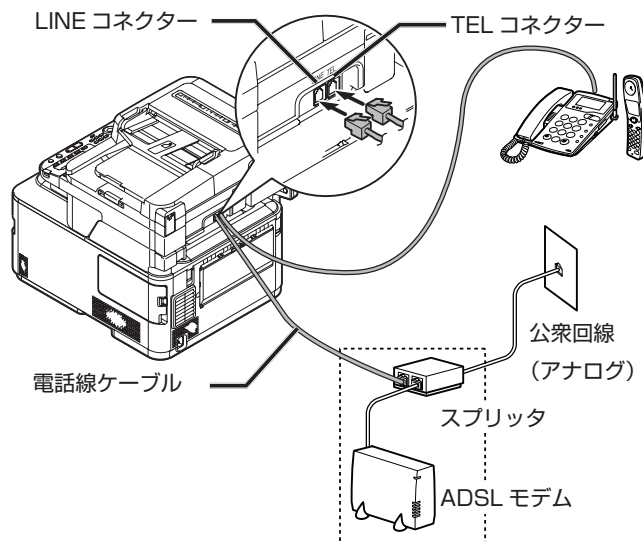
- 直接配線の場合は、別途工事が必要です。ご利用の電話会社にお問い合わせください。

ADSL 環境に接続する

ADSL モデムにつないだ付属の [電話線ケーブル] を本機の [LINE コネクター] に差し込みます。

TEL コネクターカバーを外します。

外付け電話機の電話線ケーブルを本機の [TEL コネクター] に差し込みます。



メモ

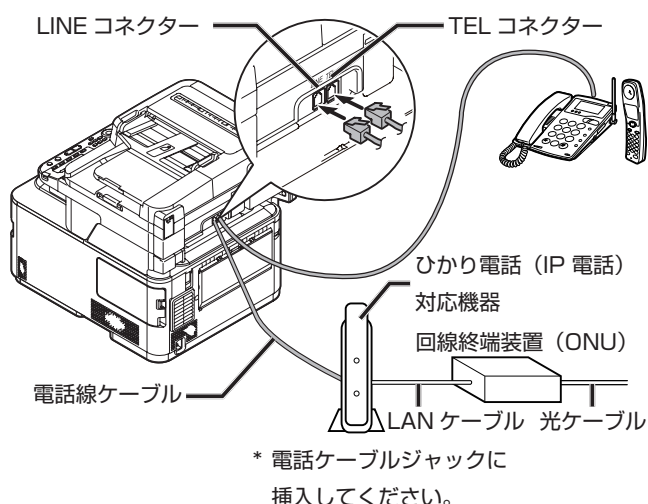
- ダイヤルしない（発信しない）場合は、[ダイヤルトーン検出] を [オフ] にしてください。詳しくは、沖データホームページの活用マニュアルをご覧ください。
- ファクシミリの送受信ができない場合は、[スーパー G3] を [オフ] にしてください。詳しくは、「手順 2-5 スーパー G3 を設定する」P.70 を参照してください。

ひかり電話（IP 電話）に接続する

ひかり電話（IP 電話）対応機器につないだ付属の [電話線ケーブル] を本機の [LINE コネクター] に差し込みます。

TEL コネクターカバーを外します。

外付け電話機の電話線ケーブルを本機の [TEL コネクター] に差し込みます。



* 電話ケーブルジャックに挿入してください。

メモ

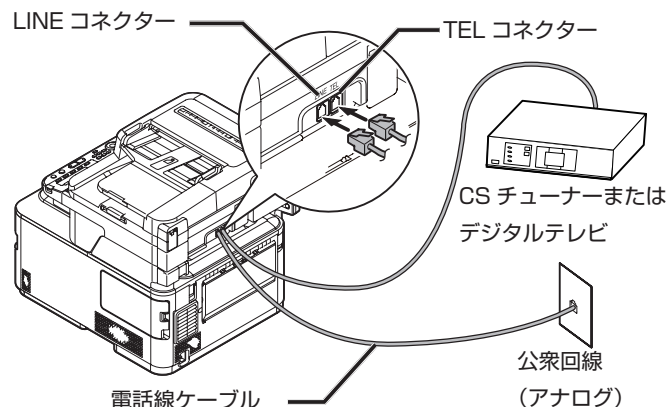
- ダイヤルしない（発信しない）場合は、[ダイヤルトーン検出] を [オフ] にしてください。詳しくは、沖データホームページの活用マニュアルをご覧ください。
- ファクシミリの送受信ができない場合は、[スーパー G3] を [オフ] にしてください。詳しくは、[手順 2-5 スーパー G3 を設定する] P.70 を参照してください。

CS チューナーやデジタルテレビを接続する

公衆回線（アナログ）につないだ付属の [電話線ケーブル] を本機の [LINE コネクター] に差し込みます。

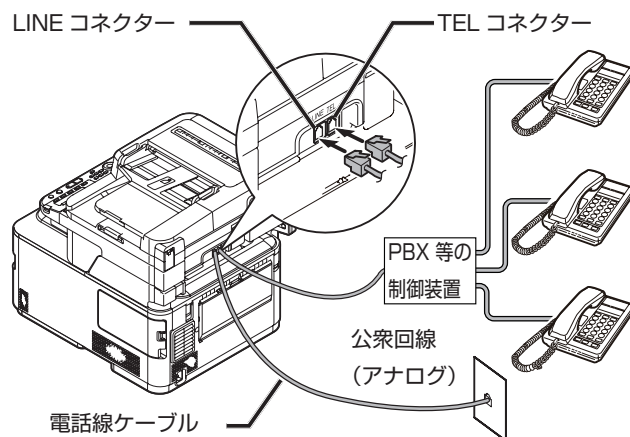
TEL コネクターカバーを外します。

CS チューナーまたはデジタルテレビにつないだ [電話線ケーブル] を本機の [TEL コネクター] に差し込みます。



構内交換機（PBX）、ホームテレフォン、ビジネスフォンを接続する

公衆回線（アナログ）につないだ付属の電話線ケーブルを本機の LINE コネクターに差し込みます。PBX 等の制御装置につないだ電話線ケーブルを本機の TEL コネクターに差し込みます。

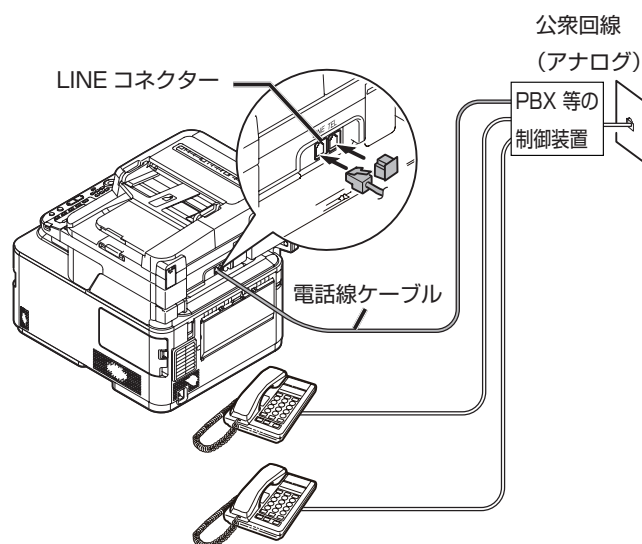


メモ

- ホームテレフォンとは、電話回線 1、2 本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアフォンも使用できる家庭用の簡易交換機です。
- ビジネスフォンとは、電話回線 3 本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有でき、内線通話などもできる簡易交換機です。

内線電話として接続する

付属の [電話線ケーブル] の一端を本機の [LINE コネクター] に差し込み、他端を PBX 等の制御装置に差し込みます。



メモ

- PBX（構内交換機）に接続する場合は、PBX ラインの設定をオンにしてください。詳しくは、[手順 2-4 PBX 接続] P.70 を参照してください。

手順 2 基本設定を行う

この節では、ファクスを送信する機能の基本設定を本機で設定する方法について説明します。下の6つの手順を行ってください。

- 「手順 2-1 現在の日付・時刻を設定する」 P.68
- 「手順 2-2 送信者情報を設定する」 P.69
- 「手順 2-3 各ダイヤル種別の設定を行う」 P.69
- 「手順 2-4 PBX 接続」 P.70
- 「手順 2-5 スーパー G3 を設定する」 P.70
- 「手順 2-6 受信モードを指定する」 P.70
- 「手順 2-7 応答待ち時間を設定する」 P.71

メモ

- お使いの環境によって、手順 3～4 および 3～5 をスキップしてください。詳しくは、各説明を参照してください。

手順 2-1 現在の日付・時刻を設定する

お住まいの地域の現在の日付・時刻を設定します。

参照

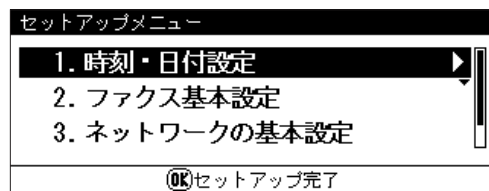
- 本機の Web ページから、日付と時刻を自動的に設定することができます。詳しくは、沖データホームページの活用マニュアルをご覧ください。

- 1 操作パネルの **< 設定 >** ボタンを押します。
- 2 ▼を押して **[簡単設定]** を選択し、**OK**を押します。



- 3 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「999999」です。

- 4 **[決定]** を選択し、**OK**を押します。
- 5 **[時刻・日付設定]** が選択されていることを確認し、▶を押します。

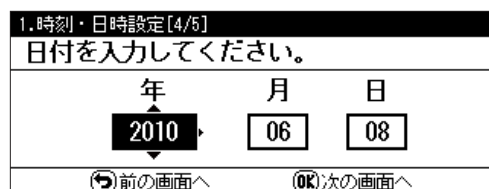


- 6 ▼を押して適切なタイムゾーンを選択し、**OK**を押します。
日本国内で使用する場合は、**[GMT+09:00 大阪、札幌、東京]** を選択します。

- 7 **[手で設定する]** が選択されていることを確認し、**OK**を押します。

- 8 ▲または▼を押して現在の日付を選択し、**OK**を押します。

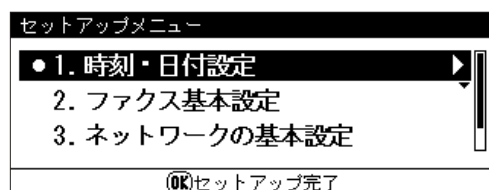
次のボックスに移動するには、▶を押します。



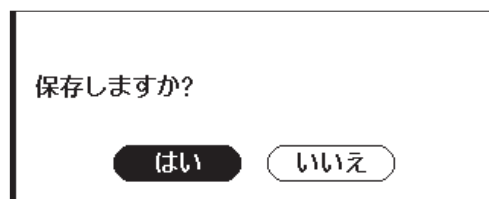
- 9 ▲または▼を押して現在時刻を選択し、**OK**を押します。

次のボックスに移動するには、▶を押します。

- 10 セットアップメニュー画面が表示されたら、◀を押します。



- 11 **[はい]** を選択し、**OK**を押します。

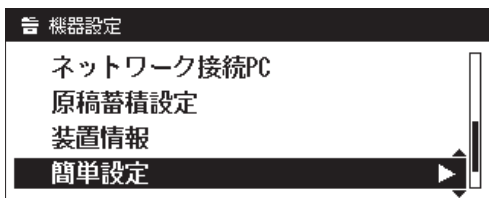


- 12 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

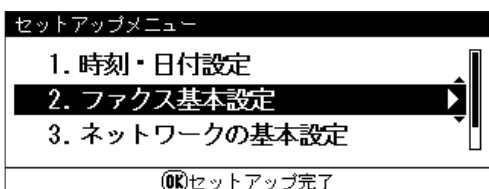
手順 2-2 送信者情報を設定する

本機のファクス番号および送信者情報を設定します。

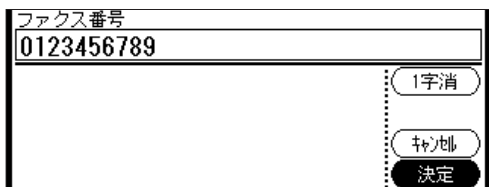
- 1 操作パネルの **< 設定 >** ボタンを押します。
- 2 ▼を押して **[簡単設定]** を選択し、**OK**を押します。



- 3 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「999999」です。
- 4 **[決定]** を選択し、**OK**を押します。
- 5 ▼を押して **[ファクス基本設定]** を選択し、▶を押します。



- 6 ▶を押して **[ファクス番号]** 入力ボックスを選択します。
- 7 テンキーで本機のファクス番号を入力します。



- 8 **[決定]** が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 9 ▶を押して **[送信者情報]** 入力画面に入ります。
- 10 任意の送信者情報を入力します。
最大半角 22 文字まで入力できます。

！注

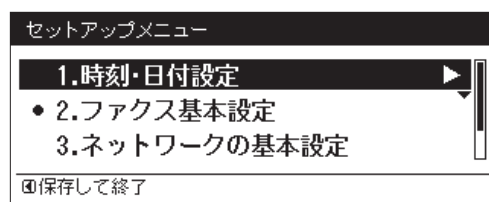
- **[送信者情報]** は、半角英数字・半角カナのみをご使用ください。Web ページや Configuration Tool を使用して入力すると全角文字(漢字・平仮名)を入力可能な場合があります。

メモ

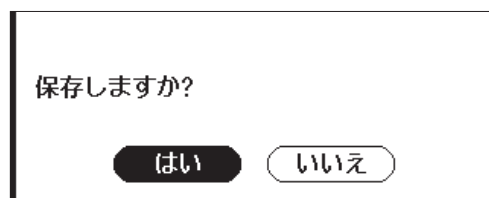
- 受信者がファクスを印刷したときに、ここで入力した送信者情報がファクスの上端に印刷されます。

- 11 **[決定]** を選択し、**OK**を押します。

- 12 セットアップメニュー画面が表示されたら、◀を押します。



- 13 **[はい]** を選択し、**OK**を押します。



- 14 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

手順 2-3 各ダイヤル種別の設定を行う

工場出荷時は、**[ダイヤル種別]** は **[プッシュ]** に設定されています。

- 押しボタン式電話で、ダイヤル時に「ピッポッパ」と音がする場合は、**[ダイヤル種別]** は **[プッシュ]** のままにしてください。
- 押しボタン式電話で、ダイヤル時に「ピッポッパ」と音がしない場合、または、回転ダイヤル式電話をお使いの場合は、**[ダイヤル種別]** を **[ダイヤル 20]** に設定してください。
「177 番」(天気予報)にダイヤルして、電話がかからない場合は、**[ダイヤル種別]** を **[ダイヤル 10]** に変更してください。

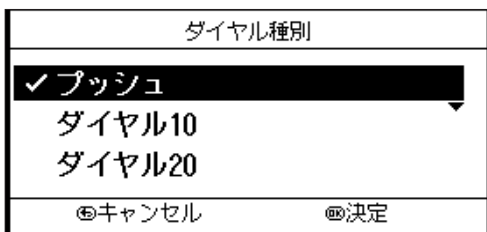
■ 設定方法

- 1 操作パネルの **< 設定 >** ボタンを押します。
- 2 ▼を押して **[管理者設定]** を選択し、**OK**を押します。
- 3 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「999999」です。
- 4 **[決定]** を選択し、**OK**を押します。
- 5 ▼を押して **[運用初期設定]** を選択し、**OK**を押します。
- 6 ▼を押して **[ダイヤル種別]** を選択し、**OK**を押します。
- 7 ▼を押して **[自動で設定する]** を選択し、**OK**を押します。

8 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

(!注)

- ダイヤル種別の自動設定を行う場合は、電話線ケーブルが正しく接続されている必要があります。
- お使いの環境によって、ダイヤル種別の自動設定ができない場合があります。ダイヤル種別の自動設定ができない場合は、ダイヤル種別画面が表示されるので、▼を押してダイヤル種別を選択し、(OK)を押して設定してください。



手順 2-4 PBX 接続

PBX（構内交換機）に接続するときは [オン] にしてください。

■ 設定方法

- 1 操作パネルの < 設定 > ボタンを押します。
- 2 ▼を押して [管理者設定] を選択し、(OK)を押します。
- 3 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「999999」です。
- 4 [決定] を選択し、(OK)を押します。
- 5 ▼を押して [ファクス機能] を選択し、(OK)を押します。
- 6 ▼を押して [ファクス基本設定] を選択し、(OK)を押します。
- 7 ▼を押して [PBX ライン] を選択し、(OK)を押します。
- 8 ▼を押して [オン] を選択し、(OK)を押します。
- 9 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

手順 2-5 スーパー G3 を設定する

ファクシミリの送受信ができない場合は、スーパー G3 の設定を [オフ] にしてください。

- 1 操作パネルの < 設定 > ボタンを押します。
- 2 ▼を押して [管理者設定] を選択し、(OK)を押します。

- 3 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「999999」です。

- 4 [決定] を選択し、(OK)を押します。

- 5 ▼を押して [運用初期設定] を選択し、(OK)を押します。

- 6 ▼を押して [スーパー G3] を選択し、(OK)を押します。

- 7 ▼を押して [オフ] を選択し、(OK)を押します。

- 8 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

手順 2-6 受信モードを指定する

本機をお使いの環境によって、最適な受信モードが異なります。以下の説明で確認してください。

工場出荷時の設定では、[ファクス待機] になっています。

- **ファクス待機**
ファクス専用で使用するときは、このモードをおすすめします。
- **電話 / ファクス待機**
電話機を接続するときは、このモードをおすすめします。
- **留守 / ファクス待機**
留守番電話を接続するときは、このモードをおすすめします。
- **電話待機**
電話機を使用することが多い場合は、このモードをおすすめします。

- 1 操作パネルの < 設定 > ボタンを押します。
- 2 ▼を押して [管理者設定] を選択し、(OK)を押します。
- 3 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「999999」です。
- 4 [決定] を選択し、(OK)を押します。
- 5 ▼を押して [運用初期設定] を選択し、(OK)を押します。
- 6 ▼を押して [ファクス受信モード] を選択し、(OK)を押します。

- 7 ▼を押して受信モードを指定し、**OK**を押します。

設定可能な受信モード：

ファクス待機 *	電話 / ファクス待機
留守 / ファクス待機	電話待機

* は工場出荷時の設定

- 8 トップ画面が表示されるまで、**◀**を押します。

手順 2-7 応答待ち時間を設定する

本機に着信があってからファクスの受信を開始するまでの待ち時間を設定します。

メモ

- 本機をナンバーディスプレイ契約をしている回線に接続し、ナンバーディスプレイ対応電話機を本機に接続する場合は、[**応答待ち時間**]を[10秒]に設定してください。
- [**応答待ち時間**]を[OFF]に設定し、[**ファクス受信モード**]を[電話 / ファクス待機]に設定した場合、電話機の呼び出し音を鳴らさずにファクスを受信します。ただし、ナンバーディスプレイ対応電話機には対応していません。

- 1 操作パネルの **< 設定 >** ボタンを押します。
- 2 ▼を押して [**管理者設定**] を選択し、**OK**を押します。
- 3 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「999999」です。
- 4 [**決定**] を選択し、**OK**を押します。
- 5 ▼を押して [**ファクス機能**] を選択し、**OK**を押します。
- 6 ▼を押して [**その他の設定**] を選択し、**OK**を押します。
- 7 ▼を押して [**応答待ち時間**] を選択し、**OK**を押します。
- 8 ▼を押して応答待ち時間を選択し、**OK**を押します。
- 9 トップ画面が表示されるまで、**◀**を押します。

● ファクス送信を確認する

この節では、ファクス送信を確認します。

この機能を使用する前に、必ず初期設定を完了させてください。

ファクス送信の手順

- 1 操作パネルの<ファクス>ボタンを押します。



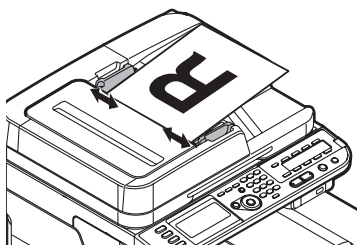
- 2 以下のように原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または原稿ガラスにセットします。

- 自動原稿送り装置 (ADF)

原稿を表にして、原稿の上端から入っていくようにセットします。

! 注

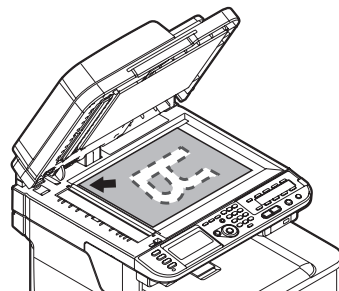
- 自動原稿送り装置 (ADF) からの原稿の給紙ミスが多発する場合は、セットする原稿の枚数を減らしてください。



原稿の幅に合わせて、原稿ガイドを調節します。

- 原稿ガラス

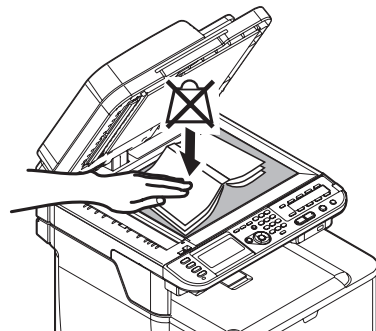
原稿を裏にして、原稿の上端とガラスの左上の角を合わせます。



原稿ガラスカバーを静かに閉じます。

! 注

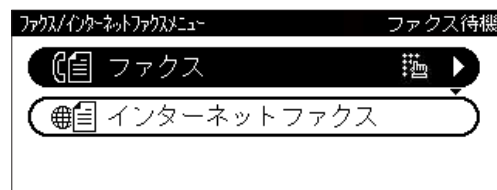
- 原稿ガラスでスキャンをするときは、原稿ガラスに必要以上の重みをかけないでください。



メモ

- 本機で原稿をスキャンするときは、自動原稿送り装置 (ADF) の原稿が優先されます。原稿ガラスを使用するときは、自動原稿送り装置 (ADF) に原稿がないことを確認してください。

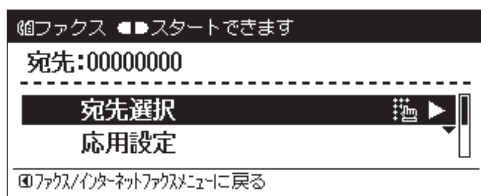
- 3 [ファクス] が選択されていることを確認し、**OK**を押してスタート画面を開きます。



- 4 宛先を指定します。

テンキー入力により、直接宛先を指定します。

5 OKを押します。



6 モノクロカラーを押して、送信を始めます。

原稿ガラスを使用した 1 回のファクス操作で、複数の原稿を読み取りたいときは、継続読取モードを有効にします。

！注

- カラーボタンは使用できません。

メモ

- 工場出荷時の設定では、以下の設定で読み取ります。

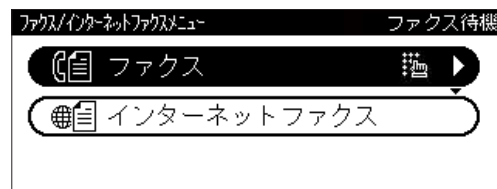
[読取サイズ] : A4 [解像度] : 標準
[濃度] : 0

参照

- 自動原稿送り装置 (ADF) または原稿ガラスに原稿をセットする方法については、「[原稿のセットのしかた](#)」 P.39 を参照してください。
- 継続読取モードについては、「[継続読取モードを有効にする \(継続読取\)](#)」 P.104 を参照してください。

送信履歴を確認する

- 1 操作パネルの<ファクス> ボタンを押します。
- 2 [ファクス] が選択されていることを確認し、OKを押してスタート画面を開きます。



- 3 ▼を押して [ファクス送受信確認] を選択し、OKを押します。
- 4 ▼を押して [送信履歴] を選択し、OKを押します。
- 5 ▼を押して確認する履歴を選択し、OKを押します。
- 6 履歴内容を確認し、OKを押します。

！注

- ファクシミリの送受信ができない場合は、[スーパー G3] を [オフ] にしてください。詳しくは「[手順 2-5 スーパー G3 を設定する](#)」 P.70 を参照してください。

● ファクス受信を確認する

この節では、ファクス受信を確認します。

ファクスを受信する

- 1 他のファクシミリ・複合機などから本機にファクス送信を行います。
- 2 受信したファクスは自動的に印刷されます。

! 注

- ファクシミリの送受信ができない場合は、[スーパー G3] を [オフ] にしてください。詳しくは「[手順 2-5 スーパー G3 を設定する](#)」P.70 を参照してください。

● パソコンからファクスを送信する (Windows の場合)

この節では、ファクスドライバーをインストールする方法とパソコンからファクスを送信する基本操作について説明します。ファクスドライバーを使用すると、原稿を印刷せずに、本機を介してパソコンから宛先にファクスを直接送信できます。

パソコンからファクスを送信する前に、必ず MC363dnw 用のファクスドライバーをインストールしてください。

! 注

- この機能を使用する前に、初期設定を完了させてください。

ファクスドライバーをインストールする

- 1 本機とパソコンが接続され、電源が入っていることを確認し、付属の「ソフトウェア DVD-ROM」をパソコンに挿入します。
- 2 [自動再生]が表示されたら、[Setup.exe の実行]をクリックします。



メモ

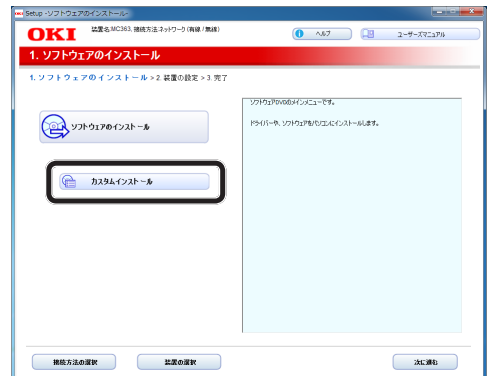
- [ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示された場合は、[はい]をクリックします。
- 3 プルダウンメニューから言語を選択します。
 - 4 使用許諾契約を読み、[同意する]をクリックします。
 - 5 環境についてのアドバイスを読み [次に進む]をクリックします。
 - 6 パソコンと本機の接続方法に従って [ネットワーク] または [USB] を選択し、[次に進む]をクリックします。

[Windows セキュリティの重要な警告] ダイアログが表示された場合は、[アクセスを許可する]をクリックします。

- 7 本機の機種名を選択し、[次に進む]をクリックします。

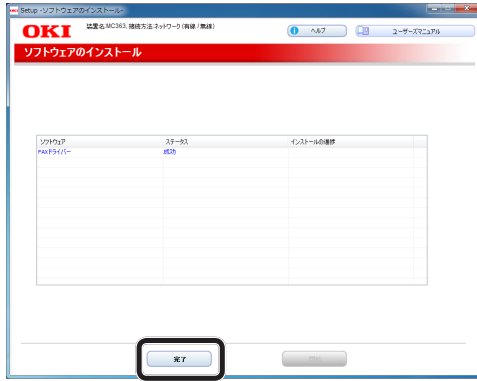


- 8 [カスタムインストール]をクリックします。



- 9 [FAX ドライバー] にチェックします。インストールが不要なソフトウェアのチェックをはずします。[インストール]をクリックします。
- 10 [開始]をクリックします。インストールが始まります。

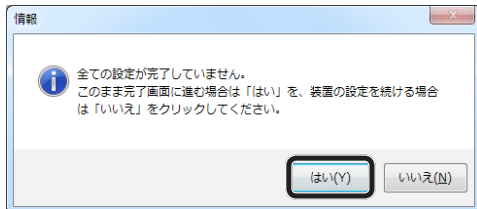
11 [完了] をクリックします。



12 [次に進む] をクリックします。



以下のダイアログが表示された場合は [はい] をクリックします。



13 [終了] をクリックします。



パソコンからファクス送信を確認する

メモ

● 次の手順では、メモ帳を例にしています。お使いのアプリケーションによって、記載と異なることがあります。

- 1 ファクス送信するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [プリンターの選択] から [OKI MC363 FAX] を選択し、[印刷] をクリックします。
- 4 [送信先選択] の [番号指定] タブで、[名前] に宛先名を入力します。
- 5 [FAX 番号] に宛先ファクス番号を入力します。
- 6 [追加 <-] をクリックします。
- 7 必要に応じて、電話帳から宛先を追加します。
 - a [電話帳] タブを選択します。
 - b 宛先を選択し、[追加 <-] をクリックします。
- 8 手順 4 ~ 7 を繰り返して、すべての宛先を指定します。
- 9 [OK] をクリックして、送信を始めます。

注

● パソコンからファクスを本機へ送信しているときは、本機の電源を切らないでください。

5 スキャン機能を設定する

この章では、スキャン To メール、スキャン To 共有フォルダー、およびスキャン To パソコン機能の初期設定について説明します。

本機は、次のスキャン機能に対応しています。

機能	概要
「スキャン To メール」	原稿をスキャンし、Eメールの添付ファイルとしてネットワーク上の指定されたEメールアドレスに送付します。
「スキャン To 共有フォルダー」	原稿をスキャンし、ネットワーク上のパソコンの共有フォルダに保存します。
スキャン To USB メモリー	原稿をスキャンし、USBメモリーに直接保存します。 機能の手順については、「スキャン To USB メモリー」P.130を参照してください。
「スキャン To パソコン」	ネットワークまたはUSBを介して、パソコンに原稿をスキャンし、必要に応じて操作パネル上で操作してスキャンした画像を処理します。
リモートスキャン	ネットワークまたはUSBを介して、パソコンに原稿をスキャンし、必要に応じてパソコンで操作してスキャンした画像を処理します。 機能の初期設定については、「スキャナードライバー (TWAIN/WIA/ICA ドライバー) をインストールする」P.122を参照してください。 機能の手順については、「リモートスキャン」P.133を参照してください。

● スキャン To メール

この節では、スキャン To メール機能の初期設定と基本操作について説明します。

本機能によって、原稿をスキャンし、Eメールの添付ファイルとしてネットワーク上の指定されたEメールアドレスに送付できるようになります。

この機能を使用する前に、必ず初期設定を完了させてください。

スキャン Toメールの初期設定

この節では、スキャン To メール機能の初期設定の方法について説明します。下の2つの手順を行ってください。

- 「手順1 本機のネットワーク設定を行う」P.77
- 「手順2 本機のEメール設定を行う」P.78

手順1 本機のネットワーク設定を行う

手順については、「手順1 本機のネットワーク設定を行う」P.48を参照してください。

！注

- 無線LANで接続している場合は、「有効なデフォルトゲートウェイ」を「無線 (インフラストラクチャ)」に変更してください。
P.51を参照してください。

メモ

- IPアドレスが本機にすでに設定されている場合は、手順1をスキップしてください。

手順 2 本機の E メール設定を行う

本機の E メール設定を行うには、下の 3 つの手順を行ってください。

！注

- この手順を行う前に、ネットワーク設定を完了させてください。
- 「手順 2-1 パソコンの E メール設定を確認する」 P.78
- 「手順 2-2 本機の E メールアドレスを設定する」 P.79
- 「手順 2-3 本機の E メール設定を行う」 P.80

上記の手順について、設定情報シートの各項目の値を確認してください。

■ 設定情報シート

番号	項目	概要説明	例	お客様記入欄
B-1	送信者	本機から E メールを送るときに使用する E メールアドレス	mc363@test.co.jp	(半角 80 文字以内) * 次ページ以降をご覧になり、確認したり設定したりした内容をここにメモしてください。
B-2	SMTP サーバ	E メールを送信するときに使用するサーバーのアドレス	smtp.test.co.jp	
B-3	POP3 サーバ	E メールを受信するときに使用するサーバーのアドレス	pop3.test.co.jp	
B-4	認証方法	送信メールサーバーの認証	SMTP	
B-5	SMTP ユーザ ID	送信メールサーバーのアカウント名	OKIMC363	
B-6	SMTP パスワード	送信メールサーバーのパスワード	okimc363	
B-7	POP ユーザ ID	受信メールサーバーのアカウント名	user	
B-8	POP パスワード	受信メールサーバーのパスワード	okimc363	
B-9	E メール送信先の名称	本機からスキャン To メール / インターネットファクスで送りたい相手の名前	User	
B-10	E メールアドレス	本機からスキャン To メール / インターネットファクスで送りたい相手の E メールアドレス	user@test.co.jp	

■ 手順 2-1 パソコンの E メール設定を確認する

！注

- ネットワーク管理者が本機のメールサーバーアカウント、パスワード、E メールアドレスなどの値を指定する場合は、それらを設定情報シートに記入してください。

メモ

- 次の手順では、本機で使用予定のメールサーバーを使用し、Windows 7 上の Windows Live メールを使用して本機からのメールを受信する場合を例にしています。異なる E メールソフトウェアを使用している場合は、E メールソフトウェアのマニュアルを参照してください。

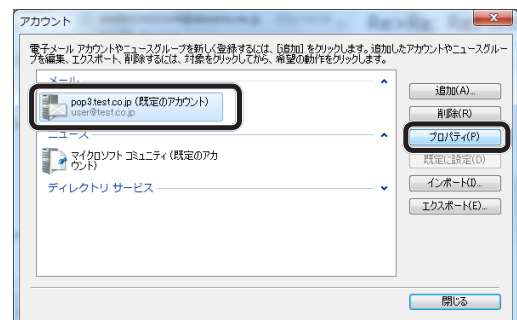
1 「スタート」をクリックし、「Windows Live メール」を選択します。

2 「ツール」メニューから「アカウント」を選択します。

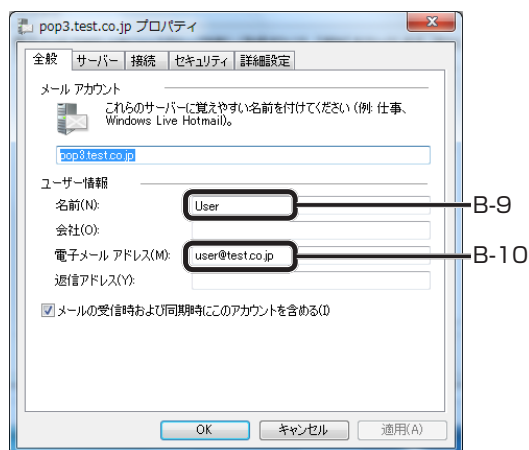
メニューバーが表示されていない場合は、「メニュー」アイコンをクリックし、「メニューバーの表示」を選択します。



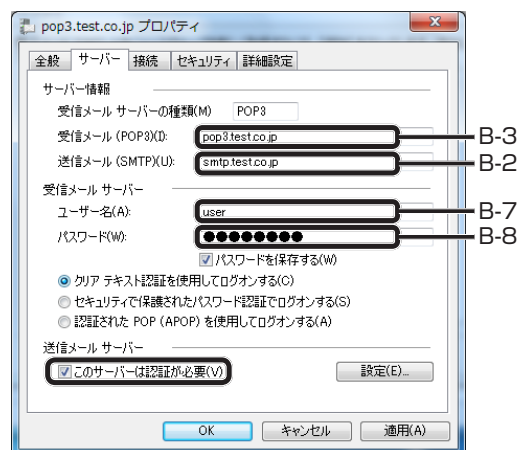
3 メールアカウントを選択し、「プロパティ」をクリックします。



- 4 [全般] タブの [名前] と [電子メール アドレス] の内容を、設定情報シートの B-9 と B-10 に記入します。



- 5 [サーバー] タブを選択し、各設定値を設定情報シートの該当する欄に記入します。



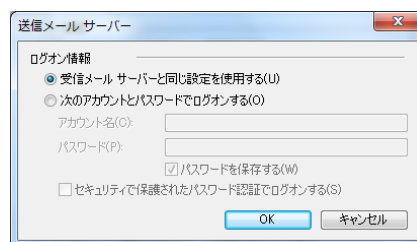
- [このサーバーは認証が必要] にチェックがついている場合は、B-4 に「SMTP」と記入し手順 6 に進みます。
- [このサーバーは認証が必要] にチェックがついていない場合は、B-4 に「POP、または認証しない」と記入します。ここで E メール設定の確認は完了です。

! 注

- インターネットサービスプロバイダを利用している場合は、「POP」と記入してください。

- 6 [設定] をクリックします。

- 7 [送信メール サーバー] ダイアログでログイン情報を確認します。



- [受信メールサーバーと同じ設定を使用する] が選択されている場合は、B-7 の値を B-5 に、B-8 の値を B-6 に記入します。
- [次のアカウントとパスワードでログインする] が選択されている場合は、[アカウント名] の値を B-5 に、[パスワード] の値を B-6 に記入します。

■ 手順 2-2 本機の E メールアドレスを設定する

本機からスキャンしたデータを E メールで送信するとき、本機用の E メールアドレスが必要になります。以下に従って本機の E メールアドレスを決定し、設定情報シートの B-1 に記入します。

- 本機の E メールアドレスがネットワーク管理者によって指定されている場合は、その E メールアドレスを B-1 に記入します。
- インターネットサービスプロバイダを利用している場合は、本機の E メールアドレスをプロバイダから取得し、その E メールアドレスを B-1 に記入します。
- 本機の E メールアドレスの指定がなく、取得されてもいない場合には、B-4 に「認証しない」と記入されている場合のみ、任意で E メールアドレスを決め、それを B-1 に記入します。

! 注

- 本機で E メールを受信したい場合は、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダから本機の E メールアドレスを取得する必要があります。

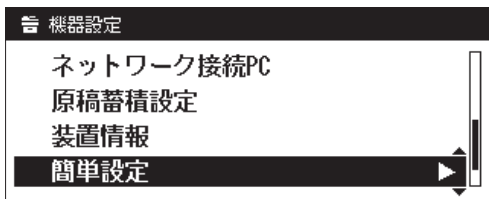
■手順 2-3 本機の E メール設定を行う

設定情報シートの情報を使用して、スキャン To メールを使用できるように本機を設定します。

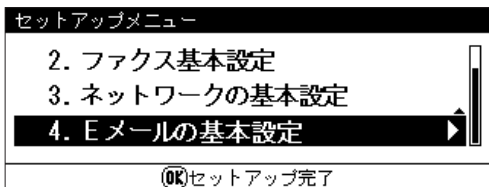
！注

- フリーのメールサーバーやお使いのインターネットサービスプロバイダが提供しているメールサーバー以外のメールサーバーをお使いの場合、簡単設定では設定できません。
<設定>ボタンを押し、[管理者設定] > [ネットワーク管理] > [メールサーバ設定] を選択すると、詳細なメールサーバー設定が表示されますので、その画面で設定をしてください。

- 1 操作パネルの < 設定 > ボタンを押します。
- 2 ▼を押して [簡単設定] を選択し、Ⓚを押します。



- 3 管理者パスワード (A-1) を入力します。
- 4 [決定] を選択し、Ⓚを押します。
- 5 ▼を押して [Eメールの基本設定] を選択し、▶を押します。



- 6 ▶を押し、B-2 の情報を入力します。
- 7 [決定] を選択し、Ⓚを押します。
- 8 ▶を押し、B-1 の情報を入力します。
- 9 [決定] を選択し、Ⓚを押します。
- 10 ▼を押して B-4 の情報をもとに認証方法を選択し、Ⓚを押します。
 - B-4 が「認証しない」の場合は、[認証しない] を選択します。手順 21 に進みます。
 - B-4 が「SMTP」の場合は、[SMTP Auth] を選択します。手順 11 に進みます。
 - B-4 が「POP」の場合は、[POP Before SMTP] を選択します。手順 15 に進みます。
- 11 ▶を押し、B-5 の情報を入力します。
- 12 [決定] を選択し、Ⓚを押します。
- 13 ▶を押し、B-6 の情報を入力します。

- 14 [決定] を選択し、Ⓚを押します。
手順 21 に進みます。

- 15 ▶を押し、B-3 の情報を入力します。

- 16 [決定] を選択し、Ⓚを押します。

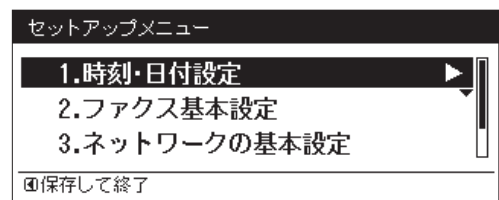
- 17 ▶を押し、B-7 の情報を入力します。

- 18 [決定] を選択し、Ⓚを押します。

- 19 ▶を押し、B-8 の情報を入力します。

- 20 [決定] を選択し、Ⓚを押します。

- 21 セットアップメニュー画面が表示されたら、Ⓚを押します。



これでスキャン Toメールのセットアップは完了です。

スキャン To メールの手順

この節では、スキャン To メールを開始する方法について説明します。次の手順では、送信先を指定するために直接入力を使用します。

スキャン To メール機能を使用する前に、ネットワークとEメールの初期設定を行ってください。

1 操作パネルの<スキャン>ボタンを押します。



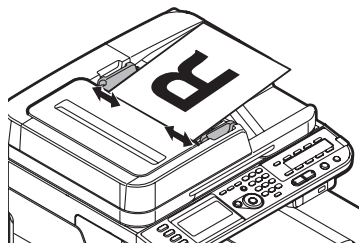
2 以下のように原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または原稿ガラスにセットします。

● 自動原稿送り装置 (ADF)

原稿を表にして、原稿の上端から入っていくようにセットします。

! 注

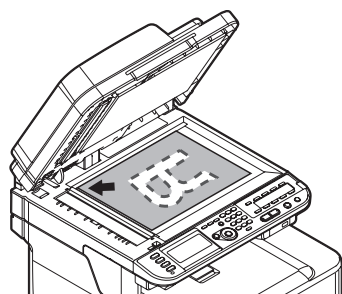
- 自動原稿送り装置 (ADF) からの原稿の給紙ミスが多発する場合は、セットする原稿の枚数を減らしてください。



原稿の幅に合わせて、原稿ガイドを調節します。

● 原稿ガラス

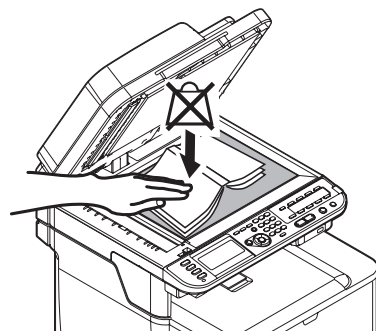
原稿を裏にして、原稿の上端とガラスの左上の角を合わせます。



原稿ガラスカバーを静かに閉じます。

! 注

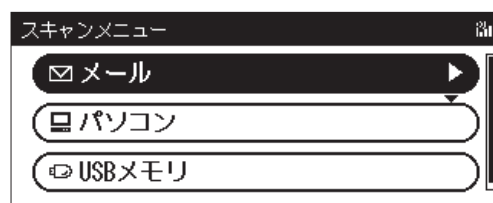
- 原稿ガラスでスキャンをするときは、原稿ガラスに必要な以上の重みをかけないでください。



メモ

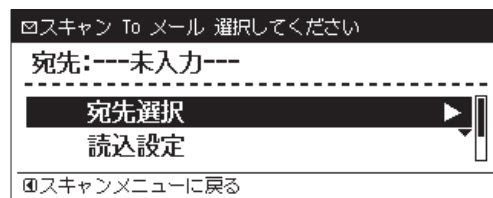
- 本機で原稿をスキャンするときは、自動原稿送り装置 (ADF) の原稿が優先されます。原稿ガラスを使用するときは、自動原稿送り装置 (ADF) に原稿がないことを確認してください。

3 [メール] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。



メモ

- ここではワンタッチボタンを使って宛先を追加することができます。宛先は [To] に追加されます。続けてワンタッチボタンで複数宛先を追加できます。



4 [宛先選択] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。

5 [To] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。

[Cc] または [Bcc] を選択する場合は、▼を押し、**OK**を押してください。

6 宛先を指定します。

宛先は、直接入力、アドレスブック、グループリスト、送信履歴、LDAP 検索のいずれかの方法で指定します。

7 または を押します。

モノクロ

カラー

● スキャン To 共有フォルダー

この節では、スキャン To 共有フォルダー機能の初期設定と基本操作について説明します。

本機能によって、原稿をスキャンし、ネットワーク上のパソコンの共有フォルダに保存できるようになります。

この機能を使用する前に、必ず初期設定を完了させてください。

スキャン To 共有フォルダーの初期設定

この節では、スキャン To 共有フォルダー機能の初期設定の方法について説明します。下の 2 つの手順を行ってください。

- 「手順 1 本機のネットワーク設定を行う」 P.82
- 「手順 2 パソコンと本機をスキャン To 共有フォルダー用に設定する」 P.83

5 手順 1 本機のネットワーク設定を行う

手順については、「手順 1 本機のネットワーク設定を行う」 P.48 を参照してください。

！注

- 無線 LAN で接続している場合は、「有効なデフォルトゲートウェイ」を「無線（インフラストラクチャ）」に変更してください。 P.51 を参照してください。

メモ

- IP アドレスが本機にすでに設定されている場合は、手順 1 をスキップしてください。

手順 2 パソコンと本機をスキャン To 共有フォルダー用に設定する

お使いのパソコンと本機をスキャン To 共有フォルダー用に設定するには、下の 4 つの手順を行ってください。

！注

- この手順を行う前に、ネットワーク設定を完了させてください。
- 「手順 2-1 パソコンの名前を確認する」 P.83
- 「手順 2-2 スキャン To 共有フォルダーに必要な項目の名前を決定する」 P.84
- 「手順 2-3 パソコンをスキャン To 共有フォルダー用に設定する」 P.84
- 「手順 2-4 スキャン To 共有フォルダー用のプロファイルを作成する」 P.87

上記の手順について、設定情報シートの各項目の値を確認してください。

■ 設定情報シート

番号	項目	概要説明	例	お客様記入欄
C-1	送信先のパソコン名	スキャンしたデータを転送するパソコンの名前	PC1	
C-2	ユーザ名	スキャンしたデータを転送するパソコンにログインするためのユーザー名	mc363	(半角 32 文字以内)
C-3	パスワード	スキャンしたデータを転送するパソコンにログインするためのパスワード	mc363	(半角 32 文字以内)
C-4	プロファイル名	送信先の名称 (任意)	Sales	(半角 16 文字以内)
C-5	共有フォルダ名	スキャンしたデータを転送するパソコンのフォルダー名	SalesDev	(半角 64 文字以内)
C-6	スキャンファイル名	スキャンしたデータのファイル名 (任意)	ScanData	(半角 64 文字以内)

！注

- セットアップを始める前に、ネットワーク管理者から許可を得てから、次の手順に従ってパソコンに共有フォルダーを作成してください。
- 既存のユーザーアカウントを使用することも可能です。但し全角文字を含むユーザーアカウントは使用できません。

メモ

- この手順では、CIFS プロトコルを使用しています。

■ 手順 2-1 パソコンの名前を確認する

次の手順に従ってパソコンの名前を確認し、設定情報シートの C-1 に記入します。

- 1 [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] を選択します。
- 2 [システムとセキュリティ] を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 の場合は、[システムとメンテナンス] を選択します。
- 3 [システム] の下の [コンピューターの名前の参照] を選択します。

- 4 設定情報シートの C-1 に、[コンピューター名] の名前を記入します。



- 5 ウィンドウを閉じます。

□ Mac OS X の場合

【注】

- Mac と本機に設定されている [時刻] 及び [タイムゾーン] が一致している必要があります。

- 1 アップルメニューから [システム環境設定] を選択します。
- 2 [共有] をクリックします。
- 3 設定情報シートの C-1 に、[コンピュータ名] の名前を記入します。



- 4 [共有] を閉じます。

■ 手順 2-2 スキャン To 共有フォルダーに必要な項目の名前を決定する

次の項目の名前を決め、設定情報シートの C-2 から C-6 に記入します。

- 送信先パソコンにログインするためのユーザー名 (C-2)

【注】

- ユーザー名がドメインで管理されている場合は、「ユーザー名@ドメイン名」を C-2 に記入します。
ドメイン名を確認するには、[システムのプロパティ] ダイアログの [コンピュータ名] タブで、[変更] をクリックします。
- 送信先パソコンにログインするためのパスワード (C-3)
- 本機に設定を登録するためのプロファイル名 (C-4)
- 送信先パソコンに作成する共有フォルダーの名前 (C-5)
- スキャンしたデータのファイル名 (C-6)

■ 手順 2-3 パソコンをスキャン To 共有フォルダー用に設定する

設定情報シートの情報を使って、パソコンに本機用のアカウントと共有フォルダーを作成します。

【メモ】

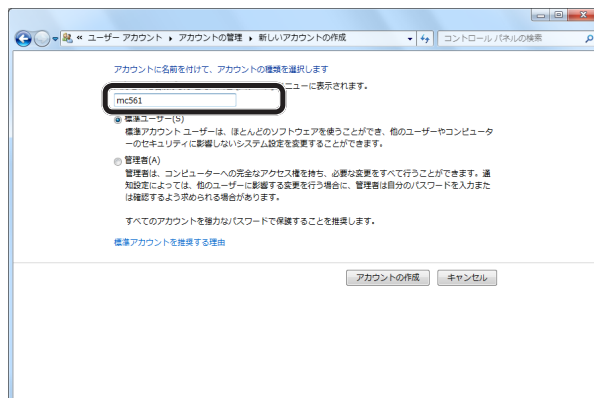
- パソコンがドメイン内にある場合、ユーザーアカウントを追加する手順が以下の手順と異なることがあります。お使いの OS のマニュアルを参照してください。
- 既存のユーザーアカウントを使用することもできます。

□ Windows の場合

【メモ】

- 既存のユーザーアカウントを使用する場合は、以降の手順 1 から 9 の操作は不要です。

- 1 [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] を選択します。
- 2 [ユーザー アカウントの追加または削除] を選択します。
- 3 [新しいアカウントの作成] を選択します。
- 4 C-2 の値をテキストボックスに入力します。



- 5 [標準ユーザー] が選択されていることを確認し、[アカウントの作成] をクリックします。
- 6 手順 5 で作成したユーザーアカウントのアイコンをクリックします。
- 7 [パスワードの作成] を選択します。

- 8 C-3 の値を [新しいパスワード] と [新しいパスワードの確認] に入力し、[パスワードの作成] をクリックします。



- 9 ウィンドウを閉じます。

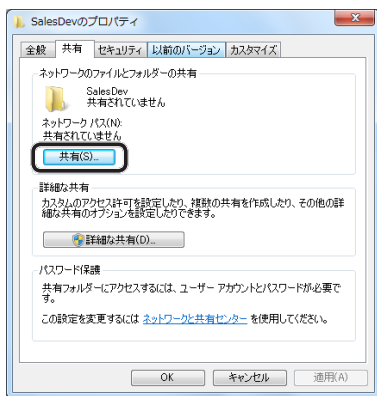
- 10 C-5 に記入した名前で、パソコン上に新しいフォルダーを作成します。

メモ

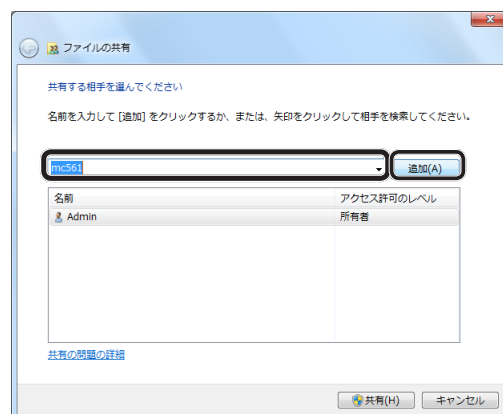
- デスクトップや [ドキュメント]、またはネットワークドライブ上ではなく、C ドライブや D ドライブなどのハードディスクドライブ直下にフォルダーを作成することをおすすめします。

- 11 手順 10 で作成したフォルダーを右クリックし、[プロパティ] を選択します。

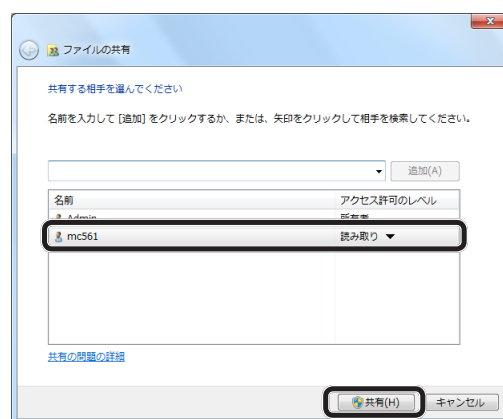
- 12 [共有] タブを選択し、[共有] をクリックします。



- 13 手順 5 で作成したユーザーアカウントをドロップダウンリストから選択し、[追加] をクリックします。



- 14 手順 13 で追加したユーザーをリストから選択し、[アクセス許可のレベル] の [▼] をクリックしてプルダウンメニューから、[読み取り/書き込み] を選択し、[共有] をクリックします。



[ネットワークの探索とファイル共有] ダイアログが表示されたら、[いいえ、接続しているネットワークをプライベートネットワークにします] をクリックします。

- 15 [終了] をクリックします。

□ Mac OS X の場合

メモ

- 既存のユーザーアカウントを使用する場合は、以降の手順 1 から 9 の操作は不要です。

- 1 アップルメニューから **「システム環境設定」** を選択します。
- 2 **「アカウント」** をクリックします。
- 3 画面左下の **「変更するにはカギをクリックします。」** をクリックし、管理者パスワードを入力して **「OK」** をクリックします。
- 4 **「+」** をクリックします。



- 5 **「新規アカウント」** から **「通常」** を選択します。



- 6 C-2 の値を **「フルネーム」** に入力します。
- 7 C-3 の値を **「パスワード」** と **「確認」** に入力します。
- 8 **「アカウントを作成」** をクリックします。

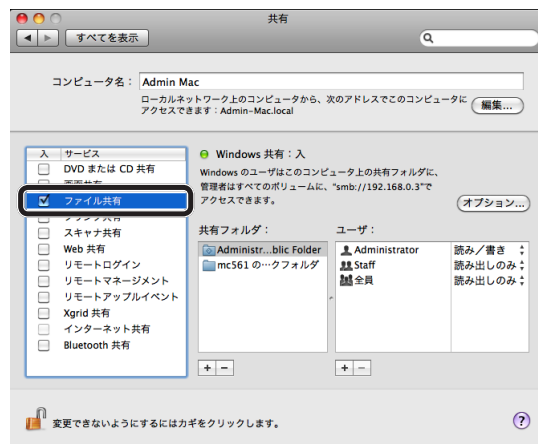
メモ

- 自動ログインについてのダイアログが表示されたら、自動ログインを無効にします。

- 9 **「その他のアカウント」** に C-2 の名前でアカウントが追加されたことを確認し、**「アカウント」** を閉じます。



- 10 C-5 に記入した名前で、パソコン上に新しいフォルダーを作成します。
- 11 アップルメニューから **「システム環境設定」** を選択します。
- 12 **「共有」** をクリックします。
- 13 **「ファイル共有」** にチェックをつけます。

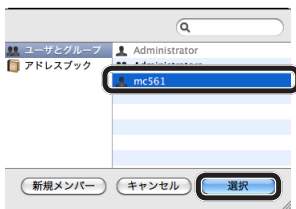


- 14 **「共有フォルダ」** 下の **「+」** をクリックします。
- 15 手順 10 で作成したフォルダーを選択して、**「追加」** をクリックします。

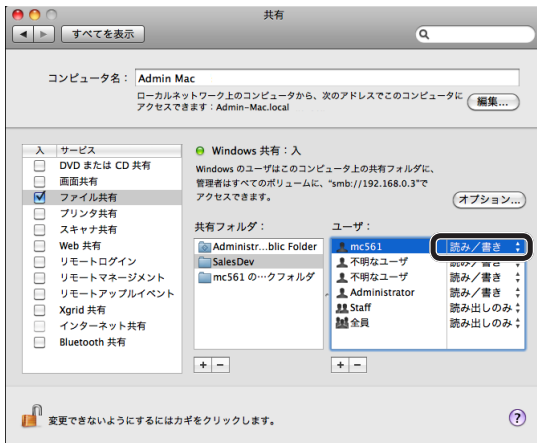
16 手順 15 で追加したフォルダーを選択し、**[ユーザ]** 下の **[+]** をクリックします。



17 手順 8 で作成したアカウントを選択して **[選択]** をクリックします。

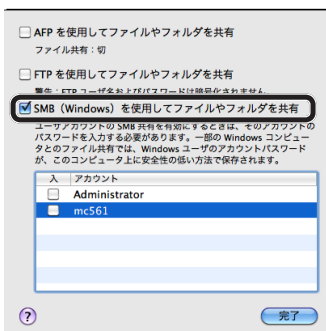


18 手順 17 で追加したユーザーの右端の三角形ボタンをクリックし、**[読み／書き]** を選択します。



19 **[オプション]** をクリックします。

20 **[SMB (Windows) を使用してファイルやフォルダを共有]** にチェックをつけます。



21 手順 16 で追加したアカウントにチェックをつけます。

22 **[パスワード]** に C-3 の値を入力して **[OK]** をクリックします。



23 **[完了]** をクリックします。

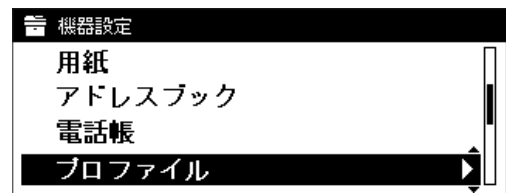
24 **[共有]** を閉じます。

■ 手順 2-4 スキャン To 共有フォルダー用のプロファイルを作成する

設定情報シート of 情報をプロファイルとして本機に登録します。スキャン To 共有フォルダーを実行するときには、このプロファイルを指定してデータを送信します。

1 操作パネルの **< 設定 >** ボタンを押します。

2 ▼を押して **[プロファイル]** を選択し、**OK** を押します。



3 ▼を押して登録したいプロファイル番号を選択し、**OK** を押します。

4 **[登録]** が選択されていることを確認し、**OK** を押します。

5 **[プロファイル名]** が選択されていることを確認し、▶を押します。

6 C-4 の情報を入力します。

7 **[決定]** を選択し、**OK** を押します。

8 ▼を押して **[対象 URL]** を選択し、▶を押します。

9 C-1 および C-5 の値を「¥ ¥C-1 ¥C-5」の形式で入力します。

例： ¥ ¥PC1 ¥SalesDev

！注

- ネットワークに DNS サーバーがない場合、パソコン名(C-1)ではパソコンを指定できません。この場合は、パソコンの IP アドレスを使用して設定します。

例： ¥ ¥192.168.0.3 ¥SalesDev

10 [決定] を選択し、**OK** を押します。

11 ▼ を押して [ユーザ名] を選択し、▶ を押します。

12 C-2 の値を入力します。

！注

- ドメイン管理が行われている場合は、「C-2@ ドメイン名」を入力します。
- ドメイン管理が行われている場合で、「C-2 @ドメイン名」を入力しても接続できない場合は、「@ドメイン名」を削除してください。
さらに沖データホームページの活用マニュアルを参考に、本機の Web ページにアクセスし、[管理者設定] > [ネットワーク管理] > [NBT] の [ワークグループ名] に NetBIOS ドメイン名を設定してください。
* ドメイン名に関してはネットワーク管理者に確認してください。

13 [決定] を選択し、**OK** を押します。

14 ▼ を押して [パスワード] を選択し、▶ を押します。

15 C-3 の値を入力します。

16 [決定] を選択し、**OK** を押します。

17 ▼ を押して [ファイル名] を選択し、▶ を押します。

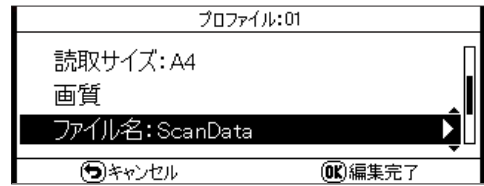
18 C-6 の値を入力します。

- ファイル名の最後に「#n」を追加すると、送信されるファイル名の最後に自動的にシリアル番号が割り当てられます。
- ファイル名の最後に「#d」を追加すると、送信されるファイル名の最後に自動的に日付が割り当てられます。

19 [決定] を選択し、**OK** を押します。

20 必要に応じて、そのほかの項目を設定します。

21 **OK** を押して、設定を登録します。



スキャン To 共有フォルダー用のセットアップは完了です。

スキャン To 共有フォルダーの手順

この節では、スキャン To 共有フォルダーを開始する方法について説明します。

スキャン To 共有フォルダー機能を使用する前に、初期設定を行ってください。

メモ

- 次の手順では、工場出荷時の設定を使用しています。

1 操作パネルの<スキャン> ボタンを押します。



2 以下のように原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または原稿ガラスにセットします。

- 自動原稿送り装置 (ADF)

原稿を表にして、原稿の上端から入っていくようにセットします。

！注

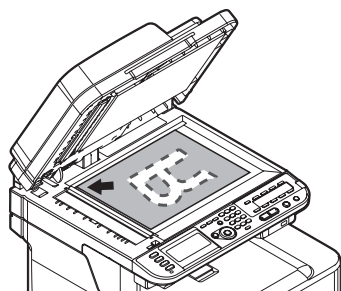
- 自動原稿送り装置 (ADF) からの原稿の給紙ミスが多発する場合は、セットする原稿の枚数を減らしてください。



原稿の幅に合わせて、原稿ガイドを調節します。

● 原稿ガラス

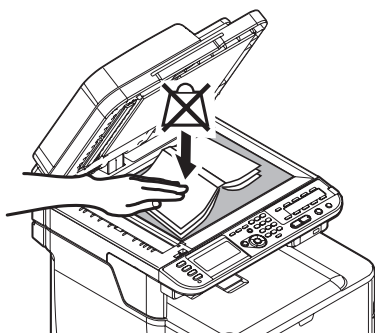
原稿を裏にして、原稿の上端とガラスの左上の角を合わせます。



原稿ガラスカバーを静かに閉じます。

【注】

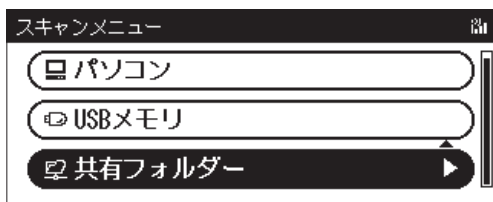
- 原稿ガラスでスキャンをするときは、原稿ガラスに必要な以上の重みをかけないでください。



【メモ】

- 本機で原稿をスキャンするときは、自動原稿送り装置 (ADF) の原稿が優先されます。原稿ガラスを使用するときは、自動原稿送り装置 (ADF) に原稿がないことを確認してください。

- ▼を押して [共有フォルダー] を選択し、**OK** を押します。



- [プロフィール選択] が選択されていることを確認し、**OK** を押します。
- ▼を押してプロフィールを選択し、**OK** を押します。
- モノクロ または カラー を押します。

プロフィールの管理

スキャン To 共有フォルダーを実行するには、各送信先のプロフィールを作成する必要があります。最大 50 件のプロフィールを登録できます。

【参照】

- プロフィールの作成については、「手順 2-4 スキャン To 共有フォルダー用のプロフィールを作成する」P.87 を参照してください。

プロフィールの変更

- 操作パネルの <設定> ボタンを押します。
- ▼を押して [プロフィール] を選択し、**OK** を押します。
- ▼を押して変更したいプロフィールを選択し、**OK** を押します。
- [編集] が選択されていることを確認し、**OK** を押します。
- ▼を押して変更したい項目を選択し、▶を押します。
- 項目を変更します。
- [決定] を選択し、**OK** を押します。
- 複数の項目を変更したい場合は、手順 5 ~ 7 を繰り返します。
- OK** を押して、設定を登録します。

プロフィールの削除

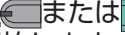

- 操作パネルの <設定> ボタンを押します。
- ▼を押して [プロフィール] を選択し、**OK** を押します。
- ▼を押して削除したいプロフィールを選択し、**OK** を押します。
- ▼を押して [削除] を選択し、**OK** を押します。
- 確認画面で◀または▶押して [はい] を選択し、**OK** を押します。

● スキャン To パソコン

この節では、スキャン To パソコン機能の初期設定と基本操作について説明します。



本機能によって、ネットワークまたは USB を介して、パソコンに原稿をスキャンし、必要に応じてスキャンした画像を処理します。操作パネルからスキャンを開始できます。

● Windows の場合

 または  を押すと、ActKey ユーティリティを開始し、スキャンドライバーを使用してスキャンが自動的に開始します。スキャンした原稿を指定したアプリケーションに送信、指定したフォルダーに保存、またはファクスで送信できます。

WSD スキャン接続については、開始するアプリケーションや、各送信先へのスキャンした原稿を送信または保存する場所を指定できます。

● Mac OS X の場合

 または  を押すと、イメージキャプチャを開始し、ICA ドライバーを使用してスキャンが自動的に開始します。フォルダーを選択し、スキャンした原稿をそのフォルダーに保存できます。ファイル形式は JPEG です。PDF 形式では保存できません。

本機は USB インターフェースまたはネットワークに接続できますが、同時に接続できるのは一台のパソコンだけです。

この機能を使用する前に、必ず初期設定を完了させてください。

スキャン To パソコンの初期設定

この節では、スキャン To パソコン機能の初期設定の方法について説明します。

お使いの OS の手順を参照してください。

- [Windows の場合] P.91
- [Mac OS X の場合] P.92

Windows の場合

■ 概要

□ 接続方法

次の接続方法のいずれかを選択できます。

- [ネットワーク接続] P.91
- [USB 接続] P.91
- [WSD スキャン接続] P.91

□ 動作環境

本機は、次の Windows オペレーティングシステムに対応しています。

- Windows 10/Windows 10 (64bit 版)
- Windows 8.1/Windows 8.1 (64bit 版)
- Windows Sever 2012 R2
- Windows 8/Windows 8 (64bit 版)
- Windows Server 2012
- Windows 7/Windows 7 (64bit 版)
- Windows Vista/Windows Vista (64bit 版)
- Windows Server 2008 R2
- Windows Server 2008/Windows Server 2008 (64bit 版)

■ ネットワーク接続

ネットワーク接続を経由して、スキャン To パソコン機能を設定するには、下の 2 つの手順を行ってください。

- [手順 1 本機のネットワーク設定を行う] P.91
- [手順 2 ドライバーおよびソフトウェアをインストールする] P.91

□ 手順 1 本機のネットワーク設定を行う
手順については、「[手順 1 本機のネットワーク設定を行う](#)」P.48 を参照してください。

! 注

- 無線 LAN で接続している場合は、「有効なデフォルトゲートウェイ」を「無線 (インフラストラクチャ)」に変更してください。P.51 を参照してください。

メモ

- IP アドレスが本機にすでに設定されている場合は、手順 1 をスキップしてください。

□ 手順 2 ドライバーおよびソフトウェアをインストールする

次の手順は、スキャナードライバーと ActKey を一度にインストールします。

! 注

- この手順を行う前に、ネットワーク設定を設定してください。

メモ

- スキャナードライバーと ActKey がお使いのパソコンにすでにインストールされている場合は、インストールは必要ありません。

手順については、「[手順 2 ドライバーなどをインストールする](#)」P.52 を参照してください。

■ USB 接続

USB 接続を経由して、スキャン To パソコン機能を設定するには、パソコンのスキャナードライバーと ActKey をインストールしてください。手順は、「[USB 接続](#)」P.59 を参照してください。

メモ

- スキャナードライバーと ActKey がお使いのパソコンにすでにインストールされている場合は、この手順をスキップしてください。

■ WSD スキャン接続

WSD スキャン接続を経由して、スキャン To パソコン機能を設定するには、下の 2 つの手順を行ってください。

- [手順 1 本機のネットワーク設定を行う] P.91
- [手順 2 WSD スキャンをセットアップする] P.91

□ 手順 1 本機のネットワーク設定を行う
手順については、「[手順 1 本機のネットワーク設定を行う](#)」P.48 を参照してください。

メモ

- IP アドレスが本機にすでに設定されている場合は、必要ありません。

□ 手順 2 WSD スキャンをセットアップする
手順については、「[WSD スキャンをセットアップする](#)」P.127 を参照してください。

Mac OS X の場合

■ 概要

□ 接続方法

次の接続方法のどちらかを選択できます。

- ネットワーク接続
- USB 接続

□ 動作環境

本機は Mac OS X 10.8.5 ~ 10.11 に対応していません。

□ 手順

Mac OS X でスキャン To パソコン機能を設定するには、下の 3 つの手順を行ってください。

- 「[手順 1 本機とパソコンを接続する](#)」 P.92
- 「[手順 2 スキャナードライバーをインストールする](#)」 P.92
- 「[手順 3 ネットワークスキャナー設定ツールにパソコンを登録する](#)」 P.92

！注

- 無線 LAN で接続している場合は、「有効なデフォルトゲートウェイ」を「無線（インフラストラクチャ）」に変更してください。P.51 を参照してください。

メモ

- ネットワーク接続で、IP アドレスが本機にすでに設定されている場合は、手順 1 をスキップしてください。
- スキャナードライバーがお使いのパソコンにすでにインストールされている場合は、手順 2 をスキップしてください。
- USB 接続の場合は、手順 3 をスキップしてください。

■ 手順 1 本機とパソコンを接続する

□ USB 接続

手順については、「[USB ケーブルを接続する](#)」 P.59 を参照してください。

■ 手順 2 スキャナードライバーをインストールする

手順については、「[手順 2 ドライバーなどをインストールする](#)」 P.52 の「[Mac OS X の場合](#)」 P.61 を参照してください。

■ 手順 3 ネットワークスキャナー設定ツールにパソコンを登録する

ネットワーク接続を経由して、スキャン To パソコン機能を使用するには、スキャンを開始する前に、必ずネットワークスキャナー設定ツールでお使いのパソコンを送信先として登録してください。

メモ

- スキャナードライバーをインストールすると、ネットワークスキャナー設定ツールが同時にインストールされます。

- 1 [移動]メニューから[アプリケーション]>[OKIDATA]>[Scanner]>[ネットワークスキャナー設定ツール]を選択します。
- 2 [装置一覧]から本機を選択し、[登録]をクリックします。
- 3 必要に応じて、本機の送信先として表示される[名称]を編集し、[登録]をクリックします。
- 4 確認メッセージで[OK]をクリックします。
- 5 [OK]をクリックしてネットワークスキャナー設定ツールを閉じます。

スキャン To パソコンの動作を確認する

この節では、スキャン To パソコンを開始する方法について説明します。次の手順は、Windows と Mac OS X に共通です。

スキャン To パソコン機能を使用する前に、初期設定を行ってください。

接続方法を選択し、各手順に従ってください。

- 「ネットワーク接続」 P.93
- 「USB 接続」 P.94
- 「WSD スキャン接続の場合 (Windows のみ)」 P.95

！注

- Mac OS X をお使いの場合、フラットベッドスキャナーに設定された原稿を A4 サイズ固定でのみ読み取ることができます。
- Mac OS X をお使いの場合、ファイルを JPEG 形式でのみ保存可能です。
- Mac OS X をお使いの場合、あらかじめイメージキャプチャを起動し、イメージキャプチャスクリーン左側に表示される一覧から装置を選択してください。
- イメージキャプチャは標準表示でお使いください。詳細表示ではご使用になれません。

■ ネットワーク接続

- 1 操作パネルの<スキャン>ボタンを押します。



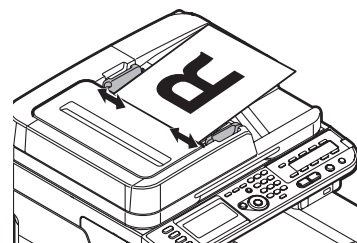
- 2 以下のように原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または原稿ガラスにセットします。

● 自動原稿送り装置 (ADF)

原稿を表にして、原稿の上端から入っていくようにセットします。

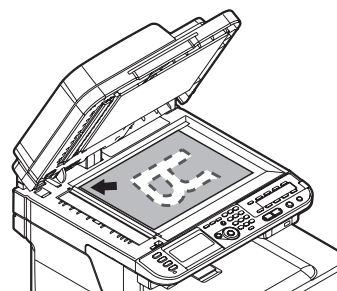
！注

- 自動原稿送り装置 (ADF) からの原稿の給紙ミスが多発する場合は、セットする原稿の枚数を減らしてください。



原稿の幅に合わせて、原稿ガイドを調節します。原稿ガラス

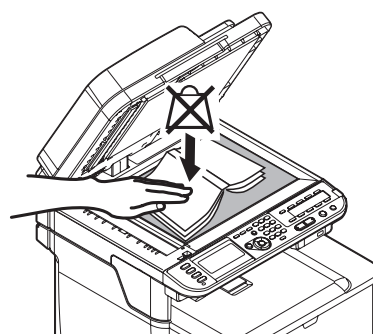
原稿を裏にして、原稿の上端とガラスの左上の角を合わせます。



原稿ガラスカバーを静かに閉じます。

！注

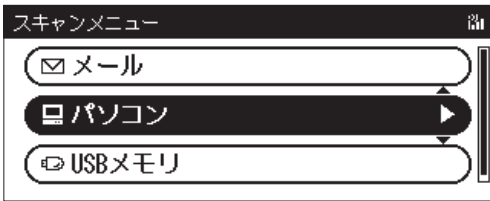
- 原稿ガラスでスキャンをするときは、原稿ガラスに必要な以上の重みをかけないでください。



メモ

- 本機で原稿をスキャンするときは、自動原稿送り装置 (ADF) の原稿が優先されます。原稿ガラスを使用するときは、自動原稿送り装置 (ADF) に原稿がないことを確認してください。

- 3 ▼を押して[パソコン]を選択し、**OK**を押します。



- 4 [接続先選択]が選択されていることを確認し、**OK**を押します。

- 5 [ネットワーク接続 PC リストから選択]が選択されていることを確認し、**OK**を押します。

- 6 ▼を押して接続先のパソコンを選択し、**OK**を押します。

- 7 ▼を押して[起動アプリ]を選択し、**OK**を押します。

- 8 ▼を押してスキャンした原稿の送信先を選択し、**OK**を押します。

- 9  または  を押します。

- [アプリケーション]を選択した場合は、指定したアプリケーションが起動し、スキャンした画像がアプリケーションに表示されます。
- [フォルダ]を選択した場合は、スキャンした画像が指定したフォルダーに保存されます。
- [PC-FAX]を選択した場合は、ファクス送信アプリケーションが起動します。スキャンした画像を送信したあと、お使いのパソコンのファクス送信ソフトウェアでファクスを送信します。

■ USB 接続

- 1 操作パネルの<スキャン>ボタンを押します。



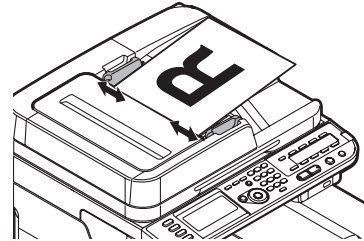
- 2 以下のように原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または原稿ガラスにセットします。

● 自動原稿送り装置 (ADF)

原稿を表にして、原稿の上端から入っていくようにセットします。

！注

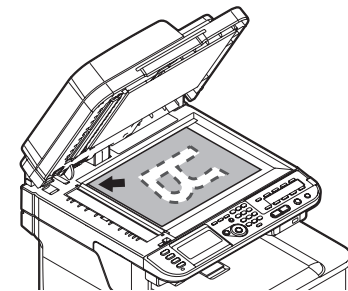
- 自動原稿送り装置 (ADF) からの原稿の給紙ミスが多発する場合は、セットする原稿の枚数を減らしてください。



原稿の幅に合わせて、原稿ガイドを調節します。

● 原稿ガラス

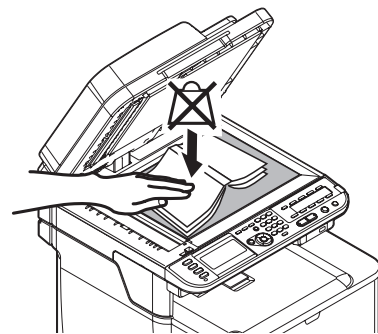
原稿を裏にして、原稿の上端とガラスの左上の角を合わせます。



原稿ガラスカバーを静かに閉じます。

！注

- 原稿ガラスでスキャンをするときは、原稿ガラスに必要以上の重みをかけないでください。

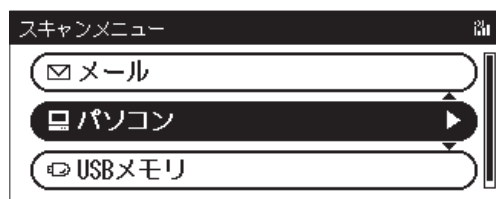


メモ

- 本機で原稿をスキャンするときは、自動原稿送り装置 (ADF) の原稿が優先されます。原稿ガラスを使用するときは、自動原稿送り装置 (ADF) に原稿がないことを確認してください。

- 3 ▼を押して[パソコン]を選択し、**OK**を押します。

Network TWAIN 機能を[オフ]に設定している場合は、手順 6 に進みます。



- 4 [接続先選択]が選択されていることを確認し、**OK**を押します。

- 5 ▼を押して[USB 接続 PC]を選択し、**OK**を押します。

- 6 ▼を押して[起動アプリ]を選択し、**OK**を押します。

- 7 ▼を押して、読み取った原稿の送信先を選択し、**OK**を押します。

選択可能な送信先

アプリケーション フォルダ PC-FAX

! 注

- Mac OS X をお使いのときはフォルダーのみ選択可能です。

- 8  または  を押します。

メモ

- [アプリケーション] を選択したときは、指定したアプリケーションが起動し、読み取った原稿がアプリケーションに表示されます。
- [フォルダ] を選択したときは、読み取った原稿が指定したフォルダーに保存されます。
- [PC-FAX] を選択したときは、ファクス送信アプリケーションが起動します。読み取った原稿を送信したあと、お使いのパソコンのファクス送信ソフトウェアでファクスを送信します。

■ WSD スキャン接続の場合 (Windows のみ)

- 1 操作パネルの<スキャン>ボタンを押します。



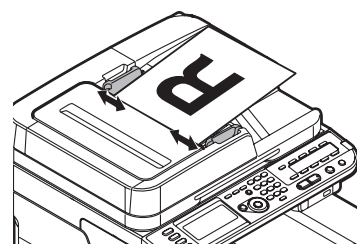
- 2 以下のように原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または原稿ガラスにセットします。

- 自動原稿送り装置 (ADF)

原稿を表にして、原稿の上端から入っていくようにセットします。

! 注

- 自動原稿送り装置 (ADF) からの原稿の給紙ミスが多発する場合は、セットする原稿の枚数を減らしてください。



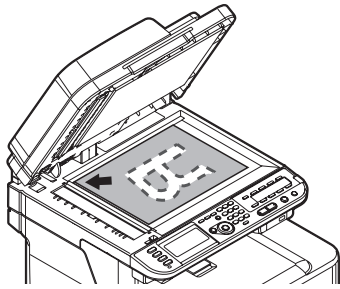
原稿の幅に合わせて、原稿ガイドを調節します。

5

スキャン機能を設定する

● 原稿ガラス

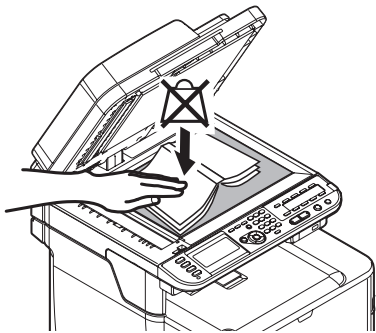
原稿を裏にして、原稿の上端とガラスの左上の角を合わせます。



原稿ガラスカバーを静かに閉じます。

ⓘ 注

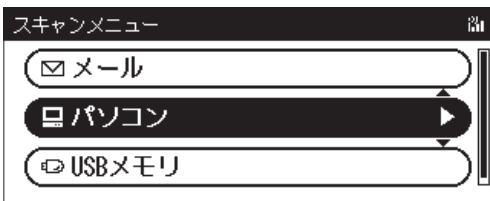
- 原稿ガラスでスキャンをするときは、原稿ガラスに必要な以上の重みをかけないでください。



メモ

- 本機で原稿をスキャンするときは、自動原稿送り装置 (ADF) の原稿が優先されます。原稿ガラスを使用するときは、自動原稿送り装置 (ADF) に原稿がないことを確認してください。

3 ▼を押して [パソコン] を選択し、OKを押します。



4 [接続先選択] が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ▼を押して [WSD Scan] を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して送信先のパソコンのイベントを選択し、OKを押します。

選択可能なイベント：

XXX へ電子メール用にスキャン
 XXX へ FAX 用にスキャン
 XXX へ OCR 用にスキャン
 XXX へ印刷用にスキャン
 XXX へスキャン

XXX は、送信先のパソコン名を示します。

Windows スキャンプロパティの各イベントの動作を設定できます。

7 スキャンボタンをクリックします。

読み取りが始まります。

メモ

- 自動原稿送り装置 (ADF) でスキャンした場合、フォーマットによっては、2 ページ以降がスキャンされないことがあります。例として、Windows Fax およびスキャンでは、次の組み合わせで原稿送り装置でスキャンした場合、2 ページ以降がスキャンされないことがあります。

- カラーフォーマット：カラー / グレyscale + ファイルの種類：BMP/PNG

- カラーフォーマット：黒および白 + ファイルの種類：BMP/PNG/JPG

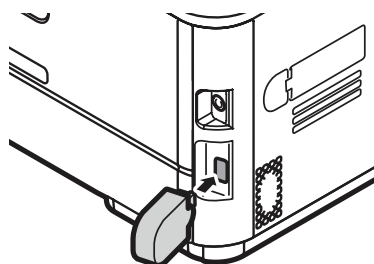
● スキャン To USB メモリー

スキャンしたデータを、USB メモリーに保存できます。

参照

- 使用できる USB メモリーの仕様については、「ユーザーズマニュアル 困ったときにはと日々のメンテナンス編」を参照してください。

- 1 操作パネルの<スキャン>ボタンを押します。
- 2 原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または、原稿ガラスにセットします。
- 3 USB メモリーを、本機の USB ポートに差し込みます。





注意

- USB メモリーは、USB ポートにまっすぐ差し込みます。正しい角度で挿入しないと、USB ポートを傷つけることがあります。

- 4 ▼を押して [USB メモリ] を選択し、OKを押します。



- 5 ▼を押して必要に応じて読み取り設定をします。
- 6  または  を押します。
- 7 USB メモリーを安全に取り外しできることを示すメッセージが表示されたら、USB メモリーを取り外します。

6 節電モード・自動で電源を切るまでの時間（オートパワーオフ）を設定する

節電機能の設定

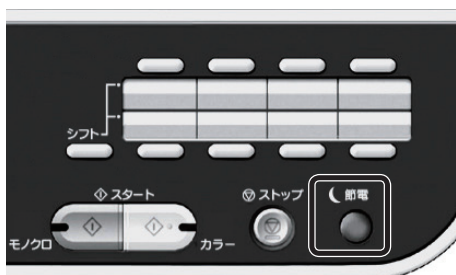
本機は、パワーセーブモード、スリープモード、ディープスリープモードの3つの節電モードを備えています。

■パワーセーブモード

一定時間本機を使用しないと、自動的にパワーセーブモードに入り、消費電力を節約します。

または、操作パネルの<節電>ボタンを押して、手動でパワーセーブモードに入ることができます。

パワーセーブモードのときは、<節電>ボタンが点灯します。



□移行時間を設定する

- 1 <設定> ボタンを押します。
- 2 ▼を押して[管理者設定]を選択し、**OK**を押します。
- 3 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「999999」です。
- 4 [決定] を選択し、**OK**を押します。
- 5 ▼を押して[機器管理]を選択し、**OK**を押します。
- 6 ▼を押して[節電モード]を選択し、**OK**を押します。
- 7 ▼を押して[パワーセーブ移行時間]を選択し、**OK**を押します。
- 8 ▼を押して移行時間を選択し、**OK**を押します。

設定可能な移行時間

1分*、2分、3分、4分、5分
10分、15分、30分、60分

*は工場出荷時の設定

- 9 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

■スリープモード

本機は、設定された時間が経過すると、パワーセーブモードからスリープモードまたはディープスリープモードに移行します。ディープスリープモードでは、本機の状態は電源が切れているときとほぼ同じです。

スリープモード、ディープスリープモードのときは、<節電>ボタンが点滅します。

！注

- エラーが発生している場合、本機はスリープモードに入りません。
- 時刻指定送信が予約されている場合、本機はスリープモードに入りません。
- ファクス送信がリダイヤル待ちとなっている場合、本機はスリープモードに入りません。
- [管理者設定]>[運用初期設定]>[ファクス受信モード]が[電話/ファクス待機]かつ、[管理者設定]>[ファクス機能]>[その他の設定]>[応答待ち時間]が[OFF]に設定されている場合、スリープモードに入りません。

□移行時間を設定する

- 1 <設定> ボタンを押します。
- 2 ▼を押して[管理者設定]を選択し、**OK**を押します。
- 3 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「999999」です。
- 4 [決定] を選択し、**OK**を押します。
- 5 ▼を押して[機器管理]を選択し、**OK**を押します。
- 6 ▼を押して[節電モード]を選択し、**OK**を押します。
- 7 ▼を押して[スリープ移行時間]を選択し、**OK**を押します。
- 8 ▼を押して移行時間を選択し、**OK**を押します。

設定可能な移行時間

1分、2分、3分、4分、5分
10分、15分*、30分、60分

*は工場出荷時の設定

- 9 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

■参照

- スリープモードについてのより詳しい情報は、「スリープモード時の制限事項」P.100を参照してください。

■ 待機状態への戻り方

パワーセーブモードまたはスリープモードから待機状態に戻るには、操作パネルの < 節電 > ボタンを押します。

メモ

- 本機は、パソコンやそのほかの装置からデータを受信すると、自動的に待機状態に戻ります。

オートパワーオフ

本機は、一定時間使用しないと、オートパワーオフに移行し自動的に電源が切れます。再度使用する場合は、電源を入れてください。

オートパワーオフの振る舞いを決定するオートパワーオフ設定は、3つの選択肢があります。

- [有効]
- [自動設定]
- [無効]

[有効]

一定時間本機を使用しないと、自動的に電源が切れます。

[自動設定]

以下の状態では、自動的に電源が切れません。

- LAN ケーブルをネットワークインタフェースコネクタに接続している
- 無線 LAN を有効に設定している
- 電話線ケーブルを LINE コネクタに接続している

[無効]

オートパワーオフ機能が無効になります。自動的に電源は切れません。

！注

- エラーが発生している場合、本機はオートパワーオフしません。
- 時刻指定送信が予約されている場合、本機はオートパワーオフしません。
- ファクス送信がリダイヤル待ちとなっている場合、本機はオートパワーオフしません。

■ オートパワーオフを設定する

ネットワーク接続時、電話線ケーブル接続時にオートパワーオフを設定するには、以下設定を行ないます。

- 1 < 設定 > ボタンを押します。
- 2 ▼を押して [管理者設定] を選択し、**OK**を押します。
- 3 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「999999」です。
- 4 [決定] を選択し、**OK**を押します。
- 5 ▼を押して [運用初期設定] を選択し、**OK**を押します。
- 6 ▼を押して [電力設定] を選択し、**OK**を押します。
- 7 ▼を押して [オートパワーオフ] を選択し、**OK**を押します。
- 8 ▼を押して [有効] を選択し、**OK**を押します。
- 9 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

■ 移行時間を設定する

- 1 < 設定 > ボタンを押します。
- 2 ▼を押して [管理者設定] を選択し、**OK**を押します。
- 3 管理者パスワードを入力します。
- 4 [決定] を選択し、**OK**を押します。
- 5 ▼を押して [機器管理] を選択し、**OK**を押します。
- 6 ▼を押して [節電モード] を選択し、**OK**を押します。
- 7 ▼を押して [オートパワーオフ移行時間] を選択し、**OK**を押します。
- 8 ▼を押して移行時間を選択し、**OK**を押します。

設定可能な移行時間

1 時間、2 時間、3 時間、4 時間 *
8 時間、12 時間、18 時間、24 時間

*は工場出荷時の設定

- 9 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

● スリープモード時の制限事項

この節では、本機がスリープモードのときの制限事項について説明します。

本機がエラーを表示している状態では、スリープモードに移行しない場合があります。

ネットワーク機能の制限事項

スリープモードでは、ネットワークの機能に以下のような制限があります。

スリープモードに移行しない

次の場合には、本機はスリープモードに移行しません。

- 本機にエラーが発生している場合
- ファクスの時刻指定送信を設定している場合
- ファクス送信のリダイヤル待ちの場合など

ディープスリープモードに移行しない

次の場合には、本機はディープスリープモードに移行しません。

- IPSec が有効になっている
- TCP のコネクションが確立している
例：Telnet、FTP でコネクションを確立している場合など。
パワーセーブ状態でスリープモードまたはディープスリープモード移行時間経過後、コネクションが切断されるとスリープモードに入ります。
- E メール受信が有効になっている
- 無線 LAN が有効になっている
- Google クラウドプリントが有効になっている
- LLTD が有効になっている
- IPv6 Global Address が割り当てられているとき

印刷できない

ディープスリープモード中は、以下のプロトコルを使用した印刷はできません。

- NBT

クライアント機能を持つプロトコルが動作しない

ディープスリープモード中は、クライアント機能を持つ以下のプロトコルが動作しません。

- E メールアラート^{*2}
- SNMP Trap
- WINS^{*1}
- SNTTP^{*2}

*1 ディープスリープモード中の経過時間は、WINS の更新時間の間隔には含まれません。
ディープスリープモード中は WINS の定期更新を行わないため、WINS サーバーに登録された名前が削除されることがあります。

*2 ディープスリープモード中の経過時間は、E メールアラートの定期的な通知時間の間隔、NTP サーバーに対する更新時間の間隔に含まれません。

7 コピー機として使うとき

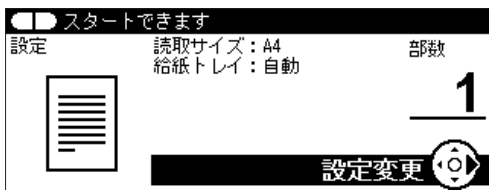
この章では、コピー機能の基本操作と設定について説明します。



● 基本操作

この節では、コピーの開始および中止方法について説明します。

コピーを始める

- 1 操作パネルの<コピー> ボタンを押して、スタート画面を開きます。



- 2 原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または、原稿ガラスにセットします。
- 3 必要に応じて、コピー設定を変更します。
- 4 テンキーで部数を入力します。
 - 1 ~ 99 部まで入力できます。
 - 間違えて入力したときは、<クリア> ボタンを押して入力しなおします。<クリア> ボタンを押すと、もとの設定値に戻ります。
- 5  または  を押してコピーを始めます。

メモ

- 工場出荷時の設定では、以下の設定でコピーされます。

[読取サイズ]: A4 [給紙トレイ]: 自動
[原稿の画像向き]: 縦 [拡大 / 縮小]: 100%
[濃度]: 0 [ドキュメントタイプ]: 文字 / 写真

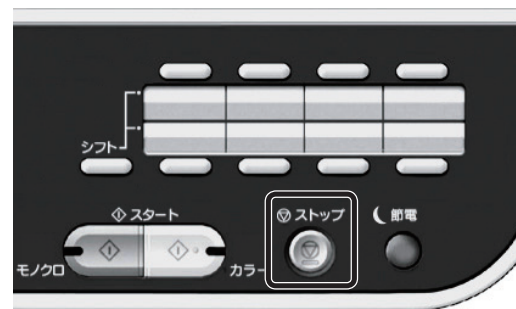
参照

- 各コピー機能の設定方法については、「[コピー設定を変更する](#)」P.102 を参照してください。
- 自動原稿送り装置 (ADF) または原稿ガラスに原稿をセットする方法については、「[原稿のセットのしかた](#)」P.39 を参照してください。

コピーを中止する

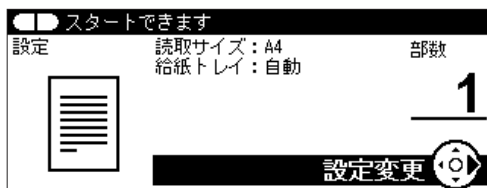
コピー完了を示すメッセージが表示されるまでの間は、コピーを中止できます。

- 1 操作パネルの<ストップ> ボタンを押します。



● コピー設定を変更する

この節では、各コピー設定の変更方法を説明します。各設定は、スタート画面の「設定変更」から行います。



前述の「コピーを始める」P.101 に示す手順 3 で、以下の操作を行います。

- 参照**
- スタート画面の「設定変更」メニューで行う変更は一時的なものです。初期設定を変更するときは、< 設定 > ボタンを押して「管理者設定」から行います。詳しくは、沖データホームページの活用マニュアルをご覧ください。

読み取りサイズを変更する (読取サイズ)

原稿の適切な読み取りサイズを選択できます。

- 1 ▶を押して、「設定変更」メニューに入ります。
- 2 「読取サイズ」が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 3 ▼を押して読み取りサイズを選択し、**OK**を押します。

設定可能なサイズ

A4*	A5	A6	B5	B6	レター
リーガル 13	リーガル 13.5	リーガル 14	エグゼクティブ	ステートメント	8.5"SQ
フォリオ					

* は工場出荷時の設定

- 4 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

用紙トレイを変更する (給紙トレイ)

コピー用紙をセットするトレイを選択できます。

- 1 ▶を押して、「設定変更」メニューに入ります。
- 2 ▼を押して「給紙トレイ」を選択し、**OK**を押します。
- 3 ▼を押してトレイを選択し、**OK**を押します。

設定可能なトレイ

自動*	トレイ 1	トレイ 2	MPトレイ
-----	-------	-------	-------

* は工場出荷時の設定



- 4 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

メモ

- 「[トレイ 2]」は、オプションのセカンドトレイユニットを取り付けているときに表示されます。
- 「[自動]」に設定しているときに、初期設定でマルチパーパストレイは選択されません。マルチパーパストレイを使用するには、< 設定 > ボタン > 「用紙」 > 「印刷トレイ指定」 > 「コピー」 > 「MPトレイ」 > 「オン」または「オン(優先)」を選択します。
- 「[自動]」に選択しているときに、A4、A5、A6、B5、B6、レター、リーガル 13/13.5/14、エグゼクティブ、ステートメント、8.5"SQ、フォリオ以外の用紙がセットされている用紙トレイは選択されません。ほかの用紙サイズを使用するには、「給紙トレイ」設定で用紙トレイを選択します。

■ マルチパーパストレイを使う

「MPトレイ」を選択すると、マルチパーパストレイにセットされている用紙にコピーできます。

- 1 原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または、原稿ガラスにセットします。
- 2 マルチパーパストレイに用紙をセットします。
- 3  または  を押します。
- 4 ポップアップメッセージが表示されたら、◀または▶を押して「読取開始」を選択し、**OK**を押します。

MPトレイの用紙にコピーします。
MPトレイに用紙をセットしてから
「読取開始」ボタンを押してください。

読取開始

中止

参照

- マルチパーパストレイに用紙をセットする方法については、「マルチパーパストレイに用紙をセットする」P.36を参照してください。

原稿の向きを変更する(原稿の画像向き)

原稿の向きは、[縦] または [横] を選択できます。適切な方向を指定して、希望どおりにコピーします。

参照

- 各方向に原稿をセットする方法については、「[原稿のセットのしかた](#)」P.39 を参照してください。

- ▶を押して、[設定変更] メニューに入ります。
- ▼を押して [原稿の画像向き] を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して原稿の向きを選択し、**OK**を押します。

設定可能な向き

縦* 横

* は工場出荷時の設定

- 4 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

拡大 / 縮小コピーをする (拡大 / 縮小)

拡大 / 縮小コピーをするには、[拡大 / 縮小] を設定します。倍率は、以下の 3 つの方法で設定できます。

- [自動] を使用する
- 固定倍率を選択する
- テンキーで倍率を設定する

[自動] を使用する

[自動] を選択していると、倍率は、指定した読み取りサイズと用紙トレイに応じて自動的に設定されます。

注

- [自動] は、A4、A5、A6、B5、B6、レター、リーガル 13/13.5/14、エグゼクティブ、ステートメント、8.5"SQ、フォリオの用紙にコピーするときのみ使用できます。

- ▶を押して、[設定変更] メニューに入ります。
- ▼を押して [拡大 / 縮小] を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して [自動] を選択し、**OK**を押します。
- 4 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

メモ

- [給紙トレイ] を [自動] に設定していると、[拡大 / 縮小] は、自動的に [100%] に設定されます。ほかの倍率を選択したいときは、最初に、[給紙トレイ] を設定し、次に、[拡大 / 縮小] を設定します。

固定倍率を選択する

- ▶を押して、[設定変更] メニューに入ります。
- ▼を押して [拡大 / 縮小] を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して倍率を選択し、**OK**を押します。

設定可能な倍率

100%*	70%(A4->A5)
78%(リーガル 14->レター)	
81%(B5->A5, リーガル 13.5->レター)	
84%(リーガル 13->レター)	
86%(A4->B5)	
94%(A4->レター)	97%(レター->A4)
98%(用紙に合わせる)	115%(B5->A4)
141%(A5->A4)	122%(A5->B5)

* は工場出荷時の設定

メモ

- [98%(用紙に合わせる)] を選択すると、原稿と用紙のサイズが同じ場合に、用紙に合わせて原稿が縮小されます。

- 4 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。
「最適なサイズの用紙がありません。トレイの用紙を確認してください。」が表示される場合は、給紙トレイをトレイ 1 やトレイ 2 に変更してください。

注

- [給紙トレイ] を [自動] に設定しているときは、選択できない値があります。選択できる値は、指定した読み取りサイズに応じて異なります。
- 使用する倍率によっては、原稿の一部がコピーされなかったり、余白が生じたりすることがあります。

メモ

- [給紙トレイ] を [自動] に設定しているとき、用紙トレイは、指定した倍率に応じて自動的に選択されます。特定の用紙トレイを使用したいときは、[給紙トレイ] を設定しなおします。
- [給紙トレイ] が [自動] に設定されていても、A4、A5、A6、B5、B6、レター、リーガル 13/13.5/14、エグゼクティブ、ステートメント、8.5"SQ、フォリオ以外の用紙がセットされている用紙トレイは選択されません。そのほかの用紙サイズを選択するには、[給紙トレイ] を設定しなおします。

テンキーで倍率を設定する

- ▶を押して、[設定変更] メニューに入ります。
- ▼を押して [拡大 / 縮小] を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して [任意倍率 (25 ~ 400%)] を選択し、**OK**を押します。

- テンキーで 25 ~ 400% までの倍率を入力し、**OK**を押します。
 - 倍率は 1% ずつ設定できます。
 - 間違えて入力したときは、**<クリア>** ボタンを押して入力しなおします。
- トップ画面が表示されるまで、**◀**を押します。
 「最適なサイズ用の紙がありません。トレイの用紙を確認してください。」が表示される場合は、給紙トレイをトレイ 1 やトレイ 2 に変更してください。

継続読取モードを有効にする (継続読取)

あらかじめ複数の原稿を読み取り、1 つのジョブとしてコピーしたいときは、継続読取モードを有効にします。[ソート]、[集約]、[両面] 機能を使用するときに設定すると便利です。

メモ

- ファクス、インターネットファクス、およびスキャン機能にも継続読取モードがあります。ファクスは [応用設定]、インターネットファクス、およびスキャンは [読込設定] から設定できます。

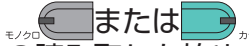
参照

- [両面] 機能については、「両面コピーをする (両面)」を参照してください。
- [ソート] および [集約] 機能については、沖データホームページの活用マニュアルをご覧ください。

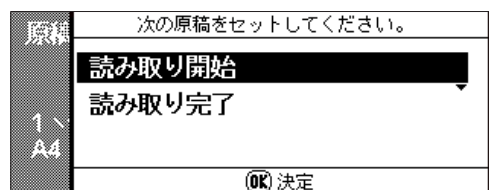
- ▶**を押して、[設定変更] メニューに入ります。
- ▼**を押して [継続読取] を選択し、**OK**を押します。
- ▼**を押して [オン] を選択し、**OK**を押します。
- トップ画面が表示されるまで、**◀**を押します。

■ 継続読取モードでコピーする

継続読取モードでは、自動原稿送り装置 (ADF) または原稿ガラスのいずれか、または両方を使用できます。

- 1 枚目の原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または、原稿ガラスにセットします。
- 継続読取モードを有効にします。
必要に応じて、そのほかのコピー設定を変更します。
- テンキーで部数を入力します。
- を押して、1 枚目の原稿の読み取りを始めます。

- [次の原稿をセットしてください。] 画面が表示されたら、自動原稿送り装置 (ADF) または原稿ガラスに次の原稿をセットします。



! 注

- 次の原稿を別の場所にセットするときは、先に使用した場所から原稿を取り除きます。

- [読み取り開始] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- すべての原稿の読み取りが終了したら、**▼**を押して [読み取り完了] を選択し、**OK**を押します。

メモ

- 原稿ガラスで、集約コピーや両面コピーするときは、[継続読取] が [オフ] に設定されていても、原稿の読み取りが終了すると、[次の原稿をセットしてください。] 画面が表示されます。
- ファクス、インターネットファクス、およびスキャン機能では、1 枚目の原稿の読み取り開始後、手順 5 ~ 7 を行ってください。

両面コピーをする (両面)

片面原稿 (片面) と両面原稿 (両面) を、用紙の片面 (片面) にコピーすることも、両面 (両面) にコピーすることもできます。また、出力紙を長辺でとじるか、短辺でとじるかを選択することもできます。

希望どおりにコピーするには、[原稿の画像向き] で原稿の適切な方向を指定しておく必要があります。

! 注

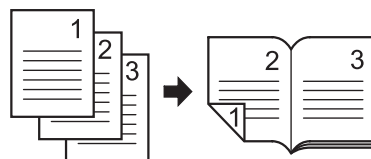
- 両面コピーには定形サイズの普通紙を使用します。定形サイズの普通紙以外の用紙を使用すると、紙づまりの原因となります。

参照

- 使用できる用紙については、「用紙のセットのしかた」P.34 を参照してください。
- [原稿の画像向き] の設定方法については、「原稿の向きを変更する (原稿の画像向き)」P.103 を参照してください。

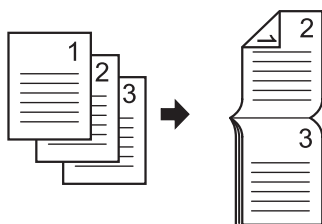
■ 長辺とじ

用紙の長辺をとじるように原稿をコピーします。



■ 短辺とじ

用紙の短辺をとじるように原稿をコピーします。



参照

- とじしろの設定方法については、沖データホームページの活用マニュアルをご覧ください。

両面コピーを有効にする

- ▶を押して、[設定変更] メニューに入ります。
- ▼を押して [両面] を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して印刷方法を選択し、**OK**を押します。

設定可能な印刷方法

オフ (両面しない) *
 片面原稿→両面印刷^{長辺とじ}
 片面原稿→両面印刷^{短辺とじ}
 両面原稿→両面印刷
 両面原稿^{長辺とじ}→片面印刷
 両面原稿^{短辺とじ}→片面印刷

*は工場出荷時の設定

- 4 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

注

- [両面原稿→両面印刷]、[両面原稿^{長辺とじ}→片面印刷]、[両面原稿^{短辺とじ}→片面印刷]を行うには、自動原稿送り装置 (ADF) へ原稿をセットしてください。

メモ

- 原稿ガラスで両面コピーするときは、継続読取モードが自動的に有効になります。表示画面の指示に従って操作します。

コピー濃度を調整する (濃度)

コピー濃度は 7 段階で調整できます。

- ▶を押して、[設定変更] メニューに入ります。
- ▼を押して [画質] を選択し、**OK**を押します。
- [濃度] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。

- 4 ▲または▼を押して濃度を選択し、**OK**を押します。

設定可能な濃度

+3 +2 +1 0* -1 -2 -3

*は工場出荷時の設定

メモ

- [0] は標準値です。コピーの濃度を濃くするには、[+1]、[+2]、[+3] を選択します。逆に、コピーの濃度を薄くするには、[-1]、[-2]、[-3] を選択します。

- 5 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

原稿の種類を変更する (ドキュメントタイプ)

原稿の種類を選択して、最適な画質でコピーできます。

- ▶を押して、[設定変更] メニューに入ります。
- ▼を押して [画質] を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して [ドキュメントタイプ] を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して原稿の種類を選択し、**OK**を押します。

設定可能な種類

文字 文字 / 写真* 写真 光沢写真

*は工場出荷時の設定

メモ

- [文字] : 文字の多い原稿をコピーするときに設定します。
- [文字 / 写真] : 文字と写真が混在する原稿をコピーするときに設定します。文字と写真それぞれのバランスをとった画像で再現されます。
- [写真] : 印刷された写真・グラフィック原稿をコピーするときに設定します。階調性を重視した画像で再現されます。
- [光沢写真] : 光沢のある写真や光沢インクジェット紙に印刷された写真原稿をコピーするときに設定します。光沢を考慮して階調性を重視した画像で再現されます。

- 5 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

注

- [文字] を選択すると、原稿によっては階調性が少なくなる場合があります。
- [写真]、[光沢写真] を選択すると、原稿によっては細かい文字や細線がぼやける場合があります。
- [光沢写真] を選択すると、画像が明るくなる事があります。

背景除去を調整する（背景除去）

原稿の背景（下地）除去の度合いを、本機が自動的に調整、手動で6段階に調整、または除去しないから選択できます。

【自動】を選択すると、原稿に最適な度合いで自動的に背景除去されます。

- ▶を押して、[設定変更]メニューに入ります。
- ▼を押して[画質]を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して[背景除去]を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して設定値を選択し、**OK**を押します。

設定可能な値

自動* オフ 1 2 3 4 5 6

*は工場出荷時の設定

メモ

- [3]は標準値です。原稿の背景(下地)の除去を強くするには、[4]、[5]、[6]を選択します。逆に弱めるには、[2]、[1]、または[オフ]（除去しない）を選択します。

- トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

注

- 背景除去の設定を強くすると、原稿によっては細線や細かい文字、薄い色が再現されなくなる場合があります。
- 下記のような場合には正しく原稿背景を検出できず、背景色が除去できないことがあります。
 - 非定型サイズの前稿をセットした場合
 - 先端が折れ曲がった原稿をセットした場合
 - 先端が欠けたり、斜めになっている原稿をセットした場合
 - 先端付近に穴が開いている原稿をセットした場合
 - 原稿ガラス面のガイドに合わせずに原稿をセットした場合

読取解像度を変える（読取解像度）

原稿の読取解像度を変えることができます。

- ▶を押して、[設定変更]メニューに入ります。
- ▼を押して[画質]を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して[読取解像度]を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して解像度を選択し、**OK**を押します。

設定可能な解像度

普通* 高精細

*は工場出荷時の設定

メモ

- [普通]は標準値です。[高精細]を選択することで、細線や細かい文字の再現性、階調性が向上できます。

- トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

注

- モノクロコピーの場合は、読取解像度は[高精細]固定となります。

設定をリセットする

自動リセット

一定時間何も操作をしないと、コピー機能の設定がすべて初期値に戻ります。工場出荷時は、3分に設定されています。

参照

- 自動リセット時間の変更は、<設定>ボタンを押して[管理者設定]から行います。詳しくは、沖データホームページの活用マニュアルをご覧ください。

<リセット/ログアウト>ボタンを使用する

スタート画面または設定項目画面で<リセット/ログアウト>ボタンを押すと、コピー機能の設定が初期値に戻ります。



コピーが終了したら、次のユーザーのために、<リセット/ログアウト>ボタンを押して初期値に戻します。

8 ファクス・インターネットファクスとして使うとき

この章では、ファクス機能とインターネットファクス機能の基本設定と操作、電話帳の管理方法について説明します。

● ファクス機能の基本操作

この節では、ファクス送信の基本操作について説明します。ファクス機能を使用する前に、初期設定を行う必要があります。

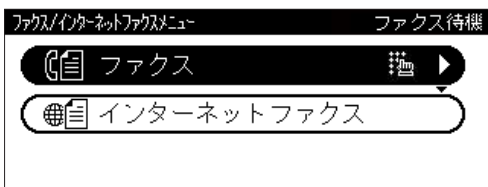
- メモ
- 自動原稿送り装置（ADF）にセットできる原稿のサイズは、A4、レター、リーガル 13/13.5/14、フォリオ、原稿ガラスにセットできる原稿のサイズは、A4/レターのみです。
- サイズが異なる原稿を一緒に使用することはできません。
- 参照
- ファクス機能の初期設定については、「[ファクスの初期設定](#)」P.64 を参照してください。

ファクスを送信する

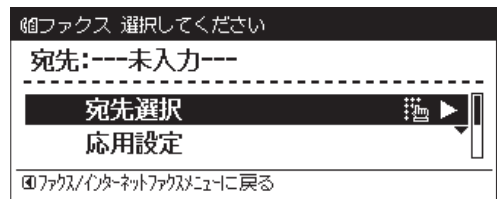
- メモ
 - 原稿の読み取りには、自動原稿送り装置（ADF）が優先的に使用されます。原稿ガラスを使用するときは、原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットしないでください。
- 操作パネルの<ファクス>ボタンを押します。



- 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。
- [ファクス]が選択されていることを確認し、OKを押します。



- スタート画面で[宛先選択]が選択されていることを確認し、OKを押します。



- 宛先を指定します。
宛先を指定するときは、テンキーによる直接入力、短縮ダイヤルリスト、宛先グループリスト、送信履歴、受信履歴、ワンタッチボタンを使用できます。

- 参照
- 「宛先を指定する」P.108

- 必要に応じて、応用設定を変更します。

- 参照
- 「応用設定を変更する」P.111

- モ/クロを押して、送信を始めます。
原稿ガラスを使用した1回のファクス操作で、複数の原稿を読み取りたいときは、継続読取モードを有効にします。

- 参照
- 「継続読取モードを有効にする（継続読取）」P.104

メモ

- 工場出荷時の設定では、以下の設定で読み取ります。

[読取サイズ] : A4 [解像度] : 標準
[濃度] : 0

参照

- 自動原稿送り装置 (ADF) または原稿ガラスに原稿をセットする方法については、「[原稿のセットのしかた](#)」P.39を参照してください。
- 複数の宛先を指定したいときは、[沖データホームページの活用マニュアル](#)をご覧ください。

宛先を指定する

宛先は、以下の6つの方法で指定できます。

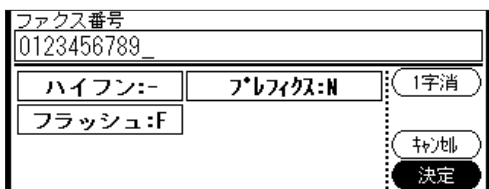
- 直接入力する
- 短縮ダイヤルリストを使用する
- 宛先グループリストを使用する
- 送信履歴を使用する
- 受信履歴を使用する
- ワンタッチボタンを使用する

前述の「[ファクスを送信する](#)」P.107の手順5で、以下の操作を行います。

直接入力する

宛先のファクス番号をテンキーで直接入力できます。最大40桁まで入力できます。

- ▼を押して「直接入力」を選択し、**OK**を押します。
- 操作パネルのテンキーで、宛先のファクス番号を入力します。
- 「決定」を選択し、**OK**を押します。



メモ

- ＜ファクス＞ボタンを押したあとに表示される画面でも、テンキーで宛先を入力できます。この場合、宛先の入力後にスタート画面が表示され、応用設定を行うことができます。

ダイヤル機能

宛先のファクス番号を入力するときは、以下の機能を使用できます。

「-」、「プレフィクス」、および「フラッシュ」は、ファクス番号入力画面に表示される各記号を選択し、を押して入力します。

- - (ハイフン)
入力するファクス番号にハイフンを挿入します。

- プレフィクス
あらかじめ登録しておいた局番を挿入します。入力時には「N」が入ります。

- フラッシュ
構内交換機に公衆回線への切り替えを通知します。入力時には「F」が入ります。

「ポーズ」と「#」はテンキーの＜#＞キーにより入力します。＜#＞キーを押すごとに、「P」と「#」が切り替わります。

- ポーズ
ダイヤル中に、2秒間、間隔をあけます。何回でもポーズを入力できます。入力時には「P」が入ります。

- # (シャープ)
[ダイヤル種別] の設定で [プッシュ] が指定されているときに、「#」を回線に送出します。入力時は「#」が入ります。

「トーン」と「*」はテンキーの＜*＞キーにより入力します。＜*＞キーを押すごとに、「T」と「*」が切り替わります。

- トーン
[ダイヤル種別] の設定で [ダイヤル10] または [ダイヤル20] が指定されているときに、トーンダイヤルに切り替えます。入力時には「T」が入ります。

- * (アスタリスク)
[ダイヤル種別] の設定で [プッシュ] が指定されているときに、「*」を回線に送出します。入力時には「*」が入ります。

参照

- プレフィクスについては、[沖データホームページの活用マニュアル](#)をご覧ください。

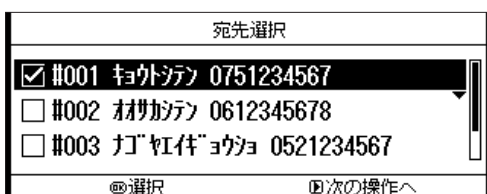
短縮ダイヤルリストと宛先グループリストを使用する

短縮ダイヤルリストや宛先グループリストに登録している番号から宛先を選択できます。あらかじめ、番号を登録しておく必要があります。

参照

- 短縮ダイヤルリスト、宛先グループリストへの番号登録については、「[ファクスの宛先を登録・編集する（電話帳の使い方）](#)」P.115 を参照してください。

- ▼を押して【短縮ダイヤルリスト】または【宛先グループリスト】を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して宛先またはグループを選択し、**OK**を押します。
チェックボックスにチェックが入ります。複数の宛先を選択できます。



メモ

- 宛先を相手先名でカナ検索する場合は、相手先名をローマ字に読み替え、テンキーからアルファベットを入力すると、該当する宛先を表示します。
- ソフトキーボードを使って相手先をカナ検索する場合は、「[電話帳を検索する](#)」P.117 を参照してください。

- 宛先をすべて選択したら、▶を押します。
- 【宛先選択を完了】が選択されていることを確認し、**OK**を押します。

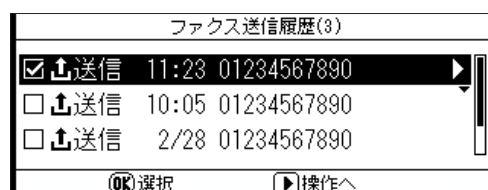
送信 / 受信履歴を使用する

最近の 50 件の送信履歴または受信履歴から宛先を選択できます。

注意

- 受信履歴は F コードポーリング受信したもののみです。

- ▼を押して【送信履歴】または【受信履歴】を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して項目を選択し、**OK**を押します。
チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。



- 宛先をすべて選択したら、▶を押します。
- 【宛先選択を完了】が選択されていることを確認し、**OK**を押します。

ワンタッチボタンを使用する

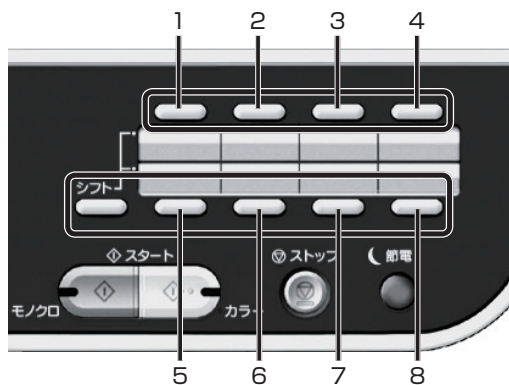
ワンタッチボタンで、短縮ダイヤルリストに登録しているファクス番号を選択できます。

ワンタッチボタンには、短縮ダイヤル番号 001 ~ 016 が自動的に登録されます。

- 1 スタート画面で、操作パネルのワンタッチボタンを押します。



ワンタッチボタンに割り当てられている短縮ダイヤル番号 009 ~ 016 を選択するときは、<シフト> ボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。



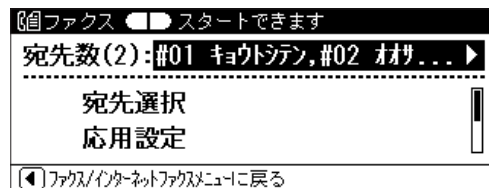
番号	名称
1	短縮ダイヤル番号 001(009)
2	短縮ダイヤル番号 002(010)
3	短縮ダイヤル番号 003(011)
4	短縮ダイヤル番号 004(012)
5	短縮ダイヤル番号 005(013)
6	短縮ダイヤル番号 006(014)
7	短縮ダイヤル番号 007(015)
8	短縮ダイヤル番号 008(016)

メモ

- <ファクス> ボタンを押したあとに表示されるトップ画面でも、ワンタッチボタンを使用できます。この場合、スタート画面は、ワンタッチボタンを押したあとに表示され、ほかの応用設定を変更できます。

指定した宛先を削除する

- 1 スタート画面で、▲を押して指定した宛先を選択し、OKを押します。



- 2 ▼を押して削除する宛先を選択し、OKを押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

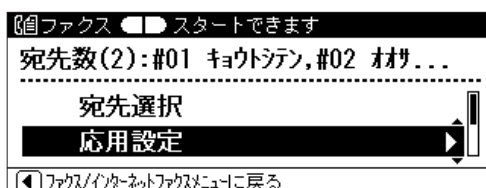
- 3 削除する宛先をすべて選択したら、▶を押します。

- 4 [宛先から削除] が選択されていることを確認し、OKを押します。

- すべての宛先を削除したときは、自動的にスタート画面に戻ります。
- 宛先をすべて削除しないときは、◀を押してスタート画面に戻ります。

● 応用設定を変更する

この節では、ファクスの応用設定を変更する方法について説明します。ファクスの応用設定を変更することで、原稿を希望どおりにスキャンできます。各設定は、スタート画面の【応用設定】メニューから行います。



前述の「[ファクスを送信する](#)」P.107 の手順 6 で、以下の操作を行います。

読み取りサイズを変更する (読取サイズ)

原稿の適切な読み取りサイズを選択できます。

- ▼を押してスタート画面の【**応用設定**】を選択し、**OK**を押します。
- 【**読取サイズ**】が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- ▼を押して読み取りサイズを選択し、**OK**を押します。

設定可能なサイズ

A4* レター リーガル 13 リーガル 13.5
リーガル 14 フォリオ

* は工場出荷時の設定

- トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

解像度を変更する (解像度)

最適な画質になるように適切な解像度を選択できます。

- ▼を押してスタート画面の【**応用設定**】を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して【**解像度**】を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して解像度を選択し、**OK**を押します。

設定可能な解像度

標準* 高画質 超高画質 写真

* は工場出荷時の設定

メモ

- 【**超高画質**】は、受信先の機械によっては使用できないことがあります。
- 【**高画質**】、【**超高画質**】、【**写真**】モードを使用すると、読み取り時間が長くなります。

- トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

濃度を調整する (濃度)

読み取り濃度は 7 段階で調整できます。

- ▼を押してスタート画面の【**応用設定**】を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して【**濃度**】を選択し、**OK**を押します。
- ▲または▼を押して解像度を選択し、**OK**を押します。

設定可能な濃度

+3 +2 +1 0* -1 -2 -3

* は工場出荷時の設定

メモ

- 【0】は標準値です。原稿の濃度を濃くするには、【+1】、【+2】、【+3】を選択します。逆に、原稿の濃度を薄くするには、【-1】、【-2】、【-3】を選択します。

- トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

発信元名を印刷する

送信するファクスに発信元名を印刷するように設定できます。工場出荷時の設定では、発信元名は有効になっており、【**送信者情報**】で指定した名前が印刷されます。

参照

- 【**送信者情報**】については、「[手順 2-2 送信者情報を設定する](#)」P.69 を参照してください。

- ▼を押してスタート画面の【**応用設定**】を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して【**発信元名**】を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して【**オン**】を選択し、**OK**を押します。
- トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

参照

- 発信元名の登録方法や、使用する発信元名の変更方法については、[沖データホームページの活用マニュアル](#)をご覧ください。

● ファクス送信を確認 / 中止する

この節では、ファクス送信の確認方法や中止方法について説明します。

ファクス送信を中止する

「原稿読み取り中」画面が表示されている間は、ファクス送信を中止できます。

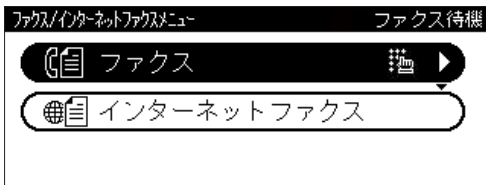
- 1 操作パネルの<ストップ>ボタンを押します。

送信予約を取り消す

送信予約を取り消すことができます。

- 1 操作パネルの<ファクス>ボタンを押します。

- 2 [ファクス] が選択されていることを確認し、**OK**を押してスタート画面を開きます。



- 3 ▼を押して [ファクス確認 / 中止] を選択し、**OK**を押します。
- 4 ▼を押して中止するジョブを選択し、**OK**を押します。
- 5 ジョブ内容を確認し、▶を押します。
- 6 ▼を押して [予約削除] を選択し、**OK**を押します。
- 7 確認画面で◀または▶を押して [はい] を選択し、**OK**を押します。

! 注

- 同報送信を選択すると、同報送信ジョブ自体が取り消されます。

メモ

- 送信中のファクスは、リストの一番上に表示されます。

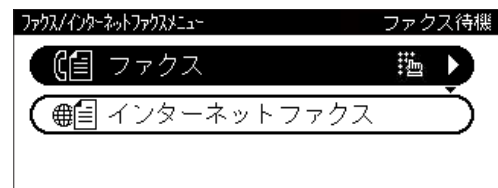
送信 / 受信履歴を確認する

送信・受信履歴と結果を確認できます。

メモ

- ファクスの送信中は、送信状況を [ファクス確認 / 中止] 画面で確認できます。

- 1 操作パネルの<ファクス>ボタンを押します。
- 2 [ファクス] が選択されていることを確認し、**OK**を押してスタート画面を開きます。



- 3 ▼を押して [ファクス送受信履歴] を選択し、**OK**を押します。
- 4 ▼を押して [送信履歴] または [受信履歴] を選択し、**OK**を押します。
- 5 ▼を押して確認する履歴を選択し、**OK**を押します。
- 6 履歴内容を確認し、**OK**を押します。

! 注

- パネルに表示される受信履歴は F コードポーリング受信したもののみです。

● ファクス受信時の動作について

この節では、受信モードの設定方法と、ファクスの受信時と印刷時の動作について説明します。

受信動作

受信動作は、指定した受信モードによって異なります。工場出荷時の設定は、[ファクス待機] になっているので、ファクスを自動的に受信します。ファクス受信モードを変更したときは、以下の説明で受信動作を確認してください。

ファクスの受信中は、< 代行受信 > ランプが点灯し、表示画面に発信元情報が表示されます。受信が終了しても、データがメモリーに保存されている間は、ランプは点灯を続けます。



メモ

- データの受信中にメモリーがオーバーフローすると、受信は中止されます。このようなときは、発信元に、ファクスを再度送信するように依頼してください。

電話とファクスを受信するとき (電話 / ファクス待機)

[電話 / ファクス待機] に設定しているときは、電話とファクスを兼用できます。電話を受けるには、あらかじめ、電話機を接続しておく必要があります。

電話かファクスかを自動判別します。

参照

- 電話機の接続方法については、「手順 1 電話線に接続する」P.65 を参照してください。


■ ファクスを受信する

ファクスの受信は自動的に始まります。

■ 電話を受ける

電話を受けると、呼び出し音が鳴り始めます。

- 1 呼び出し音が鳴り始めたら、受話器を上げます。相手と会話できます。

- 2 ファクスを受信したい場合は、 を押しします。

受話器を上げたままにすると、ファクス受信完了後に相手と会話できます。

メモ

- 電話を受ける頻度が高い場合は、[電話優先モード] を有効にすることをおすすめします。[電話優先モード] については、活用マニュアル*を参照してください。
- 離れた場所の電話機を接続している場合は、リモート切替番号をダイヤルすることでファクスを受信できます。リモート切替番号は3秒以内にダイヤルしてください。リモート切替番号については、活用マニュアル*を参照してください。
- お使いの電話機の種類によっては呼び出し音が正常に鳴らない場合があります。
- 電話かファクスかの自動判別が開始される前に電話機の呼び出し音が鳴る場合があります。自動判別開始前に電話機の呼び出し音を鳴らしたくない場合は、[応答待ち時間] を OFF としてください。[応答待ち時間] については、活用マニュアル*を参照してください。

* 沖データホームページに掲載しています。

留守番電話を接続するとき (留守 / ファクス待機)

[留守 / ファクス待機] に設定しているときは、留守番電話とファクスを兼用できます。あらかじめ、留守番電話を接続してください。

メモ

- お使いの留守番電話や発信元の機械によっては、[留守 / ファクス待機] が正しく機能しないことがあります。

参照

- 留守番電話の接続方法については、「手順 1 電話線に接続する」P.65 を参照してください。

■ ファクスを受信する

留守番電話の呼び出し音が鳴り、応答メッセージが流れ、ファクスの受信が自動的に始まります。

■ 電話を受ける

留守番電話の呼び出し音が鳴り、応答メッセージが流れ、メッセージの録音が始まります。

通常は電話として使用するとき(電話待機)


本機に接続した電話機を使用することが多い場合は、**【電話待機】**をおすすめします。

■ 電話を受ける

電話を受けると、電話機の呼び出し音が鳴り始めます。

■ ファクスを受信する

信号を受信すると、電話機の呼び出し音が鳴り始めます。

- 1 呼び出し音が鳴り始めたら、受話器を上げます。
- 2  を押します。
ファクス受信後に通話を再開する場合は、受話器は上げたままにしてください。受信完了後に会話できます。

受信したファクスを印刷する

受信したファクスは自動的に印刷されます。また、使用する用紙トレイを指定できます。

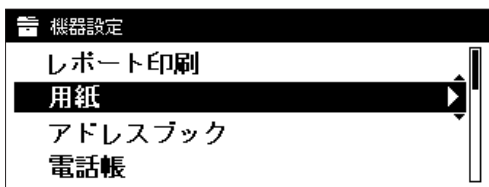
- ！注**
- 印刷中に用紙トレイを引き出さないでください。

- メモ**
- 普通紙または再生紙以外を使用しないでください。
 - 使用できる用紙サイズは、A4、レター、リーガル 13/13.5/14 です。

- 参照**
- 受信したファクスが指定した用紙サイズより大きいときは、受信側の印刷設定によって、縮小されたり、破棄されたり、複数の用紙に分けて印刷されたりします。詳しくは、[沖データホームページの活用マニュアル](#)をご覧ください。

使用するトレイを選択する

- 1 操作パネルの **< 設定 >** ボタンを押します。
- 2 ▼を押して **【用紙】** を選択し、**OK**を押します。



- 3 ▼を押して **【印刷トレイ指定】** を選択し、**OK**を押します。
- 4 **【ファクス】** が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 5 ▼を押して用紙トレイを選択し、**OK**を押します。

- 6 ▼を押して設定値を選択し、**OK**を押します。

設定可能な値

オン* オフ オン(優先)

* は工場出荷時の設定

- **【オン(優先)】** を指定した用紙トレイは、同じサイズの用紙がセットされているほかのトレイより優先して使用されます。
- マルチパーパストレイは、工場出荷時に **【オフ】** に設定されています。
- **【オン】** または、**【オン(優先)】** であるトレイが1つの場合は、設定値が、「---」と表示されます。
- すべてのトレイを **【オフ】** にすることはできません。

- 7 トップ画面が表示されるまで、**◀**を押します。

用紙サイズの優先順位

受信したファクス画像は、通常は送信側の画像と同じサイズの用紙に印刷します。同じサイズの用紙がないときは、次の優先順位にしたがって用紙を選択し、印刷します。

- 送信側の原稿サイズが A4 の場合
A4 > B5 > A5
- 送信側の原稿サイズが B5 の場合
B5 > A4
- 送信側の原稿サイズが A5 の場合
A5 > B5 > A4

受信したファクスを印刷できないとき

用紙切れや紙づまりなどが原因で受信したファクスを印刷できないときは、受信できるデータ容量は最大 8192 枚までとなります。(ただし、メモリーの残量や原稿の内容によって変化します。) 問題が解決されると、印刷は自動的に始まります。

参照

- 用紙のセット方法については、[「用紙のセットのしかた」P.34](#) を参照してください。
- 紙づまりの解消方法については、「ユーザーズマニュアル 困ったときにはと日々のメンテナンス編」を参照してください。
- 受信履歴の確認方法については、[「送信 / 受信履歴を確認する」P.112](#) を参照してください。

● ファクスの宛先を登録・編集する（電話帳の使い方）

この節では、電話帳にファクス番号を登録する方法や、登録した番号を編集、削除する方法について説明します。電話帳では、頻繁に使用するファクス番号を短縮ダイヤルに設定したり、ファクスを同報送信するファクス番号のグループを作成することができます。

短縮ダイヤル

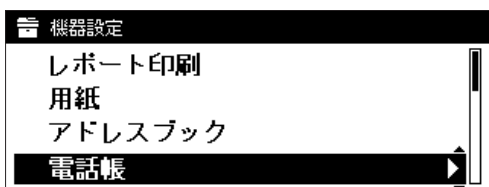
宛先を短縮ダイヤルに最大 300 件登録できます。

登録 / 編集する

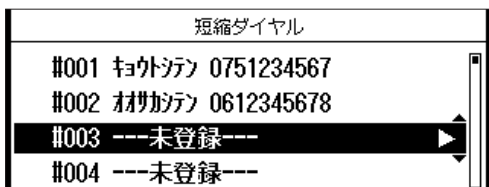
参照

- テキストの入力方法については、「[操作パネルを使用して文字を入力する](#)」P.22 を参照してください。

- 1 操作パネルの **< 設定 >** ボタンを押します。
- 2 ▼を押して **[電話帳]** を選択し、**OK**を押します。



- 3 **[短縮ダイヤル]** が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 4 ▼を押して短縮ダイヤルを選択し、**OK**を押します。



- 5 **[登録]** が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
登録済みの短縮ダイヤルを編集する場合は、**[編集]** を選択します。
- 6 必要に応じて、名前を指定します。
 - a **[相手先名]** が選択されていることを確認し、▶を押します。
 - b 名前を入力します。
最大半角 24 文字まで入力できます。
 - c **[決定]** を選択し、**OK**を押します。
- 7 ▼を押して **[相手先番号]** を選択し、▶を押します。

- 8 ファクス番号を入力します。
最大 40 桁まで入力できます。
- 9 **[決定]** を選択し、**OK**を押します。
- 10 必要に応じて、グループ番号を指定します。
 - a ▼を押して **[グループ番号]** を選択し、▶を押します。
 - b ▼を押して、グループ番号 (01 ~ 20) を選択します。
チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。
 - c グループをすべて選択したら、▶を押します。
 - d **[グループ選択を完了]** が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 11 **OK**を押します。

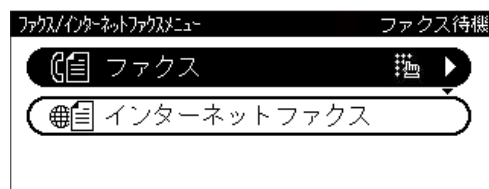
メモ

- **[短縮ダイヤル]** 機能からグループに登録した番号は、**[グループ番号]** 機能を使用してグループに登録した番号と同期されます。

履歴から登録する

ファクスの送信履歴や受信履歴から、ファクス番号を短縮ダイヤル番号として登録できます。

- 1 操作パネルの **< ファクス >** ボタンを押します。
- 2 **[ファクス]** が選択されていることを確認し、**OK**を押してスタート画面を開きます。

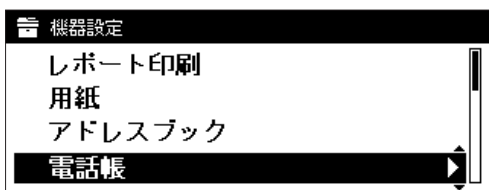


- 3 ▼を押して **[ファクス送受信履歴]** を選択し、**OK**を押します。
- 4 ▼を押して **[送信履歴]** または **[受信履歴]** を選択し、**OK**を押します。
- 5 ▼を押して項目を選択し、**OK**を押します。

- 6 項目の内容を確認したら、▶を押します。
- 7 [短縮ダイヤルリストへ登録] が選択されていることを確認し、Ⓚを押します。
- 8 [登録 / 編集する] P.115 の手順 4 ~ 11 を行います。
ファクス番号は自動的に入力されます。手動で入力する必要はありません。

削除する

- 1 操作パネルの < 設定 > ボタンを押します。
- 2 ▼を押して [電話帳] を選択し、Ⓚを押します。



- 3 [短縮ダイヤル] が選択されていることを確認し、Ⓚを押します。
- 4 ▼を押して削除する番号を選択し、Ⓚを押します。
- 5 ▼を押して [削除] を選択し、Ⓚを押します。
- 6 確認画面で◀または▶を押して [はい] を選択し、Ⓚを押します。

グループダイヤル（グループ番号）

最大 20 個のグループを作成し、グループ全体を短縮ダイヤル番号として登録できます。

登録 / 編集する

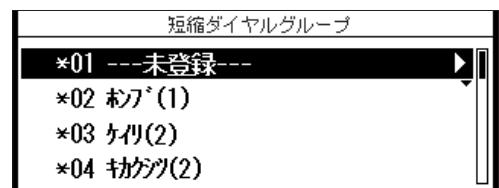
■参照

- テキストの入力方法については、「操作パネルを使用して文字を入力する」P.22 を参照してください。

- 1 操作パネルの < 設定 > ボタンを押します。
- 2 ▼を押して [電話帳] を選択し、Ⓚを押します。



- 3 ▼を押して [グループ番号] を選択し、Ⓚを押します。
- 4 ▼を押してグループ番号を選択し、Ⓚを押します。



- 5 [登録] が選択されていることを確認し、Ⓚを押します。
登録済みのグループ番号を編集する場合は、[編集] を選択します。
- 6 [名称] が選択されていることを確認し、▶を押します。
- 7 名前を入力します。
最大半角 16 文字まで入力できます。
- 8 [決定] を選択し、▶を押します。
- 9 ▼を押して [短縮ダイヤル] を選択し、▶を押します。
- 10 ▼を押して短縮ダイヤル番号 (001 ~ 300) を選択し、Ⓚを押します。
チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。
- 11 番号をすべて選択したら、▶を押します。

12 [宛先選択を完了] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。

13 **OK**を押します。

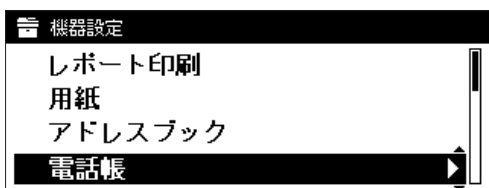
メモ

- [短縮ダイヤル] 機能からグループに登録した番号は、[グループ番号] 機能を使用してグループに登録した番号と同期されます。

削除する

1 操作パネルの **< 設定 >** ボタンを押します。

2 ▼を押して [電話帳] を選択し、**OK**を押します。



3 ▼を押して [グループ番号] を選択し、**OK**を押します。

4 ▼を押してグループ番号を選択し、**OK**を押します。

5 ▼を押して [削除] を選択し、**OK**を押します。

6 確認画面で◀または▶を押して [はい] を選択し、**OK**を押します。

メモ

- グループを削除しても、短縮ダイヤル番号として登録されている番号は削除されません。

電話帳を検索する

電話帳の検索には、テンキーを使う方法とソフトキーボードを使う場合があります。

テンキーを使ってカナ検索する

- 1 操作パネルの **< 設定 >** ボタンを押します。
- 2 ▼を押して [電話帳] を選択し、**OK**を押します。
- 3 ▼を押して [短縮ダイヤル] または [グループ番号] を選択し、**OK**を押します。
- 4 検索したい名前の頭文字のローマ字をテンキーから入力し、▼を押して検索します。

メモ

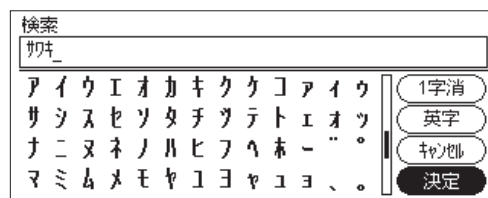
- 「サ」行を検索する場合、アルファベットの「s」を入力するために、⑦キーを4回押します。テンキーの使用方法は「テンキーの使用」P.23を参照してください。

該当するものを表示します。

ソフトキーボードを使ってカナ検索する

- 1 操作パネルの **< 設定 >** ボタンを押します。
- 2 ▼を押して [電話帳] を選択し、**OK**を押します。
- 3 ▼を押して [短縮ダイヤル] または [グループ番号] を選択し、**OK**を押します。
- 4 ▶を押します。
- 5 ▼を押して [検索] を選択し、**OK**を押します。
- 6 ソフトキーボードが表示されるので、▲、▼、◀、▶を使い、検索したい名前をカナ入力します。

該当するものを表示します。



ワンタッチボタンを使用する

ワンタッチボタンには短縮ダイヤル番号001～016が自動的に登録されます。

● インターネットファクス機能の基本操作

この節では、インターネットファクス送信の基本操作について説明します。

インターネットファクス機能を使用すると、ファクスデータは TIFF ファイルに変換され、Eメールの添付ファイルとして送信されます。データは、読み取りが終了するとすぐに送信され、メモリーには保存されません。宛先には、Eメールアドレスのみ、指定可能です。

メモ

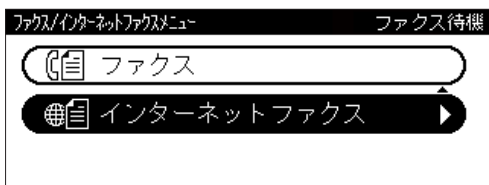
- 自動原稿送り装置 (ADF) にセットできる原稿のサイズは、A4/レター/リーガル、原稿ガラスにセットできる原稿のサイズは、A4/レターのみです。サイズが異なる原稿を一緒に使用することはできません。
- 相手先で使用している機械によっては、インターネットファクス機能で送信する原稿データが正しく印刷されないことがあります。
- インターネットファクス機能の詳細設定は、スキャン To メール機能の設定と同じです。詳しくは、沖データホームページの活用マニュアルをご覧ください。

参照

- インターネットファクス機能を使用する前に、サーバーの設定を行う必要があります。サーバーの設定については、「スキャン Toメールの初期設定」の「手順 2 本機の Eメール設定を行う」P.78 を参照してください。

インターネットファクスを送信する

- 1 操作パネルの<ファクス>ボタンを押します。
- 2 原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または、原稿ガラスにセットします。
- 3 ▼を押して [インターネットファクス] を選択し、OKを押します。

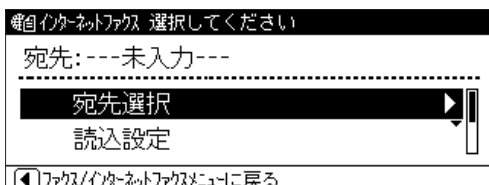


- 4 必要に応じて、読込設定を行います。

参照

- 沖データホームページの活用マニュアル

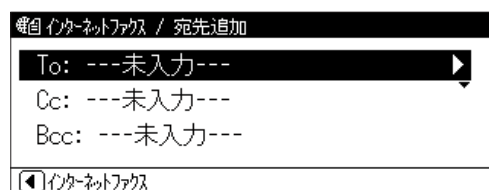
- 5 [宛先選択] が選択されていることを確認し、OKを押します。



メモ

- ここではワンタッチボタンを使って宛先を追加することができます。宛先は [To] に追加されます。続けてワンタッチボタンで複数宛先を追加できます。

- 6 [To] が選択されていることを確認し、OKを押します。
[Cc] または [Bcc] を選択する場合は、▼を押し、OKを押してください。



- 7 宛先の Eメールアドレスを指定します。
- 宛先は、直接入力、アドレスブック、グループリスト、送信履歴、LDAP 検索のいずれかの方法で指定します。

参照

- 「宛先を指定する」P.108

- 8 モノクロボタンを押して、送信を始めます。
原稿ガラスを使用して複数の原稿を読み取りたいときは、継続読取モードを有効にします。

参照

- 「継続読取モードを有効にする (継続読取)」P.104

参照

- 自動原稿送り装置 (ADF) または原稿ガラスに原稿をセットする方法については、「原稿のセットのしかた」P.39 を参照してください。

宛先を指定する

宛先は、以下の 5 つの方法で指定できます。

- アドレスブックを使用する
- グループリストを使用する
- 送信履歴を使用する
- 直接入力する

● LDAP 検索を使用する

前述の「インターネットファクスを送信する」P.118 の手順 7 で、以下のいずれかの操作を行います。

アドレスブックまたはグループリストを使用する

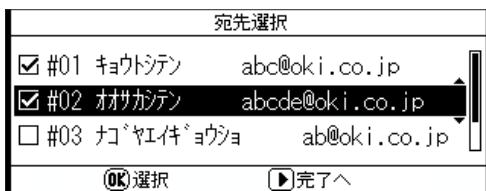
アドレスブックやグループリストから宛先を選択できます。あらかじめ、宛先をアドレスブックやグループリストに登録しておく必要があります。

 参照

- E メールアドレスをアドレスブックやグループリストに追加する方法については、「E メールアドレスを登録・編集する (アドレスブックの使い方)」P.137 を参照してください。

- 1 ▼を押して [アドレスブック] または [グループリスト] を選択し、**OK**を押します。
- 2 ▼を押して、送信先の宛先またはグループを選択し、**OK**を押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。


 メモ

- 宛先を相手先名でカナ検索する場合は、相手先名をローマ字に読み替え、テンキーからアルファベットを入力すると、該当する宛先を表示します。
- ソフトキーボードを使って相手先をカナ検索する場合は、「アドレスブックを検索する」P.138 を参照してください。

- 3 宛先をすべて選択したら、▶を押します。
- 4 [宛先選択を完了] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 5 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

送信履歴を使用する

送信履歴から宛先を選択できます。

 注

- 送信履歴には、直接入力で送信した宛先のみ表示されます。

- 1 ▼を押して [送信履歴] を選択し、**OK**を押します。

- 2 ▼を押して宛先を選択し、**OK**を押します。
チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。



- 3 宛先をすべて選択したら、▶を押します。
- 4 [宛先選択を完了] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 5 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

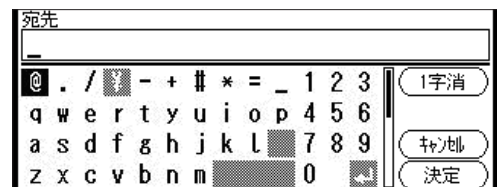
直接入力する

宛先は直接入力できます。

 参照

- テキストの入力方法については、「操作パネルを使用して文字を入力する」P.22 を参照してください。

- 1 ▼を押して [直接入力] を選択し、**OK**を押します。
- 2 E メールアドレスを入力します。
最大半角 80 文字まで入力できます。



- 3 [決定] を選択し、**OK**を押します。
- 4 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

LDAP 検索を使用する

LDAP サーバーのリストから宛先を検索できます。

検索方法は、[単純検索] と [詳細検索] を選択できます。

[単純検索] は 1 つのキーワードのみ、ユーザー名として検索します。また、単純検索ではユーザー名に含まれる文字列のみを検索します。E メールアドレスに含まれる文字列は検索されません。

[詳細検索] では、検索条件を選択して、指定したキーワードをすべて含む項目のみを検索することもできます。ユーザー名としての検索キーワードと、E メールアドレスとしての検索キーワードを指定できます。

 参照

- LDAP サーバーの設定については、沖データホームページの活用マニュアルをご覧ください。

■ 単純検索の場合

- ▼を押して [LDAP] を選択し、**OK**を押します。
- [単純検索] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- LDAP サーバー内のユーザー名を検索するキーワードを入力します。
- [決定] を選択し、**OK**を押して検索を開始します。



- 検索結果が表示されたら、▼を押して宛先を選択し、**OK**を押します。
チェックボックスにチェックが入ります。複数のアドレスを選択できます。
- 宛先をすべて選択したら、▶を押します。
- [宛先選択を完了] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- ◀を押して、スタート画面に戻ります。

■ 詳細検索の場合

- ▼を押して [LDAP] を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して [詳細検索] を選択し、**OK**を押します。
- [検索方法] が選択されていることを確認し、▶を押します。
- [OR] または [AND] を選択し、**OK**を押します。



- [OR] を選択した場合は、[ユーザ名] としての検索キーワードと [E メールアドレス] としての検索キーワードのどちらかを含む宛先を検索します。
- [AND] を選択した場合は、[ユーザ名] としての検索キーワードと [E メールアドレス] としての検索キーワードの両方を含む宛先を検索します。

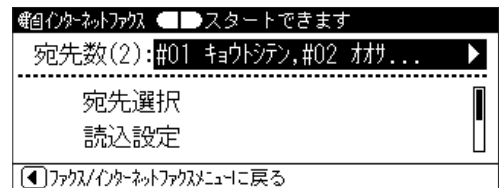
- ▼を押して [ユーザ名] を選択し、▶を押します。
- 検索するキーワードを入力します。
- [決定] を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して [E メールアドレス] を選択し、▶を押します。

- 検索するキーワードを入力します。
- [決定] を選択し、**OK**を押します。
- OK**を押して検索を開始します。
- 検索結果が表示されたら、▼を押して宛先を選択し、**OK**を押します。
チェックボックスにチェックが入ります。複数のアドレスを選択できます。
- 宛先をすべて選択したら、▶を押します。
- [宛先選択を完了] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- ◀を押して、スタート画面に戻ります。

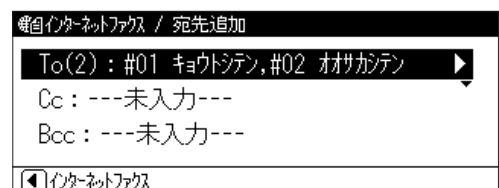
宛先を確認、削除、変更する

宛先を確認する

- スタート画面で、▲を押して指定した宛先を選択し、**OK**を押します。



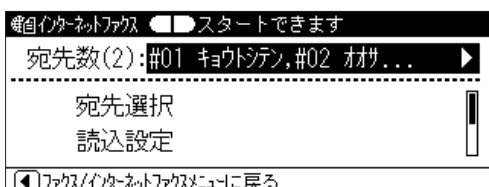
- ▼を押して確認する宛先タイプを選択し、**OK**を押します。
宛先タイプには、To、Cc、Bcc があります。



- 宛先を確認したら、▶を押します。
- [一覧を閉じる] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。

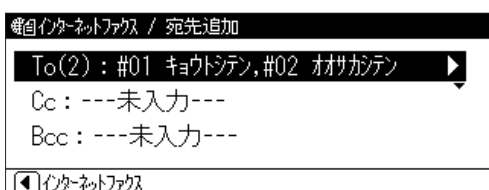
宛先を削除する

- 1 スタート画面で、▲を押して指定した宛先を選択し、Ⓚを押します。



- 2 ▼を押して削除する宛先が含まれる宛先タイプを選択し、Ⓚを押します。

宛先タイプには、To、Cc、Bccがあります。



- 3 ▼を押して削除する宛先を選択し、Ⓚを押します。

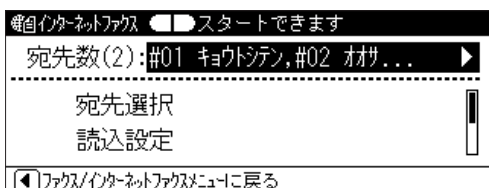
チェックボックスにチェックが入ります。複数の宛先を選択できます。

- 4 削除する宛先をすべて選択したら、▶を押します。

- 5 ▼を押して【宛先から削除】を選択し、Ⓚを押します。

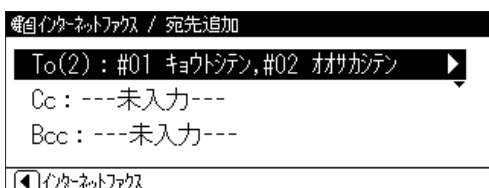
宛先タイプを変更する

- 1 スタート画面で、▲を押して指定した宛先を選択し、Ⓚを押します。



- 2 ▼を押して変更する宛先が含まれる宛先タイプを選択し、Ⓚを押します。

宛先タイプには、To、Cc、Bccがあります。



- 3 ▼を押して変更する宛先を選択し、Ⓚを押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の宛先を選択できます。

- 4 変更する宛先をすべて選択したら、▶を押します。

- 5 【宛先種別を変更】が選択されていることを確認し、Ⓚを押します。

- 6 ▼を押して [To]、[Cc]、[Bcc] から宛先タイプを選択し、Ⓚを押します。

送信を中止する

原稿読み取り中のメッセージが表示されている間は、送信を中止できます。

- 1 操作パネルの<ストップ>ボタンを押して、送信を中止します。

インターネットファクスを受信する

受信したインターネットファクスは自動的に印刷されます。原稿が A4 サイズより大きいときは、指定した用紙トレイにセットされている用紙のサイズに合わせて自動的に縮小されます。

参照

- インターネットファクスを受信するためには、あらかじめ Eメールの受信設定をしておく必要があります。詳しくは、沖データホームページの活用マニュアルをご覧ください。

9 スキャナーとして使うとき

この章では、スキャン機能の基本操作と設定について説明します。

● スキャナードライバー（TWAIN/WIA/ICA ドライバー）をインストールする

この節では、スキャナードライバーのインストール手順について説明します。スキャン機能を使用する前に、スキャナードライバーをインストールします。Windows の場合は、TWAIN ドライバーと WIA ドライバーを同時にインストールできます。Macintosh の場合は、ICA ドライバーをインストールできます。

ネットワークスキャン機能を使用する場合は、以下の手順でお使いのパソコンの情報を登録してスキャナードライバーをインストールします。

メモ

- Windows でネットワークスキャン機能を使用する場合は、ActKey ユーティリティをインストールしてください。

参照

- 次の手順を行う前に、必ずネットワーク接続を設定してください。詳しくは、「[ネットワーク接続](#)」P.48 を参照してください。

注

- Windows でネットワーク接続でスキャナーを使用している場合、装置の IP アドレスが変わりましたら、Network Configuration で設定を変更してください。詳しくは、[沖データホームページの活用マニュアル](#)をご覧ください。

スキャナードライバーをインストールする前に

Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008 でスキャナードライバーを使用する場合

OS の機能追加でデスクトップ エクスペリエンス (WIA サービス) をインストールする必要があります。

以下の手順でサービスを追加してください。

■ Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012 の場合

- 1 タスクバーの [サーバーマネージャー] アイコンをクリックします。
- 2 [役割と機能の追加] をクリックします。
- 3 [役割と機能の追加] ウィザードの [機能の選択] で [ユーザーインターフェイスとインフラストラクチャ] > [デスクトップエクスペリエンス] をインストールします。完了後、パソコンを再起動します。

■ Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合

- 1 [スタート] > [コントロールパネル] をクリックします。
- 2 [Windows の機能の有効化または無効化] をクリックします。
- 3 [サーバーマネージャー] > [機能] で [機能の追加] をクリックします。
- 4 [デスクトップ エクスペリエンス] を選択しインストールを実行します。完了後、パソコンを再起動します。

WIA ドライバーを使用する場合

WIA ドライバーを使用する場合 Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008 では、標準で WIA サービスが停止されていることがあります。

WIA ドライバーを使用する場合は、以下の手順で WIA サービスを開始してください。

- 1 [スタート] > [管理ツール] (または [コントロールパネル] > [管理ツール]) をクリックします。
- 2 [サービス] を実行します。

- 3 [Windows Image Acquisition(WIA)] を右クリックして、[プロパティ] を選択します。
- 4 [スタートアップの種類] で [自動] を選択し、[適用] をクリックします。
- 5 [サービスの状態] で [開始] を選択し、[OK] をクリックします。

インストール手順



- Windows でネットワークスキャン機能を使用する場合は、ActKey をインストールしてください。Mac OS X の場合は、ネットワークスキャナー設定ツールが自動的にインストールされます。

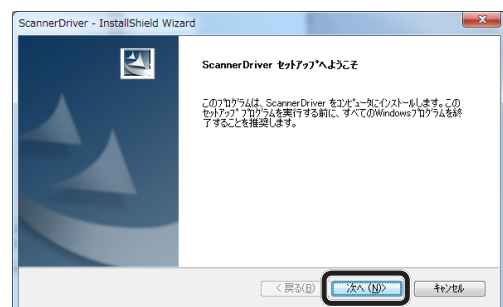
Windows の場合

- 1 本機とパソコンが接続され、電源が入っていることを確認し、「ソフトウェア DVD-ROM」をパソコンに挿入します。
- 2 [自動再生] が表示されたら、[setup.exe の実行] をクリックします。
[ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示されたら、[はい] をクリックします。
- 3 プルダウンメニューから言語を選択します。
- 4 使用許諾契約を読んで、[同意する] をクリックします。
- 5 [環境についてのアドバイス] を読み、[次に進む] をクリックします。
- 6 パソコンと本機の接続方法に従って [ネットワーク] または [USB] を選択し、[次に進む] をクリックします。
[Windows セキュリティの重要な警告] ダイアログが表示された場合は、[アクセスを許可する] をクリックします。
- 7 本機の機種名を選択し、[次に進む] をクリックします。
- 8 [カスタムインストール] をクリックします。

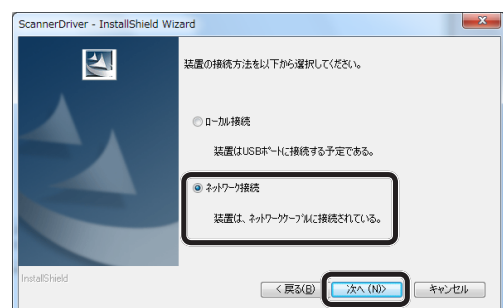
- 9 [個別にインストールする] を選択し、[スキャナードライバー] をクリックします。



- 10 [次へ] をクリックします。



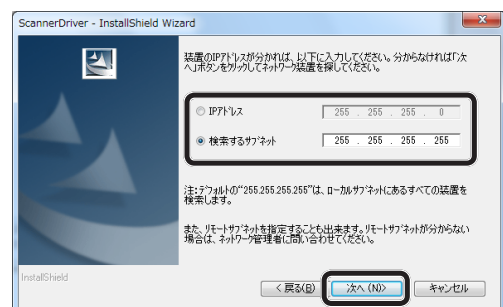
- 11 パソコンと本機がネットワークで接続されている場合は、[ネットワーク接続] にチェックをつけ [次へ] をクリックします。



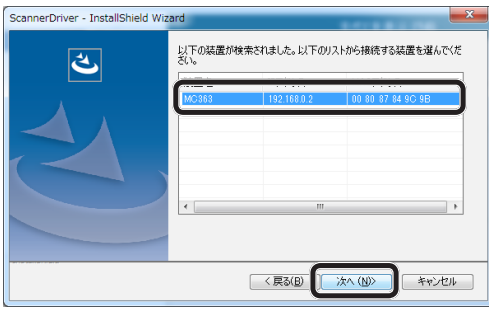
USB 接続の場合は、[ローカル接続] にチェックをつけ [次へ] をクリックし、手順 17 に進みます。

- 12 [IP アドレス] にチェックをつけて本機のアドレスを入力するか、または [検索するサブネット] にチェックをつけ、[次へ] をクリックします。

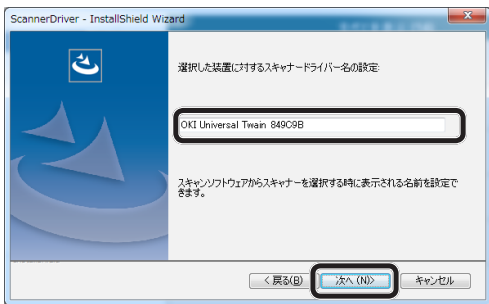
[IP アドレス] を指定した場合は、手順 14 に進みます。



13 [検索するサブネット] を選択した場合は、本機を選択し、[次へ] をクリックします。



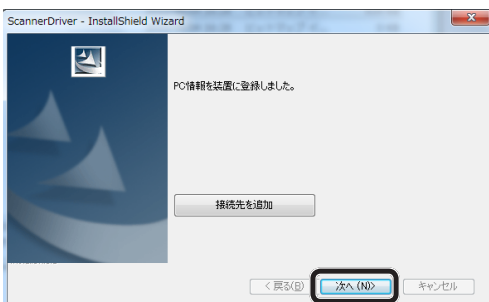
14 スキャナードライバー名を設定し、[次へ] をクリックします。



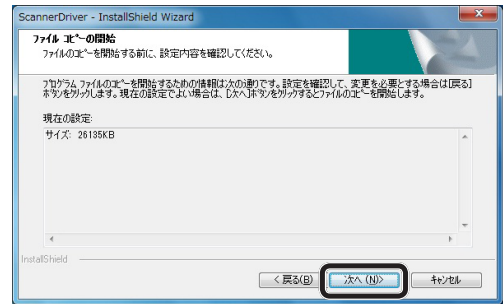
15 ホスト名、IP アドレス、ポート番号を確認し、[登録] をクリックします。



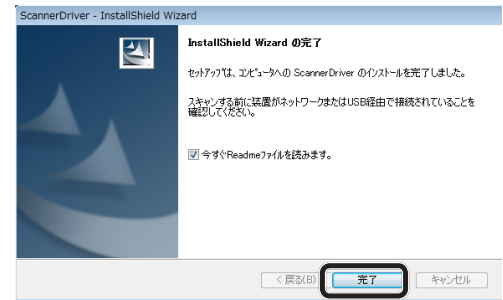
16 [次へ] をクリックします。



17 [次へ] をクリックします。

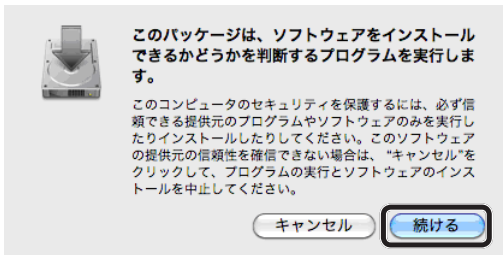


18 [完了] をクリックします。



Mac OS X の場合

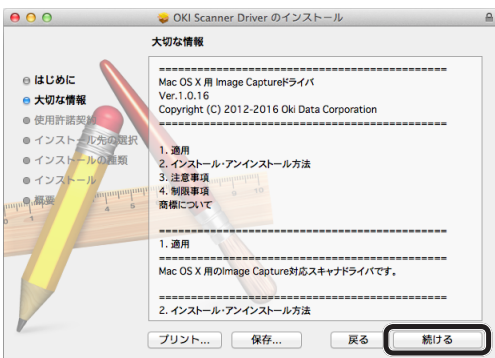
- 1 本機とパソコンが接続され、電源が入っていることを確認し、「ソフトウェア DVD-ROM」をパソコンに挿入します。
- 2 デスクトップの [OKI] アイコンをダブルクリックします。
- 3 [Drivers] > [Scanner] > [Installer for OSX] をダブルクリックします。
- 4 [続ける] をクリックします。



- 5 [続ける] をクリックします。



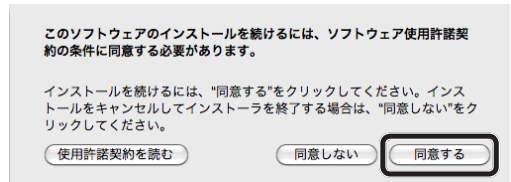
- 6 表示された内容を確認し、[続ける] をクリックします。



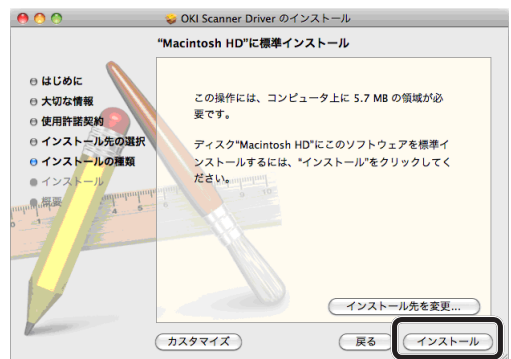
- 7 使用許諾契約を読み、[続ける] をクリックします。



- 8 [同意する] をクリックします。

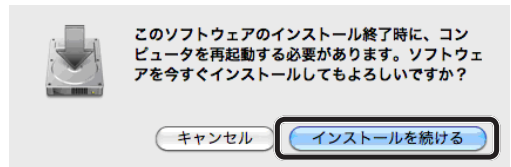


- 9 [インストール] をクリックします。
ドライバーのインストール先を変更する場合は、[インストール先を変更] をクリックします。



- 10 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

- 11 [インストールを続ける] をクリックします。



12 [再起動] をクリックします。



- 13 再起動後、[移動]メニューから[アプリケーション] > [OKIDATA] > [Scanner] > [ネットワークスキャナ設定ツール] を選択します。
- 14 [装置一覧] から本機を選択し、[登録] をクリックします。
- 15 必要に応じて、本機の送信先として表示される[名称]を編集し、[登録] をクリックします。
- 16 確認メッセージで[OK] をクリックします。
- 17 [OK] をクリックしてネットワークスキャナ設定ツールを閉じます。

ActKey を使う

ActKey を使用すると、ボタンをクリックするだけで、指定した設定どおりに読み取りを始めることができます。

メモ

- ActKey は、Mac OS X には対応していません。
- ActKey をインストールすると、Network Configuration も同時にインストールされます。Network Configuration については、沖データホームページの活用マニュアルをご覧ください。

参照

- 読み取りを始める方法については、「[スキャンする](#)」P.128 を参照してください。

ソフトウェアをインストールする

- 1 本機とパソコンが接続され、電源が入っていることを確認し、「ソフトウェア DVD-ROM」をパソコンに挿入します。
- 2 [自動再生] が表示されたら、[setup.exe の実行] をクリックします。
[ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示されたら、[はい] をクリックします。

- 3 プルダウンメニューから言語を選択します。
- 4 使用許諾契約を読んで、[同意する] をクリックします。
- 5 [環境についてのアドバイス] を読み、[次に進む] をクリックします。
- 6 パソコンと本機の接続方法に従って [ネットワーク] または [USB] を選択し、[次に進む] をクリックします。
[Windows セキュリティの重要な警告] ダイアログが表示された場合は、[アクセスを許可する] をクリックします。
- 7 本機の機種名を選択し、[次に進む] をクリックします。
- 8 [カスタムインストール] をクリックします。
- 9 [個別にインストールする] を選択し、[ActKey] をクリックします。
- 10 指示に従って、ソフトウェアをインストールします。
- 11 [完了] をクリックします。

ソフトウェアを起動する

- 1 [スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] > [沖データ] > [ActKey (スキャン用ユーティリティ)] > [ActKey (スキャン用ユーティリティ)] を選択します。

● WSD スキャンをセットアップする

この節では、WSD スキャン機能を使用するために PC をセットアップする方法について説明します。WSD スキャン機能を使用するには、本機をパソコンにインストールしてください。

WSD スキャンは、ネットワークを経由してスキャン To パソコンとリモートスキャンから使用できます。

WSD スキャンを使用するには、ネットワークを経由して Windows 8/ Windows Vista/ Windows 7/ Windows Server 2012/ Windows Server 2008/ Windows Server 2008 R2 がインストールされているパソコンと本機が接続されている必要があります。

参照

- 次の手順を始める前に、必ずネットワーク接続を確認してください。詳しくは、「[ネットワーク接続](#)」P.48 を参照してください。

注

- WSD スキャンを経由してスキャナーが使用された場合および本機の IP アドレスが変更された場合は、インストール手順の手順 2 で [Uninstall] を選択し、スキャナーをアンインストールして、再度インストール手順を実行します。

インストール手順

メモ

- 下の手順を行うと、WIA がスキャナードライバーとして自動的にインストールされます。

注

- 本インストールを始める前に、コントロールパネルから [ネットワークと共有センター] を選択し、ネットワーク検索が有効になっていることを確認します。

- 1 [スタート]メニューから [コンピューター] を選択し、[ネットワーク] を選択します。
ネットワークに接続したデバイスが表示されます。
- 2 [多機能デバイス] 下の OKI MC x x x アイコンを右クリックし、[インストール] を選択します。
[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示されたら、[はい] をクリックします。
- 3 タスクバーにインストールが完了したことを示すバルーンメッセージが表示されたら、バルーンをクリックして詳細を確認し、[閉じる] をクリックします。
以下のように、本機のデバイスのインストールを確認してください。
- 4 操作パネルの <スキャン> ボタンを押します。
- 5 ▼を押して [パソコン] を選択し、**OK**を押します。
- 6 [接続先選択] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 7 ▼を押して [WSD Scan 接続 PC リストから選択] を選択し、**OK**を押します。

- 8 本機のインストール先のパソコンが送信先のパソコンとして表示されていることを確認してください。

メモ

- 最大 50 台までの PC が登録できます。

● スキャンする

この節では、スキャン機能の基本操作について説明します。スキャンモードでは、スキャン To メール、スキャン To USB メモリー、スキャン To 共有フォルダー、スキャン To パソコン、リモートスキャンの 5 つのスキャン機能を使用できます。各機能は、<スキャン> ボタンを押したあとで選択します。

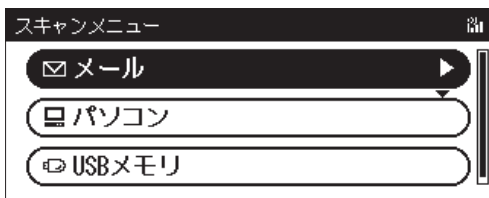
参照

- スキャン機能では、継続読取モードを使用できます。[継続読取] 機能については、「[継続読取モードを有効にする \(継続読取\)](#)」P.104 を参照してください。

スキャン To メール

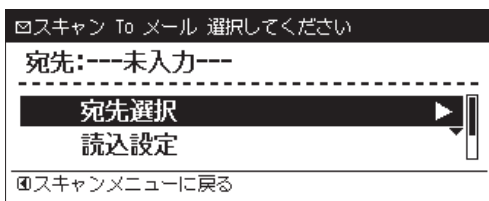
スキャンしたデータを E メールに添付できます。

- 1 操作パネルの<スキャン> ボタンを押します。
- 2 原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または、原稿ガラスにセットします。
- 3 [メール] が選択されていることを確認し、**OK** を押します。



メモ

- ここではワンタッチボタンを使って宛先を追加することができます。宛先は [To] に追加されます。続けてワンタッチボタンで複数宛先を追加できます。



- 4 [宛先選択] が選択されていることを確認し、**OK** を押します。
- 5 [To] が選択されていることを確認し、**OK** を押します。
[Cc] または [Bcc] を選択する場合は、▼ を押し、**OK** を押してください。
- 6 宛先を指定します。
宛先は、直接入力、アドレスブック、グループリスト、送信履歴、LDAP 検索のいずれかの方法で指定します。
- 7 **モノクロ** または **カラー** を押します。

宛先を指定する

宛先は、以下の 5 つの方法で指定できます。

- アドレスブックを使用する
- グループリストを使用する
- 送信履歴を使用する
- 直接入力する
- LDAP 検索を使用する

前述の「[スキャン To メール](#)」の手順 6 で、以下のいずれかの操作を行います。

■ アドレスブックまたはグループリストを使用する

アドレスブックやグループリストから宛先を選択できます。あらかじめ、宛先をアドレスブックやグループリストに登録しておく必要があります。

参照

- アドレスブックやグループリストの宛先登録方法については「[Eメールアドレスを登録・編集する \(アドレスブックの使い方\)](#)」P.137 を参照してください。

- 1 ▼ を押して [アドレスブック] または [グループリスト] を選択し、**OK** を押します。
- 2 ▼ を押して、送信先の宛先またはグループを選択し、**OK** を押します。
チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

メモ

- 宛先を相手先名で検索する場合は、相手先名をローマ字に読み替え、テンキーからアルファベットを入力すると、該当する宛先を表示します。
- ソフトキーボードを使って相手先を検索する場合は、「[アドレスブックを検索する](#)」P.138 を参照してください。

- 3 宛先をすべて選択したら、▶ を押します。
- 4 [宛先選択を完了] が選択されていることを確認し、**OK** を押します。
- 5 ◀ を押して、スタート画面に戻ります。

■ 送信履歴を使用する

送信履歴から宛先を選択できます。

- ▼を押して[送信履歴]を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して宛先を選択し、**OK**を押します。
チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。
- 宛先をすべて選択したら、▶を押します。
- [宛先選択を完了]が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- ◀を押して、スタート画面に戻ります。

■ 直接入力する

宛先を操作パネルから直接入力します。

- ▼を押して[直接入力]を選択し、**OK**を押します。
- Eメールアドレスを入力します。[決定]を選択し、**OK**を押します。
最大半角 80 文字まで入力できます。

参照

- テキストの入力方法については、「操作パネルを使用して文字を入力する」P.22 を参照してください。

- [決定]を選択し、**OK**を押します。
- ◀を押して、スタート画面に戻ります。

■ LDAP 検索を使用する

LDAP サーバーのリストから宛先を検索して、指定します。

検索方法は、[単純検索]と[詳細検索]を選択できます。

[単純検索]は1つのキーワードのみ、ユーザー名として検索します。また、単純検索ではユーザー名に含まれる文字列のみを検索します。Eメールアドレスに含まれる文字列は検索されません。

[詳細検索]では、検索条件を選択して、指定したキーワードをすべて含む項目のみを検索することもできます。ユーザー名としての検索キーワードと、Eメールアドレスとしての検索キーワードを指定できます。

参照

- LDAP サーバーの設定については、沖データホームページの活用マニュアルをご覧ください。

□ 単純検索の場合

- ▼を押して[LDAP]を選択し、**OK**を押します。
- [単純検索]が選択されていることを確認し、**OK**を押します。

- LDAP サーバー内のユーザー名を検索するキーワードを入力します。
- [決定]を選択し、**OK**を押して検索を開始します。
- 検索結果が表示されたら、▼を押して宛先を選択し、**OK**を押します。
チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。
- 宛先をすべて選択したら、▶を押します。
- [宛先選択を完了]が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- ◀を押して、スタート画面に戻ります。

□ 詳細検索の場合

- ▼を押して[LDAP]を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して[詳細検索]を選択し、**OK**を押します。
- [検索方法]が選択されていることを確認し、▶を押します。
- [OR]または[AND]を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して[ユーザ名]を選択し、▶を押します。
- 検索するキーワードを入力します。
- [決定]を選択し、**OK**を押します。
- ▼を押して[Eメールアドレス]を選択し、▶を押します。
- 検索するキーワードを入力します。
- [決定]を選択し、**OK**を押します。
- OK**を押して検索を開始します。
- 検索結果が表示されたら、▼を押して宛先を選択し、**OK**を押します。
チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。
- 宛先をすべて選択したら、▶を押します。
- [宛先選択を完了]が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- ◀を押して、スタート画面に戻ります。

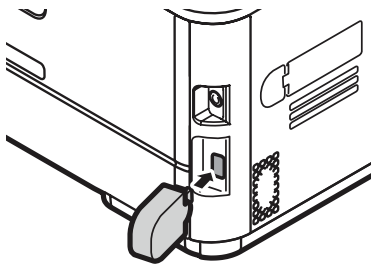
スキャン To USB メモリー

スキャンしたデータを、USB メモリーに保存できます。

参照

- 使用できる USB メモリーの仕様については、「ユーザーズ マニュアル 困ったときにはと日々のメンテナンス編」を参照してください。

- 1 操作パネルの<スキャン>ボタンを押します。
- 2 原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または、原稿ガラスにセットします。
- 3 USB メモリーを、本機の USB ポートに差し込みます。





注

- USB メモリーは、USB ポートにまっすぐ差し込みます。正しい角度で挿入しないと、USB ポートを傷つけることがあります。

- 4 ▼を押して [USB メモリ] を選択し、OKを押します。



- 5 ▼を押して必要に応じて読み取り設定をします。
- 6  または  を押します。
- 7 USB メモリーを安全に取り外しできることを示すメッセージが表示されたら、USB メモリーを取り外します。

スキャン To 共有フォルダー

スキャンしたデータをネットワーク上のサーバーに送信できます。

スキャンしたデータは、PDF、JPEG、TIFF、XPS ファイルに変換されます。工場出荷時の設定は PDF です。

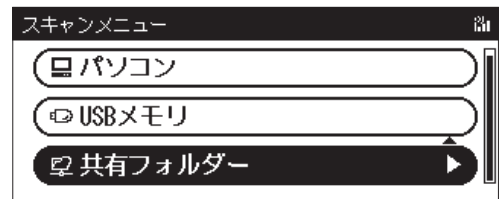
注



- 本機がネットワークに接続されていることを確認してください。
- あらかじめスキャン To 共有フォルダーのセットアップをしておく必要があります。

参照

- スキャン To 共有フォルダーのセットアップについては、「スキャン To 共有フォルダーの初期設定」の「手順 2 パソコンと本機をスキャン To 共有フォルダー用に設定する」P.83 を参照してください。



- 1 操作パネルの<スキャン>ボタンを押します。
- 2 原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または、原稿ガラスにセットします。
- 3 ▼を押して [共有フォルダー] を選択し、OKを押します。



- 4 [プロファイル選択] が選択されていることを確認し、OKを押します。
- 5 ▼を押してプロファイルを選択し、OKを押します。
- 6  または  を押します。

スキャン To パソコン

スキャンしたデータを、パソコンに保存できます。

 または  を押すと、読み取りジョブが始まり、ActKey ユーティリティと TWAIN ドライバーが自動的に起動します。読み取った原稿は、指定したアプリケーションに送信するか、指定したフォルダーに保存するか、ファクスで送信できます。

WSD スキャン接続では、開始するアプリケーションや、各受信者への原稿を送信または保存する場所を設定できます。

本機とパソコンは、USB またはネットワークで接続できますが、同時に接続できるのは、1 台のパソコンです。

Mac OS X をお使いのときは、イメージキャプチャと ICA ドライバーが自動的に起動します。読み取った原稿は、指定したフォルダーに保存できます。

注


- USB またはネットワークのどちらかを使用して、本機をパソコンに接続します。
- パソコンへの読み取りを行う前に、ActKey とスキャナードライバーをインストールします。
- 本機をネットワークに接続するときは、以下の設定をします。
 - 本機の [TCP/IP] 設定を [有効] に設定します。
 - 本機の IP バージョンとパソコンの IP バージョンを一致させます。
 - DNS サーバーを設定します。
 - Network TWAIN 機能を有効にします。
- Mac OS X をお使いの場合、フラットベッドスキャナーに設定された原稿を A4 サイズ固定でのみ読み取ることができます。
- Mac OS X をお使いの場合、ファイルを JPEG 形式でのみ保存可能です。
- 本機を WSD スキャン接続で利用するときは、以下の設定をします。
 - 本機の [TCP/IP] 設定を [有効] に設定します。
 - 本機の IP バージョンとパソコンの IP バージョンを一致させます。
 - WSD スキャン機能を有効にします。
 - PC 上で本機をインストールします。

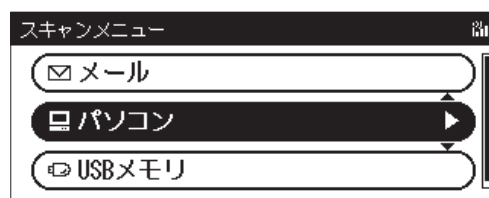
参照





- Network TWAIN 機能を有効にする方法については、活用マニュアル*を参照してください。
- ActKey ユーティリティのインストール方法については、活用マニュアル*を参照してください。
- WSD スキャン機能を有効にする方法については、活用マニュアル*を参照してください。
- PC 上で本機をインストールする方法については、[\[WSD スキャンをセットアップする\] P.127](#) を参照してください。

* 沖データホームページに掲載しています。

■ USB 接続の場合

- 1 操作パネルの<スキャン> ボタンを押します。
- 2 原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または、原稿ガラスにセットします。
- 3 ▼を押して [パソコン] を選択し、を押します。
Network TWAIN 機能を [オフ] に設定している場合は、手順 6 に進みます。



- 4 [接続先選択] が選択されていることを確認し、を押します。
- 5 ▼を押して [USB 接続 PC] を選択し、を押します。
- 6 ▼を押して [起動アプリ] を選択し、を押します。
- 7 ▼を押して、読み取った原稿の送信先を選択し、を押します。

選択可能な送信先

アプリケーション	フォルダ	PC-FAX

注


- Mac OS X をお使いのときはフォルダーのみ選択可能です。



- 8  または  を押します。

メモ

- [アプリケーション] を選択したときは、指定したアプリケーションが起動し、読み取った原稿がアプリケーションに表示されます。
- [フォルダ] を選択したときは、読み取った原稿が指定したフォルダーに保存されます。
- [PC-FAX] を選択したときは、ファクス送信アプリケーションが起動します。読み取った原稿を送信したあと、お使いのパソコンのファクス送信ソフトウェアでファクスを送信します。

■ ネットワーク接続の場合

- 1 操作パネルの<スキャン> ボタンを押します。
- 2 原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または、原稿ガラスにセットします。
- 3 ▼を押して [パソコン] を選択し、を押します。

- 4 [接続先選択] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 5 [ネットワーク接続 PC リストから選択] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 6 ▼を押して、接続先のパソコンを選択し、**OK**を押します。
- 7 ▼を押して [起動アプリ] を選択し、**OK**を押します。
- 8 ▼を押して、読み取った原稿の送信先を選択し、**OK**を押します。
- 9  または  を押します。

メモ

- [アプリケーション] を選択したときは、指定したアプリケーションが起動し、読み取った原稿がアプリケーションに表示されます。
- [フォルダ] を選択したときは、読み取った原稿が指定したフォルダーに保存されます。
- [PC-FAX] を選択したときは、ファクス送信アプリケーションが起動します。読み取った原稿を送信したあと、お使いのパソコンのファクス送信ソフトウェアでファクスを送信します。

WSD スキャン接続

- 1 操作パネルの<スキャン>ボタンを押します。
- 2 原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または、原稿ガラスにセットします。
- 3 ▼を押して [パソコン] を選択し、**OK**を押します。
- 4 [接続先選択] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 5 ▼を押して [WSD Scan 接続 PC リストから選択] を選択し、**OK**を押します。
- 6 ▼を押して送信先の PC を選択し、**OK**を押します。
- 7 ▼を押して [両面読取] を選択し、**OK**を押します。
- 8 ▲または▼を押して [オン] または [オフ] を選択し、**OK**を押します。

- 9 <モノクロスタート> ボタンまたは <カラースタート> ボタンを押します。

メモ

- 両面スキャンを開始するには、設定をオンにして自動原稿送り装置 (ADF) に原本をセットします。原稿をスキャナーガラスにセットした場合は、両面スキャンをオンにしても、原稿の両面をスキャンできません。
- PC でスキャナーアプリケーションを使用すると、原稿がセットされている場所や [両面読取] の設定にかかわらず、PC のスキャンプロファイル設定のスキャナーの種類でスキャンされます。

リモートスキャン

パソコンにインストールされているユーティリティー (ActKey、イメージキャプチャ、Adobe Photoshop など) を使ってスキャナードライバーを起動して、読み取りを行います。

本機とパソコンは、USB またはネットワークで接続 (WSD 接続を含む) されてる必要があります。

リモートスキャンには、シンプルスキャンモード、マニュアルスキャンモード、およびセキュアスキャンモードの3つのモードがあります。

シンプルスキャンモードの場合、本機が待機状態であればいつでも読み取りが開始できます。

マニュアルスキャンモードの場合、操作パネルでリモートスキャンモードにした後に読み取りが開始できるようになります。

セキュアスキャンモードの場合、指定したパソコン以外からの操作は実行できません。一度に1台のパソコンしか接続できません。

WSD スキャンでは、ネットワークを経由して、本機にすでに登録されているパソコンからのみスキャンを開始できます。

メモ

- 次の手順では、Windows では ActKey、Mac OS X ではイメージキャプチャを例にしています。お使いのアプリケーションによっては、本書の記載と異なる場合があります。

注

- USB またはネットワークのどちらかを使用して、本機をパソコンに接続します。
- 読み取りジョブを始める前に、アプリケーション (ActKey など) とスキャナードライバーをインストールします。
- 本機をネットワークに接続するときは、以下の設定をします。
 - [TCP/IP] 設定を [有効] に設定します。
 - 本機の IP バージョンとパソコンの IP バージョンを一致させます。
 - DNS サーバーを設定します。
 - Network TWAIN 機能を有効にします。
- セキュアスキャンモードの場合は、管理者があらかじめ操作パネル、または Web ページから、セキュアスキャンを実行するパソコンの情報登録をしておく必要があります。
- WSD スキャン接続で本機を操作するときは、以下の設定をします。
 - [TCP/IP] 設定を [有効] に設定します。
 - 本機の IP バージョンとパソコンの IP バージョンを一致させます。
 - WSD スキャン機能を有効に設定します。
 - PC 上で本機をインストールします。

参照

- スキャナードライバーのインストール方法については、「[スキャナードライバー \(TWAIN/WIA/ICA ドライバー\) をインストールする](#)」P.122 を参照してください。

シンプルスキャンモード

メモ

- スキャンの開始に失敗する場合は、操作パネルが操作中の状態になっていないか、ご確認ください。

Windows の場合

- パソコン上で ActKey を起動します。
スキャナー選択画面が表示された場合、USB 接続では「OKI Universal Twain USB」を、ネットワーク接続では「OKI Universal Twain (MAC アドレスの下6桁)」を選択して、[OK] をクリックします。
- スキャンボタンをクリックします。
読み取りが始まります。

スキャンボタン名

アプリケーション-1 フォルダに保存	アプリケーション-2 PC-Fax 送信
-----------------------	-------------------------

メモ

- [アプリケーション-1] または [アプリケーション-2] を選択したときは、指定したアプリケーションが起動し、読み取った原稿がアプリケーションに表示されます。
- [フォルダに保存] を選択したときは、読み取った原稿が指定したフォルダーに保存されます。
- [PC-Fax 送信] を選択したときは、ファクス送信アプリケーションが起動し、読み取った原稿がアプリケーションに送信されます。お使いのパソコンのファクス送信ソフトウェアでファクスを送信します。

Mac OS X の場合

- パソコンでイメージキャプチャを起動します。
- イメージキャプチャ画面左側の一覧から本機を選択します。
- [スキャン] をクリックします。
読み取りが始まります。
- [イメージキャプチャ] から [イメージキャプチャを終了] を選択します。

WSD スキャンの場合

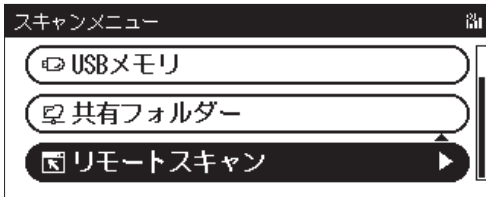
Windows の場合

- PC で任意のスキャンプログラム (「Windows FAX とスキャン」など) を開始します。
- スキャンボタンをクリックします。
読み取りが始まります。

マニュアルスキャンモード

■ Windows の場合

- 1 操作パネルの<スキャン>ボタンを押します。
- 2 原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または、原稿ガラスにセットします。
- 3 ▼を押して [リモートスキャン] を選択し、**OK**を押します。



- 4 [TWAIN] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 5 パソコン上で ActKey を起動します。
スキャナー選択画面が表示された場合、USB 接続では [OKI Universal Twain USB] を、ネットワーク接続では [OKI Universal Twain (MAC アドレスの下6桁)] を選択して、[OK] をクリックします。
- 6 スキャンボタンをクリックします。
読み取りが始まります。

スキャンボタン名

アプリケーション-1	アプリケーション-2
フォルダに保存	PC-Fax 送信

メモ

- [アプリケーション-1] または [アプリケーション-2] を選択したときは、指定したアプリケーションが起動し、読み取った原稿がアプリケーションに表示されます。
- [フォルダに保存] を選択したときは、読み取った原稿が指定したフォルダーに保存されます。
- [PC-Fax 送信] を選択したときは、ファクス送信アプリケーションが起動し、読み取った原稿がアプリケーションに送信されます。お使いのパソコンのファクス送信ソフトウェアでファクスを送信します。

■ Mac OS X の場合

- 1 操作パネルの<スキャン>ボタンを押します。
- 2 原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または、原稿ガラスにセットします。
- 3 ▼を押して [リモートスキャン] を選択し、**OK**を押します。
- 4 [TWAIN] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。

- 5 パソコンでイメージキャプチャを起動します。
- 6 イメージキャプチャ画面左側の一覧から本機を選択します。
- 7 [スキャン] をクリックします。
読み取りが始まります。
- 8 [イメージキャプチャ] から [イメージキャプチャを終了] を選択します。



■ WSD スキャンの場合

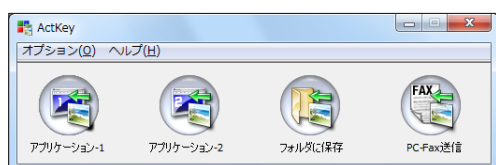
□ Windows の場合

- 1 操作パネルの<スキャン>ボタンを押します。
- 2 原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または、原稿ガラスにセットします。
- 3 ▼を押して [リモートスキャン] を選択し、**OK**を押します。
- 4 ▼を押して [WSD Scan] を選択し、**OK**を押します。
- 5 PC で任意のスキャンプログラム ([Windows FAX とスキャン] など) を開始します。
- 6 スキャンボタンをクリックします。
読み取りが始まります。

セキュアスキャンモード（ネットワーク接続）



■ Windows の場合

- 1 操作パネルの<スキャン>ボタンを押します。
- 2 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。
- 3 ▼を押して [リモートスキャン] を選択し、**OK**を押します。
- 4 [TWAIN] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 5 [接続先選択] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 6 [ネットワーク接続 PC リストから選択] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 7 ▼を押して、接続先のパソコンを選択し、**OK**を押します。
- 8  または  を押します。
- 9 パソコン上で ActKey を起動します。
スキャナー選択画面が表示された場合 [OKI Universal Twain (MAC アドレスの下 6 桁)] を選択して、[OK] をクリックします。
- 10 スキャンボタンをクリックします。



■ Mac OS X の場合

- 1 操作パネルの<スキャン>ボタンを押します。
- 2 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。
- 3 ▼を押して [リモートスキャン] を選択し、**OK**を押します。
- 4 [TWAIN] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 5 [接続先選択] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 6 [ネットワーク接続 PC リストから選択] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。

- 7 ▼を押して、接続先のパソコンを選択し、**OK**を押します。
- 8  または  を押します。
- 9 パソコンでイメージキャプチャを起動します。
- 10 イメージキャプチャ画面左側の一覧から本機を選択します。
- 11 [スキャン] をクリックします。
読み取りが始まります。
- 12 [イメージキャプチャ] から [イメージキャプチャを終了] を選択します。



■ WSD スキャンの場合

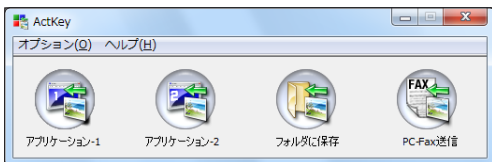
□ Windows の場合

- 1 操作パネルの<スキャン>ボタンを押します。
- 2 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。
- 3 ▼を押して [リモートスキャン] を選択し、**OK**を押します。
- 4 ▼を押して [WSD Scan] を選択し、**OK**を押します。
- 5 PC で任意のスキャンプログラム（「Windows FAX とスキャン」など）を開始します。
- 6 スキャンボタンをクリックします。
読み取りが始まります。



セキュアスキャンモード (USB 接続)

■ Windows の場合

- 1 操作パネルの<スキャン>ボタンを押します。
- 2 原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または、原稿ガラスにセットします。
- 3 ▼を押して [リモートスキャン] を選択し、**OK**を押します。
- 4 [TWAIN] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 5 [接続先選択] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 6 ▼を押して [USB 接続 PC] を選択し、**OK**を押します。
- 7  または  を押します。
- 8 パソコン上で ActKey を起動します。
 スキャナー選択画面が表示された場合、[OKI Universal Twain USB] を選択して、[OK] をクリックします。
- 9 スキャンボタンをクリックします。



■ Mac OS X の場合

- 1 操作パネルの<スキャン>ボタンを押します。
- 2 原稿を自動原稿送り装置 (ADF) または、原稿ガラスにセットします。
- 3 ▼を押して [リモートスキャン] を選択し、**OK**を押します。
- 4 [TWAIN] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 5 [接続先選択] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 6 ▼を押して [USB 接続 PC] を選択し、**OK**を押します。
- 7  または  を押します。
- 8 パソコンでイメージキャプチャを起動します。
- 9 イメージキャプチャ画面左側の一覧から本機を選択します。
- 10 [スキャン] をクリックします。
読み取りが始まります。
- 11 [イメージキャプチャ] から [イメージキャプチャを終了] を選択します。

スキャンを中止する

原稿読み取り中のメッセージが表示されている間は、スキャンを中止できます。

- 1 操作パネルの<ストップ>ボタンを押します。
- ！注**
- スキャン To パソコンとリモートスキャンではキャンセルできません。

● E メールアドレスを登録・編集する (アドレスブックの使い方)

この節では、アドレスブック、グループリストの登録 / 削除方法について説明します。

E メールをアドレスブックに登録して、メッセージを同報送信するグループを作成できます。アドレスブックとグループリストは、スキャン To メール機能とインターネットファクス機能で宛先を指定するときに使用します。

アドレスブック

E メールアドレスをアドレスブックに最大 300 件登録できます。

登録 / 編集する



- テキストの入力方法については、「[操作パネルを使用して文字を入力する](#)」P.22 を参照してください。

- 1 操作パネルの <設定> ボタンを押します。
- 2 ▼を押して [アドレスブック] を選択し、Ⓚを押します。
- 3 [E メールアドレス] が選択されていることを確認し、Ⓚを押します。
- 4 ▼を押して番号を選択し、Ⓚを押します。
- 5 [登録] が選択されていることを確認し、Ⓚを押します。
登録済みのアドレスを編集する場合は「編集」を選択します。
- 6 必要に応じて、名前を指定します。
 - a [名前] が選択されていることを確認し、▶を押します。
 - b 名前を入力します。
最大半角 16 文字まで入力できます。
 - c [決定] を選択し、Ⓚを押します。
- 7 ▼を押して [E メールアドレス] を選択し、▶を押します。
- 8 E メールアドレスを入力し、Ⓚを押します。
最大半角 80 文字まで入力できます。
- 9 Ⓚを押します。

送信履歴から登録する

送信履歴からアドレスブックに、E メールアドレスを追加できます。



- 送信履歴には、直接入力で送信した宛先のみ表示されます。

- 1 操作パネルの <スキャン> ボタンを押します。
- 2 [メール] が選択されていることを確認し、Ⓚを押します。
- 3 ▼を押して [送信履歴] を選択し、Ⓚを押します。
- 4 ▼を押して E メールアドレスを選択し、▶を押します。
- 5 [アドレスブックへ登録] が選択されていることを確認し、Ⓚを押します。
- 6 「登録 / 編集する」の手順 4 ~ 9 を繰り返します。
E メールアドレスは自動的に入力されます。手動で入力する必要はありません。

削除する

- 1 操作パネルの <設定> ボタンを押します。
- 2 ▼を押して [アドレスブック] を選択し、Ⓚを押します。
- 3 [E メールアドレス] が選択されていることを確認し、Ⓚを押します。
- 4 ▼を押して削除する E メールアドレスを選択し、Ⓚを押します。
- 5 ▼を押して [削除] を選択し、Ⓚを押します。
- 6 確認画面で◀または▶を押して [はい] を選択し、Ⓚを押します。

グループリスト

E メールアドレスのグループを最大 20 個作成できません。

登録 / 編集する



- テキストの入力方法については、「[操作パネルを使用して文字を入力する](#)」P.22 を参照してください。

- 1 操作パネルの **< 設定 >** ボタンを押します。
- 2 ▼を押して **[アドレスブック]** を選択し、**(OK)** を押します。
- 3 ▼を押して **[E メールグループ]** を選択し、**(OK)** を押します。
- 4 ▼を押してグループ番号を選択し、**(OK)** を押します。
- 5 **[登録]** が選択されていることを確認し、**(OK)** を押します。
登録済みのグループ番号を編集する場合は「**編集**」を選択します。
- 6 **[名称]** が選択されていることを確認し、▶を押します。
- 7 名前を入力します。
最大半角 16 文字まで入力できます。
- 8 **[決定]** を選択し、**(OK)** を押します。
- 9 ▼を押して **[アドレス番号]** を選択し、▶を押します。
- 10 ▼を押して、アドレスブックから E メールアドレスを選択し、**(OK)** を押します。
チェックボックスにチェックが入ります。複数の E メールアドレスを選択できます。
- 11 E メールアドレスをすべて選択し、▶を押します。
- 12 **[宛先選択を完了]** を選択し、**(OK)** を押します。
- 13 **(OK)** を押します。



- また、**[E メールアドレス]** の **[グループ番号]** から E メールグループを登録することもできます。

削除する

- 1 操作パネルの **< 設定 >** ボタンを押します。
- 2 ▼を押して **[アドレスブック]** を選択し、**(OK)** を押します。
- 3 ▼を押して **[E メールグループ]** を選択し、**(OK)** を押します。
- 4 ▼を押してグループ番号を選択し、**(OK)** を押します。
- 5 ▼を押して **[削除]** を選択し、**(OK)** を押します。
- 6 確認画面で **< または >** を押して **[はい]** を選択し、**(OK)** を押します。

ワンタッチボタンを使用する

ワンタッチボタンにはアドレスブック番号 01 ~ 16 が自動的に登録されます。このワンタッチボタンはスキャン To メール、インターネットファクスでご利用いただけます。

アドレスブックを検索する

アドレスブックの検索には、テンキーを使う方法とソフトキーボードを使う場合があります。

テンキーを使ってカナ検索する

- 1 操作パネルの **< 設定 >** ボタンを押します。
- 2 ▼を押して **[アドレスブック]** を選択し、**(OK)** を押します。
- 3 ▼を押して **[E メールアドレス]** または **[E メールグループ]** を選択し、**(OK)** を押します。
- 4 検索したい名前の頭文字のローマ字をテンキーから入力し、▼を押して検索します。



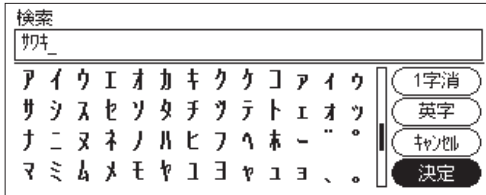
- 「サ」行を検索する場合、アルファベットの「s」を入力するために、⑦キーを 4 回押します。テンキーの使用方法は「[テンキーの使用](#)」P.23 を参照してください。

該当するものを表示します。

ソフトキーボードを使ってカナ検索する

- 1 操作パネルの **< 設定 >** ボタンを押します。
- 2 ▼を押して **[アドレスブック]** を選択し、**(OK)** を押します。

- 3 ▼を押して [E メールアドレス] または [E メールグループ] を選択し、**OK**を押します。
- 4 ▶を押します。
- 5 ▼を押して [検索] を選択し、**OK**を押します。
- 6 ソフトキーボードが表示されるので、▲、▼、◀、▶を使い、検索したい名前をカナ入力します。
該当するものを表示します。



● ネットワーク接続 PC を登録する

この節では、ネットワーク接続 PC を登録する方法について説明します。

ネットワーク上の場所を原稿の送信先として登録できます。

メモ

- ActKey の Network Configuration でネットワーク接続 PC も登録できます。詳しくは、沖データホームページの活用マニュアルをご覧ください。

登録 / 編集する

参照

- テキストの入力方法については、「[操作パネルを使用して文字を入力する](#)」P.22 を参照してください。

- 1 操作パネルの < 設定 > ボタンを押します。
- 2 ▼を押して [ネットワーク接続 PC] を選択し、Ⓚを押します。
- 3 ▼を押して番号を選択し、Ⓚを押します。
- 4 [登録] が選択されていることを確認し、Ⓚを押します。
登録済みのグループ番号を編集する場合は「編集」を選択します。
- 5 [送信先名] が選択されていることを確認し、▶を押します。
- 6 宛先を入力します。
最大半角 16 文字まで入力できます。
- 7 [決定] を選択し、Ⓚを押します。
- 8 ▼を押して [送信先アドレス] を選択し、▶を押します。
- 9 IP アドレス、ホスト名またはパソコン名を入力します。
最大半角 64 文字まで入力できます。
- 10 [決定] を選択し、Ⓚを押します。
- 11 ▼を押して [ポート番号] を選択し、▶を押します。
- 12 ポート番号を入力し、Ⓚを押します。
- 13 Ⓚを押します。
- 14 トップ画面が表示されるまで◀を押します。

削除する

- 1 操作パネルの < 設定 > ボタンを押します。
- 2 ▼を押して [ネットワーク接続 PC] を選択し、Ⓚを押します。
- 3 ▼を押して番号を選択し、Ⓚを押します。
- 4 ▼を押して [削除] を選択し、Ⓚを押します。
- 5 確認画面で◀または▶を押して [はい] を選択し、Ⓚを押します。
- 6 トップ画面が表示されるまで◀を押します。

10 プリンターとして使うとき

この章では、パソコンまたは USB メモリーから文書を印刷する方法について説明します。

● パソコンから印刷する

この節では、パソコンから印刷する方法について説明します。

メモ

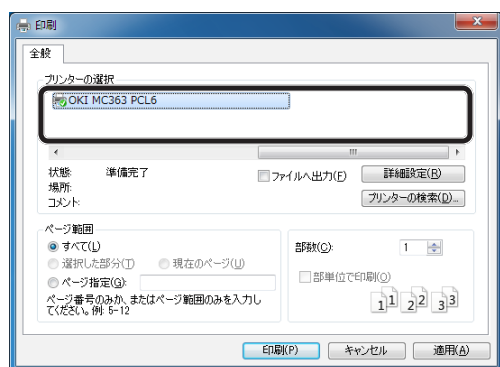
- ここでは、Windows ではメモ帳、Mac OS X ではテキストエディットを例に説明します。お使いのアプリケーションやプリンタードライバーのバージョンによって、記載と異なることがあります。
- プリンタードライバーの各設定項目の詳しい説明は、ドライバーのオンラインヘルプを参照してください。

印刷する

- 1 アプリケーションから印刷するファイルを開きます。
- 2 プリンタードライバーの画面で印刷設定を行い、印刷します。
ここでは、プリンタードライバーで用紙サイズ、用紙トレイ、用紙厚を設定する方法について説明します。プリンタードライバーごとの設定方法は、以下を参照してください。

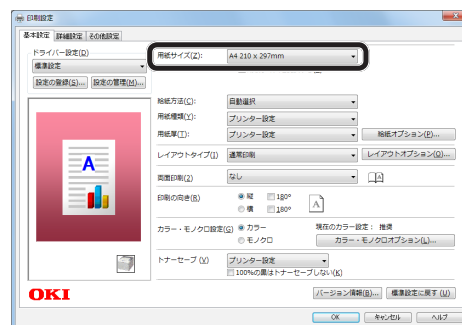
Windows PCL プリンタードライバーの場合

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 2 プリンタードライバーを選択します。



- 3 [詳細設定] をクリックします。

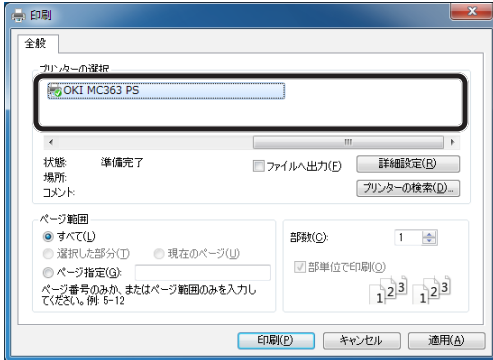
- 4 [基本設定] タブの [用紙サイズ] から用紙サイズを選択します。



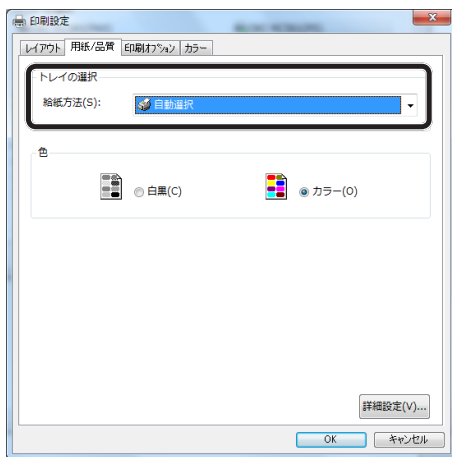
- 5 [給紙方法] から用紙トレイを選択します。
- 6 [用紙種類] で用紙の種類を選択します。
- 7 [用紙厚] から用紙厚を選択します。
- 8 [OK] をクリックします。
- 9 [印刷] をクリックします。

Windows PS プリンタードライバーの場合

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 2 プリンタードライバーを選択します。

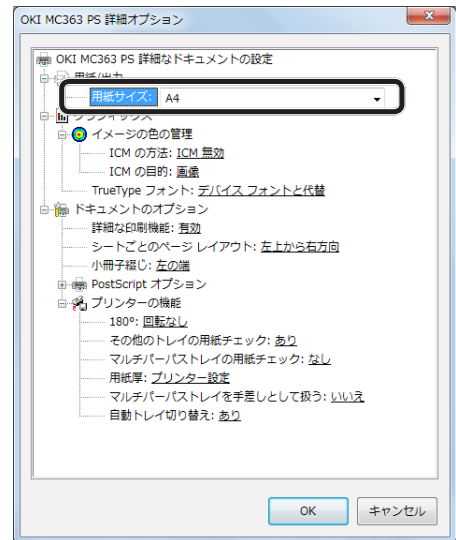


- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 [用紙 / 品質] タブを選択します。
- 5 [給紙方法] から用紙トレイを選択します。



- 6 [詳細設定] をクリックします。

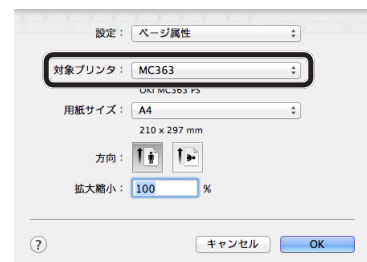
- 7 [用紙サイズ] をクリックし、ドロップダウンリストから用紙サイズを選択します。



- 8 [用紙厚] をクリックし、ドロップダウンリストから用紙厚を選択します。
- 9 [OK] をクリックします。
- 10 [OK] をクリックします。
- 11 [印刷] をクリックします。

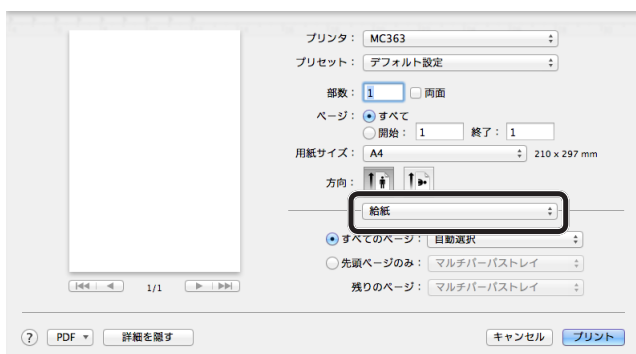
Mac OS X PS プリンタードライバーの場合

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。
- 2 [対象プリンタ] で本機を選択します。



- 3 [用紙サイズ] で用紙サイズを選択します。

4 [給紙] パネルの [すべてのページ] で用紙トレイを選択します。



メモ

- プリンターダイアログに詳細設定が表示されないときには、プリンターダイアログ下部の [詳細を表示] をクリックしてください。

5 [印刷設定] パネルの [用紙厚] で用紙の厚さを選択します。

6 [プリント] をクリックします。

メモ

- 用紙厚には通常 [プリンタ設定] を選択します。[プリンタ設定] を選択すると、本機の操作パネルで設定した値が適用されます。

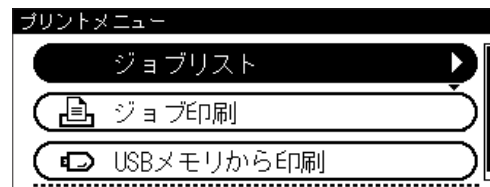
参照

- 給紙方法で [自動選択] を選択しているときは、指定した用紙に応じてトレイが自動的に選択されます。トレイの自動選択については、沖データホームページの活用マニュアルをご覧ください。
- 給紙方法でマルチパーパストレイを選択しているときは、マルチパーパストレイに用紙をセットする必要があります。マルチパーパストレイに用紙をセットする方法については、「[マルチパーパストレイに用紙をセットする](#)」P.36 を参照してください。

印刷を中止する

操作パネルでジョブリストから印刷ジョブを削除すると、パソコンからの印刷を中止できます。

1 操作パネルの<プリント> ボタンを押します。



2 [ジョブリスト] が選択されていることを確認し、[OK]を押します。

3 ▼を押して中止するジョブを選択し、[OK]を押します。

4 [中止] が選択されていることを確認し、[OK]を押します。

5 確認画面で◀または▶を押して「はい」を選択し、[OK]を押します。

注

- 本機で印刷準備が整ったページはそのまま印刷されます。
- 操作パネルの画面に印刷中であることを示す表示が長く続く場合は、パソコンで印刷ジョブを削除してください。

● USB メモリーから印刷する

この節では、USB メモリーから印刷する方法について説明します。USB メモリーを本機に差し込み、USB メモリーに保存しているファイルを直接印刷できます。

！注

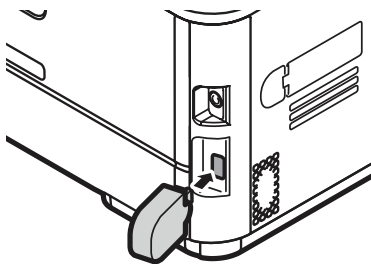
- すべての USB メモリー製品の使用保証をするものではありません。(セキュリティー機能付き USB メモリーは未対応です。)
- USB ハブと外付け USB-HDD はサポートしません。
- 暗号化 PDF はサポートしません。

メモ

- ファイルシステムは、FAT12、FAT16、FAT32 をサポートします。
- ファイル形式は、JPEG、PDF (v1.7)、XPS、M-TIFF (v6 ベースライン)、PRN (PCL、PS、XPS) をサポートします。
- USB メモリーは 32 GB までの容量をサポートします。
- サポートするファイル形式で USB メモリーに保存されているファイルのうち、最大 100 個までのファイルがファイルリストに表示されます。
 - USB メモリーに 100 個以上のファイルが保存されていると、ファイルリストは正しく表示されません。
 - 20 階層以上のディレクトリー構造をもつ USB メモリーは正しくファイルを読めないことがあります。
 - パスの長さが 240 文字を超えるようなファイルは正しく読めないことがあります。
- 一度に印刷できる USB メモリー内のファイルは 1 つです。

印刷する

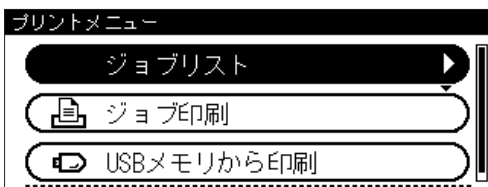
- 1 USB メモリーを本機の USB ポートに差し込みます。



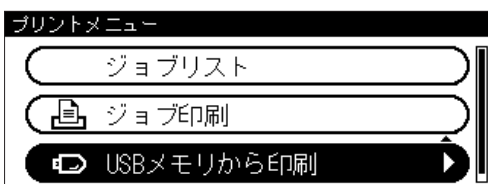
！注

- USB メモリーは、USB ポートにまっすぐ差し込みます。正しい角度で挿入しないと、USB ポートを傷つけることがあります。

- 2 操作パネルの <プリント> ボタンを押してプリントメニューを開きます。



- 3 ▼を押して [USB メモリーから印刷] を選択し、OKを押します。



- 4 [ファイル選択] が選択されていることを確認し、OKを押します。

印刷するファイルがフォルダーに保存されていないときは、手順 7 へ進みます。

- 5 ▼を押して印刷するファイルを含むフォルダーを選択し、OKを押します。

- 6 [フォルダを開く] が選択されていることを確認し、OKを押します。

印刷するファイルが表示されるまで、手順 5 ~ 6 を繰り返します。

メモ

- [フォルダ情報を見る] を選択すると、フォルダー情報を確認できます。

- 7 ▼を押して印刷するファイルを選択し、OKを押します。

- 8 ▼を押して [ファイルを選択] を選択し、OKを押します。

メモ

- [ファイル情報を見る] を選択すると、ファイル情報を確認できます。

- 9 必要に応じて印刷設定を行います。

参照

- 「印刷設定をする」 P.145

- 10 モノクロ または カラー を押して、印刷します。

- 11 USB メモリーを安全に取り外しできることを示すメッセージが表示されたら、USB メモリーを取り外します。

印刷設定をする

USB メモリーから印刷するときの印刷設定は、[印刷設定] メニューから行います。

以下の操作は、「USB メモリーから印刷する」P.144 の「印刷する」に示す手順 9 で行います。

用紙トレイを変更する（給紙トレイ）

用紙トレイを選択できます。

！注

- PRN ファイルを印刷する場合、用紙トレイの指定はファイル作成時のドライバーの設定に従います。

- 1 ▼を押して [印刷設定] を選択し、**OK**を押します。
- 2 [給紙トレイ] が選択されていることを確認し、**OK**を押します。
- 3 ▼を押して用紙トレイを選択し、**OK**を押します。

選択可能な用紙トレイ

トレイ 1*	トレイ 2	MP トレイ
--------	-------	--------

* は工場出荷時の設定

- 4 ◀を押してスタート画面に戻ります。

メモ

- [トレイ 2] は、オプションでセカンドトレイユニットを取り付けているときに表示されます。

印刷部数を変更する（コピー枚数）

印刷する部数を設定できます。

- 1 ▼を押して [印刷設定] を選択し、**OK**を押します。
- 2 ▼を押して [コピー枚数] を選択し、**OK**を押します。
- 3 印刷部数を入力し、**OK**を押します。
最大 999 まで入力できます。
- 4 ◀を押してスタート画面に戻ります。

両面印刷する（両面印刷）

片面印刷または両面印刷を選択できます。

！注

- PRN ファイルを印刷する場合、両面印刷の設定はファイル作成時のドライバーの設定に従います。

- 1 ▼を押して [印刷設定] を選択し、**OK**を押します。
- 2 ▼を押して [両面印刷] を選択し、**OK**を押します。
- 3 ▼を押して両面印刷をするときは [オン] を、片面印刷するときには [オフ] を選択し、**OK**を押します。
- 4 ◀を押してスタート画面に戻ります。

とじ位置を設定する（とじ方）

両面印刷のとじ位置を設定できます。

- 1 ▼を押して [印刷設定] を選択し、**OK**を押します。
- 2 ▼を押して [とじ方] を選択し、**OK**を押します。
- 3 ▼を押して [長辺とじ] または [短辺とじ] を選択し、**OK**を押します。
- 4 ◀を押してスタート画面に戻ります。

参照

- 長辺とじと短辺とじについては、「両面コピーをする（両面）」P.104 を参照してください。

ページサイズを用紙サイズに合わせる (フィッティング)

ファイルのページサイズを用紙サイズに合わせて印刷できます。

印刷するファイルのページサイズが有効な印刷領域より大きかったり、小さかったりするときに、ページサイズが用紙サイズに合うように自動で調整(フィッティング)します。

！注

- PRN ファイルを印刷する場合、この設定は働きません。

メモ

- この機能は、工場出荷時の設定で [オン] に設定されています。

- 1 ▼を押して [印刷設定] を選択し、**OK**を押します。
- 2 ▼を押して [フィッティング] を選択し、**OK**を押します。
- 3 ▼を押してフィッティングするときは [オン] を、フィッティングしないときは [オフ] を選択し、**OK**を押します。
- 4 ◀を押してスタート画面に戻ります。

印刷を中止する

操作パネルの <ストップ> ボタンを押すと、USB メモリーからの印刷を中止できます。

印刷完了を示すメッセージが表示されるまでの間は、印刷を中止できます。

- 1 操作パネルの <ストップ> ボタンを押します。

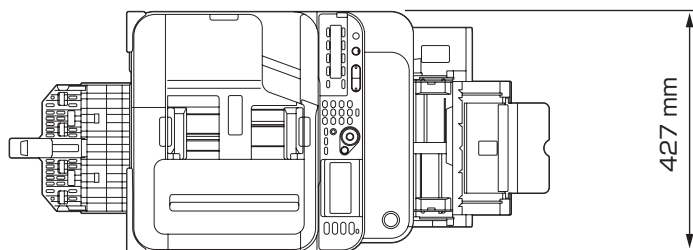
！注

- 本機で印刷準備が整ったページはそのまま印刷されます。

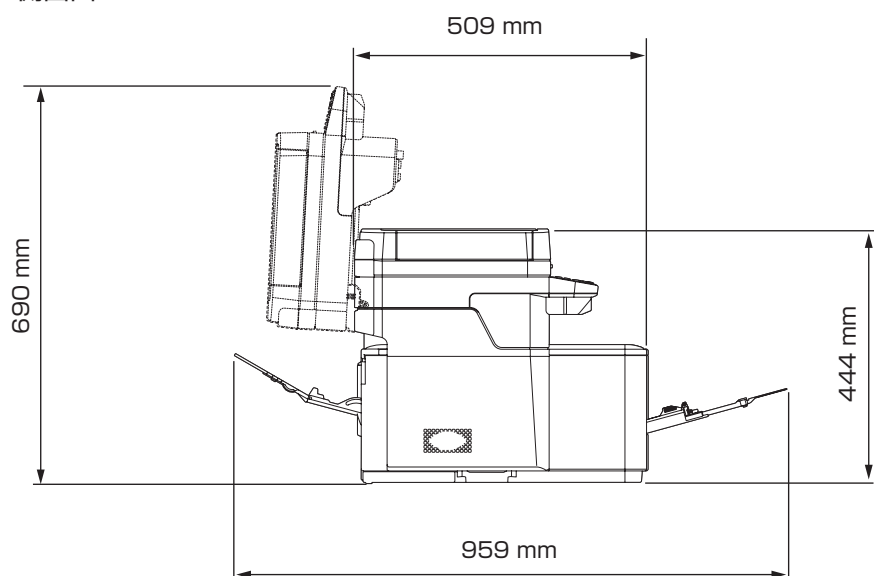
11 付録

● 外形寸法

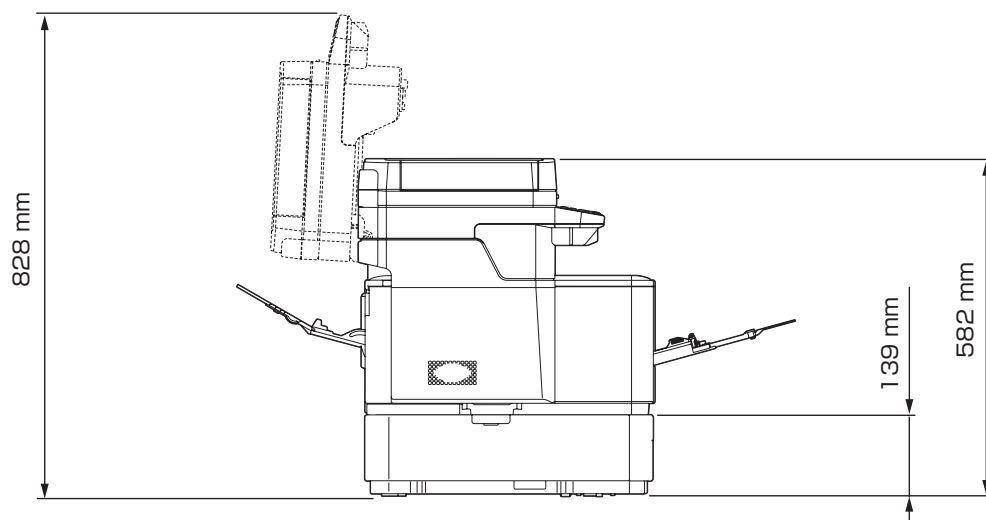
● 上面図



● 側面図



● 側面図 (セカンドトレイユニット取り付け時)



索引

【英数字】

ADF 19, 40
AP モード 57
Bonjour 55
IP アドレスの設定 46, 48
LED ヘッド 20
MP トレイ 19, 102
Rendezvous 53
TCP/IP 131, 133
USB
 USB 接続時のオプション設定... 30
 USB 接続で接続する 59
 USB 接続でプリンタードライバー
 をインストールする 60, 61

【あ行】

アース 32
アドレスブック 137
イメージドラムユニット 20, 25
印刷
 印刷する 141, 144
インタフェース 20
インフラストラクチャーモード .. 49
エクセレントペーパー 42
往復はがき 37, 38, 41
オートパワーオフ機能
 オートパワーオフ機能の
 移行時間 99
 オートパワーオフ機能の
 設定方法 99
オプション
 オプションの取り付け方法 29
 オプションを取り付けた場合の
 プリンタードライバー設定... 30

【か行】

外形寸法 147
カスタムサイズ 38, 41
カラー用紙 41
キャンセル
 コピー 101
 スキャン 136
 パソコンから印刷 143, 146
 ファクス送信 112, 121
ゲートウェイアドレスの設定 52
後方排紙トレイ 20
コネクターカバー 20
コピー 101

【さ行】	【た行】	【は行】
再生紙..... 42	通気口..... 19, 20	はがき..... 34, 38, 41
サブネットマスクの設定..... 52	定着器ユニット..... 20	パソコンとの接続..... 46
自動で電源を切る..... 99	手差し印刷..... 36	パワーセーブモード
シャットダウン..... 33	テスト印刷	パワーセーブモードの
推奨紙..... 42	パソコンからのテスト印刷.... 59	移行時間..... 98
スキャン..... 77, 122	プリンター単体でのテスト印刷... 44	パワーセーブモードの
スタータートナーカートリッジ... 25	電源	設定方法..... 98
スリープモード	電源コード..... 25	表示画面..... 21
スリープモードの移行時間.... 98	電源コネクター..... 20	ファクス..... 63, 107
スリープモードの制限事項... 100	電源スイッチ..... 20	封筒..... 36, 38, 41
スリープモードの設定方法.... 98	電源の入れかた..... 32	普通紙..... 34, 38, 41
制限事項..... 100	電源の切りかた..... 33	部分印刷用紙..... 41
セカンドトレイユニット	電源の条件..... 31	プリンタードライバー
セカンドトレイユニットの	添付品..... 25	プリンタードライバーの
取り付け方法..... 29	電話帳..... 115	インストール方法..... 46
セカンドトレイユニットを	動作環境..... 26	保護シート..... 28
取り付けた場合のプリンター	トナーカートリッジ..... 20, 25	補助サポータ..... 36, 39
ドライバー設定..... 30	トレイ	ボタン..... 21
設置..... 26	セカンドトレイユニット..... 29	本体排紙トレイ..... 38
節電	トレイ 1..... 19	
節電ボタン..... 21	トレイ 2..... 34	
節電モード (スリープモード)... 98	トレイにセットできる枚数.... 34	
節電モード (パワーセーブモード)... 98	トレイにセットできる用紙.... 34	
セットアップ..... 19	トレイにセットできる	
操作パネル..... 21	用紙の厚さ..... 34	
操作パネルの使用方法..... 22		
ソフトウェア DVD-ROM..... 25		
	【な行】	
	ネットワーク	
	ネットワーク接続時のオプション	
	設定..... 30	
	ネットワークで	
	接続する..... 48, 52, 53, 54	
	濃度..... 105, 111	

【ま行】

マルチパーパストレイ	19
マルチパーパストレイにセット	
できる枚数	35
マルチパーパストレイにセット	
できる用紙	35
マルチパーパストレイにセット	
できる用紙の厚さ	35
無線 LAN	18, 49, 57
メニューマップ	44

【や行】

用紙	
使用できない用紙	42
使用できる用紙	41
用紙サイズ	34, 41
用紙サイズの設定	37
用紙の厚さ	34, 41
用紙の厚さの設定	37
用紙の種類の設定	37
用紙のセット方法	34
用紙の排出	38
用紙の保管	42
用紙ガイド	36
用紙サポータ	36, 39
用紙ストッパー	36

【ら行】

ラベル紙	41
両面印刷	
両面印刷できる用紙の厚さ	41

株式会社 **沖データ**

お客様相談センター

 **0120-654-632**

(携帯電話・IP電話からは  0570-055-654)

ご注意:ナビダイヤルの通話料は、お客様のご負担となります。

受付時間 9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
(ただし 祝日、年末年始等を除く)

46472801EE Rev3

